

アナログ HD デジタルレコーダー

EHVR-804C

取扱説明書



お客様へ

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 **ケービデバイス**

改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2020.3.31	初版	初版とする
2020.9.9	1.1 版	p.1-1 同梱品の内容を追記 p.10-1 録画日数の内容を追記
2021.6.9	2 番	p.7-6 クライアントソフトでの接続方法の内容を修正

パスワードメモ

本機へのアクセス用のパスワードメモとしてお使いください。

パスワードは、不正アクセス防止のため必ず定期的に変更してください。

また、設定したパスワードは第三者に漏れないよう大切に保管してください。

本機の初期パスワードは初回起動時に設定されます。

初めてパスワードを設定する場合は、「1.6 初回起動時の各種設定について(p.1-8)」をご覧ください。

以後、パスワードの変更方法については、「3.7.3 使用者パスワード(p.3-40)」をご覧ください。

限定保証

(株)ケービデバイスは EHVR-804C が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

したがって、(株)ケービデバイスは弊社へ返送していただいたもので、弊社が点検して材料および仕上げに欠陥があると判断した場合には、弊社の責任のもとで修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 1 年かつ日本国内で使用される EHVR-804C についてのみ有効なものとします。

免責事項

(株)ケービデバイスは市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、本保証条件以外のものは一切保証いたしません。(株)ケービデバイスは、いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用に起因する損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされた場合についても同様なものとします。お客様は EHVR-804C の使用、ならびに EHVR-804C を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。

この保証は、最初の購入者であるお客様(1 ユーザ)に対して適用され、お客様が EHVR-804C を転売された第三者には適用されません。(株)ケービデバイスは第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる請求に関しても責任を負わないものとします。

以下にあげる場合は、保証の対象外とさせていただきます。

- ① 火災・地震、第三者による行為、その他の事故により EHVR-804C に不具合が発生した場合。
- ② お客様の故意もしくは過失、誤用、乱用その他の異常な条件下での使用により EHVR-804C の不具合が発生した場合。
- ③ お客様が EHVR-804C に手を加えて改造、修理した場合。
- ④ ユーザシステムの使用や使用方法に起因して発生した損害等について。

目次

安全にご使用いただくために	8
使用上のご注意	11
1 章 はじめに	1-1
1.1 <u>概要</u>	1-1
1.2 <u>セット内容</u>	1-1
1.3 <u>外観</u>	1-2
1.4 <u>ネットワーク接続図</u>	1-5
1.5 <u>センサー・アラーム接続</u>	1-6
1.6 <u>コントローラー・PTZ カメラ接続</u>	1-7
1.7 <u>本機の起動</u>	1-8
1.7.1 初回起動時の各種設定について	1-8
1.7.2 2回目以降の起動について	1-11
1.8 <u>本機のシャットダウン</u>	1-12
2 章 ライブ画面での操作	2-1
2.1 <u>ライブ画面について</u>	2-1
2.2 <u>ポップアップメニュー</u>	2-4
2.3 <u>デジタルズーム</u>	2-6
3 章 各種設定	3-1
3.1 <u>設定メニューの概要</u>	3-1
3.2 <u>画面表示</u>	3-4
3.2.1 オン・スクリーン・ディスプレイ(OSD)表示	3-5
3.2.2 OSD 表示コントラスト	3-5
3.2.3 画面自動切換え	3-6
3.2.4 画面自動切換え周期	3-6
3.2.5 チャンネル	3-7
3.2.6 映像出力	3-8
3.2.7 サブモニター出力	3-8
3.2.8 サブモニタータイプ	3-8
3.3 <u>録画</u>	3-9

3.3.1 録画解像度	3-10
3.3.2 録画フレーム	3-10
3.3.3 画質	3-10
3.3.4 録画モード	3-11
3.3.5 センサー録画	3-12
3.3.6 イベント前記録	3-12
3.3.7 イベント後記録	3-12
3.3.8 音声	3-12
3.3.9 スケジュール	3-13
3.3.10 コーデックのタイプ	3-16
3.4 デバイス	3-17
3.4.1 アラーム出力	3-18
3.4.2 コントーラ&PTZ	3-19
3.4.3 スポットモニター設定	3-20
3.4.4 チャンネル	3-21
3.4.5 ボタン音	3-22
3.4.6 リモコン ID	3-23
3.4.7 センサー	3-24
3.5 録画装置	3-25
3.5.1 上書き	3-26
3.5.2 HDD フォーマット	3-26
3.5.3 HDD 情報	3-27
3.5.4 記録保存日数制限	3-28
3.6 システム	3-29
3.6.1 DVR ID	3-30
3.6.2 システム情報	3-30
3.6.3 言語	3-30
3.6.4 日付の形式	3-31
3.6.5 日時設定	3-31
3.6.6 クライアントアクセス	3-33
3.6.7 NTP	3-33
3.6.8 メール送信	3-33
3.6.9 システム再起動	3-33
3.6.10 システムイベント通知	3-33
3.7 セキュリティー	3-38
3.7.1 使用者権限	3-39
3.7.2 使用者名変更	3-40
3.7.3 使用者パスワード	3-41

3.7.4 データ検索権限	3-42
3.7.5 遠隔監視権限	3-43
3.7.6 遠隔再生時間制限	3-44
3.7.7 USB 認証読込	3-44
3.7.8 HTTPS 使用	3-44
<u>3.8 ネットワーク</u>	3-45
3.8.1 ポート番号	3-46
3.8.2 ネットワークオーディオポート	3-46
3.8.3 WEB ポート	3-46
3.8.4 ネットワークタイプ	3-46
3.8.5 DDNS	3-47
3.8.6 ネットワークストリーム	3-47
<u>3.9 設定管理</u>	3-49
3.9.1 USB へ設定保存	3-50
3.9.2 USB から設定読込	3-50
3.9.3 使用者設定を戻す	3-51
3.9.4 工場出荷時に戻す	3-51
3.9.5 ソフトウェアアップグレード	3-52

4 章 検索と再生	4-1
<u>4.1 検索画面に入るには</u>	4-1
<u>4.2 再生時の操作</u>	4-1
<u>4.3 クイックサーチ</u>	4-3
<u>4.4 タイムライン検索</u>	4-5
<u>4.5 イベント検索</u>	4-7
<u>4.6 その他の検索方法</u>	4-10
<u>4.7 キャプチャーリストの検索</u>	4-11
<u>4.8 ログの検索</u>	4-13

5 章 バックアップ	5-1
<u>5.1 静止画(スナップショット)の保存</u>	5-1
<u>5.2 再生映像のバックアップ</u>	5-2
<u>5.3 バックアップした動画の再生</u>	5-5

6章 PTZ コントロール	6-1
6.1 PTZ コントロールを行う前に	6-1
6.2 PTZ コントロールパネル	6-2
6.3 AHD カメラのオン・スクリーン・ディスプレイ(OSD)設定	6-3
6.3.1 プロトコル設定手順	6-3
6.3.2 OSD 操作方法	6-4
7章 遠隔監視	7-1
7.1 クライアントソフトのインストール	7-2
7.2 言語設定の変更	7-4
7.3 接続方法	7-5
7.4 ライブ画面での操作	7-7
7.5 検索画面での操作	7-9
7.6 動画のバックアップ	7-11
7.7 セットアップ画面	7-12
7.7.1 一般設定	7-12
7.7.2 接続先	7-13
7.7.3 イベント	7-14
7.7.4 イベント検索	7-15
7.7.5 録画	7-16
7.7.6 ディスク	7-17
7.7.7 ディスプレイ	7-18
7.7.8 Language	7-18
7.7.9 バージョン情報	7-19
7.8 ポップアップメニュー	7-20
7.9 遠隔設定	7-22
7.10 Web クライアント	7-23
8章 スマートフォンからの接続	8-1
8.1 iUMS のダウンロード	8-1
8.2 iUMS の操作	8-2
9章 トラブルシューティング	9-1

10章 記録時間表	10-1
11章 初期設定値一覧	11-1
12章 製品仕様	12-1
13章 外形寸法図	13-1

限定保証

(株)ケービデバイス(以下当社)は EHVR-804C(以下、本機)が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

つきましては、当社へ返送していただいたもので、当社が点検した上で材料および仕上げに欠陥があると判断した場合は、当社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 1 年間かつ日本国内で使用される本機についてのみ有効なものとします。

免責事項

- ① 当社は、市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、保証条件以外のものは一切保証いたしません。
- ② いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用により発生した損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。
また、そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。
- ③ お客様は本機の使用、ならびに本機を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。
この保証は、最初の購入者であるお客様に対して適用され、お客様が本機を転売された第三者には適用されません。
- ④ 当社は、第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる要求に関しても責任を負わないものとします。
- ⑤ 下記にあげる項目は、保証の対象外とさせていただきます。
 - 火災、地震、第三者による行為、その他の事故により本機に不具合が発生した場合。
 - お客様が本機に手を加えて改造、修理した場合。
 - 本マニュアルに記載されている内容を守らないことで発生した損害等について。
 - お客様の故意、もしくは過失・誤用が起因して発生した損害等について。
 - アース接続が行われていないことで発生した損害等について。

安全にご使用いただくために

- ・ 本機をご使用になる前に、必ず本書をよくお読みになり正しくお使いください。
- ・ ここに記載している注意事項は、安全に関する重大な内容となりますので、必ずお守りください。
- ・ 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認ください。
- ・ 本機の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。
- ・ 本機は防犯カメラと組み合わせて使用することで、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。

内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

注意	禁止記号			強制指示記号		
						
一般注意	禁止	接触禁止	分解禁止	強制	電源プラグを抜いてください	アース接続をしてください



警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水に濡らさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所や水が本機内部に浸水する可能性がある場所への設置・据付はお止めください。

● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。

火災および感電の恐れがあります。

● アースを接続する



電源コードは、AC100V(50/60Hz)のアース付きコンセントを使用し、必ずアース接続を行ってください。アース接続をしない場合、漏電時や落雷により火災および感電、機器の故障につながる恐れがあります。

● 使用中に異常が発生したとき



以下の場合は、直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- ・ 本機から煙や異臭または異音が発生した場合。
- ・ 本機内部に液体や異物が混入した場合。
- ・ 落下などにより本機または電源コードが損傷・断線した場合。

● 液体や金属片を上に置かない、挿入しない



本機の上に、液体の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本機内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 電源コードや配線を傷つけない



電源コードが損傷すると断線し、火災および感電の恐れがあります。以下をお守りください。

- ・ 電源コードの上に重いものを置かない。
- ・ 電源コードや配線に切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱する等をしない。

● 分解、改造をしない



本機を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。

メンテナンスや検査が必要な場合には、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本機や電源コードに触れないでください。感電の恐れがあります。

落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 誤作動の原因となる場所に設置しない



以下のような場所でのご使用は、誤作動や故障、火災の原因となりますのでお止めください。

- ・ 湿気やほこりが多いところ
- ・ 水平でない場所や振動の激しい場所
- ・ エアコンの前のように温度が急激に変動するところ
- ・ 強い直射日光が当たるところや発熱体の近くなど、温度が高くなるところ
- ・ 密閉させた狭い場所や温度調整機能のない密閉型ハウジングの中
- ・ 引火性溶剤(アルコールやシンナー等)が近くにあるところ
- ・ 潮風の当たるところ、温泉地、腐食性ガスの発生するところ
- ・ 電波や磁力が発生しているところ(無線受信機や配電盤の近く等)

● 雷サージ対策を行う



本機は、落雷による直撃雷、誘導雷、逆流雷等の影響を受ける可能性があり、誤動作や故障の原因となります。

アース接続や雷サージ用電源タップ等を使用することで、雷サージによる影響を軽減できるため必ず雷サージ対策を行ってください。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本機に外部装置をつなげる場合は、外部装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。

本機およびカメラからの過電流による感電や故障の恐れがあります。

● 定期的に掃除を行う



内部の清掃については、販売店にご相談ください。

内部にはほこりやゴミなどがたまつたまま放置すると故障や火災の原因となります。

● 法規に準拠した廃棄を



本機が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

● 通風口を塞がない



通風口を塞ぐと本機内部に熱がこもり、火災の原因となります。

また、通風口にほこりがたまらないように定期的に掃除してください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 濡れた手で触れない



濡れた手で本機および電源プラグには触れないでください。

感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。

化学薬品やエアゾール等で本機のクリーニングはしないでください。

本機の誤作動や感電の恐れがあります。

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、ティルフォンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに

置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。本機の各パネルおよび

リアパネルの各電子部品に触る前には、体内的静電気を除去してください。

● コードを置いたままにしない



電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。

通った人が足を引っ掛け転ぶ恐れがあります。

使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本機を使用しないでください。
- 通風口にほこりがたまつた場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年1回程度を目安に行ってください。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、適切に動作しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにしてください。
- **本機は、停電に備えて設計されていますが、停電によりHDDが損傷を受ける可能性があります。その場合、使用中のデータ損傷や、記録ができなくなることがあるため、無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。**
- 本機はビデオデータをHDDに録画する設計ですので、HDDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本機は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本機は外部機器(カメラ、センサー、USB装置、LAN、HDDなど)と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直や傾けての使用はできません。
- HDDが故障した場合、当社では記録したデータの復旧はできません。データ損失を避けるため、定期的にバックアップすることを強く推奨します。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 本機は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本機の破損につながります。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合があります。「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を当社は負うことができません。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- 次の部品は消耗品です。下記寿命時間を目安に交換してください。

ただし、この時間はあくまで目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。

- HDD : 約 30000 時間 (使用環境温度 25°C)
- 時計用ボタン電池 : 約 40000 時間 (使用環境温度 25°C)
- ファン : 約 40000 時間 (使用環境温度 25°C)

※この時間はあくまで目安であり、各部品の寿命時間を保証するものではありません。

特にHDDの寿命は、使用環境により異なりますが、通電時間が20000時間を越えると、書き込みエラーが発生しやすくなり、30000時間を越えると、モーター部の劣化などにより寿命となります。(25°Cで使用時)

録画データ保護のためにも、本機の周辺温度を25°C程度に保ち、18000時間を目安に交換することを推奨します。

長期間ご使用の際は、あらかじめ販売店にメンテナンスのご相談をお勧め致します。

- 本機に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。

(ハードウェア、ソフトウェア、文書等)

1章 はじめに

1.1 概要

本機は、AHD 及びアナログカメラ用のデジタルビデオレコーダーです。

最大 4 台までのカメラを接続することができます。

録画には、従来の H.264 形式に加え、圧縮率の高い H.265 に対応し、より長期間の映像の保存が可能です。

本機の操作には、主にマウスを用います。

なお、リモコンでの操作も可能です。

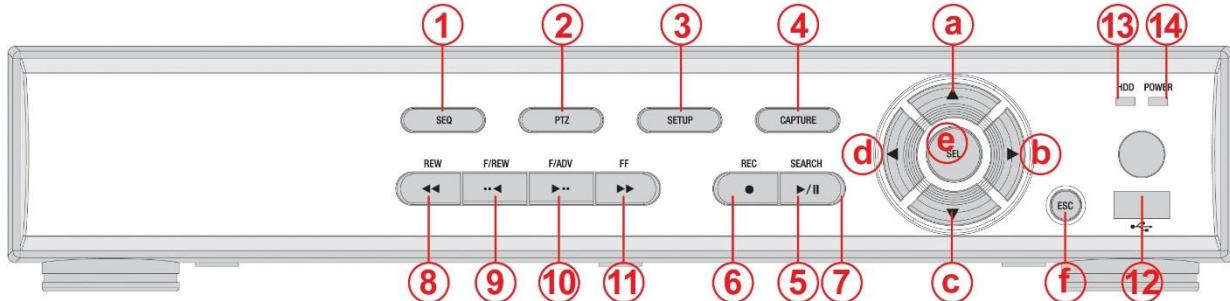
1.2 セット内容

以下のものが入っているかをご確認ください。

レコーダー本体	
クライアント CD 1 枚	
リモコン 1 個	
有線 USB マウス 1 個	
リモコン用電池 1.5V	
HDD ブラケット 1 個	-
ゴムブッシュ 3 個	
取扱説明書(本書 A4 両面製本印刷) および 簡易取扱説明書(A4 両面製本印刷) 初回起動時設定書(A4 両面製本印刷)	  
アダプタ・電源ケーブル(110V) (DC12V 3A)	

1.3 外観

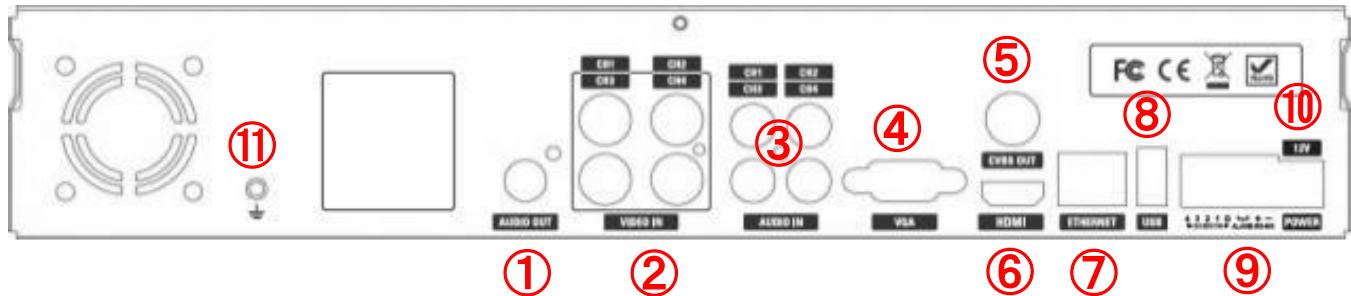
【 前面パネル 】



前面パネルの各ボタン説明

No.	名前	用途
1	SEQ	画面自動切換え(シーケンス表示)を入/切にします。
2	PTZ	PTZ コントロールメニューに入ります。
3	SETUP	設定メニューに入ります。
4	CAPTURE	ライブ映像や再生映像を静止画または動画で保存します。
5	SEARCH	検索メニューに入ります。
6	REC	手動録画を開始/中止します。
7	PLAY/PAUSE	再生時、映像を静止/再生します。
8	REW	再生時、早戻しします。
9	F/REW	再生時、1分前の映像にジャンプします。 映像が停止状態で押した場合は、1フレームずつ前へ移動します。
10	F/ADV	再生時、1分後の映像にジャンプします。 映像が停止状態で押した場合は、1フレームずつ先へ移動します。
11	FF	再生時、早送りします。
12	USB ポート	マウスまたはUSBメモリーを接続します。
13	HDD ランプ	録画や再生動作を行っている間に点滅します。
14	電源ランプ	電源が入っている間に点灯します。
a	◀	カーソルを左に動かしたり、設定値を変更したりします。
b	▲	カーソルを上に動かします。
c	▶	カーソルを右に動かしたり、設定値を変更したりします。
d	▼	カーソルを下に動かします。
e	SEL	選択した項目を確定します。
f	ESC	前画面に戻ります。

【 背面パネル 】



背面パネルの各ボタン説明

No.	名称	用途
1	AUDIO OUT	スピーカーなどへの音声信号出力端子です。
2	VIDEO IN	カメラからの映像信号入力端子です。
3	AUDIO IN	マイクからの音声信号入力端子です。
4	VGA	VGA 対応モニターとの接続に使用します。
5	CVBS OUT	サブモニターとの接続に使用します。
6	HDMI	HDMI 対応モニターとの接続に使用します。
7	ETHERNET	LAN 接続用の RJ-45 コネクタ。遠隔監視などで使用します。
8	USB	USB メモリーやマウスの接続に使用します。
9	センサー入力端子	センサーからの入力信号を受ける場合に使用します。
	アラーム出力端子	本機からアラーム信号を発する場合に使用します。
10	RS-485	RS-485PTZ カメラ制御用端子です。(+ -)
	POWER 12V	本製品添付の AV アダプター(DC12V)を接続します。
11	アース端子	アース接続用のビスです。

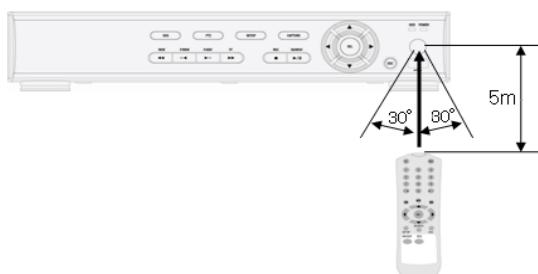
【 リモコン 】



リモコンの各ボタン説明

No.	ボタン名称	用途
1	ID	リモコン ID が設定されている時、リモコン ID の認証を行います。
2	REC	手動録画を開始/終了する場合に使用します。
3	SEARCH	録画データを検索する場合に使用します。
4	F/ADV	再生時：1分先の映像にジャンプして再生します。 一時停止時：1フレーム先の画像を表示します。 ライブ画面で、PTZ 操作パネルを表示します。
5	F/REW	再生時：1分目の映像にジャンプして再生します。 一時停止時：1フレーム前の画像を表示します。
6	FF	再生時の映像を早送りにします。 早送り中に再度押すことで、倍率が変わります。
7	PLAY / PAUSE	再生または一時停止します。
8	REW	再生時の映像を巻き戻します。 巻き戻し中に再度押すことで、倍率が変わります。
9	ESC	前画面に戻ります。
10	SETUP	セットアップメニューを表示します。
11	方向キー	各メニュー内でカーソルを移動させます。
12	SEQ	シーケンシャル(カメラ CH 自動切換)機能を実行します。
13	BACKUP	ライブや再生画面をバックアップします。
14	数字キー	カメラ CH の選択やリモコン ID 設定などに使用します。

【 リモコン操作範囲 】



1.4 ネットワーク接続図

本機にネットワーク機器を接続する場合は、以下をご覧ください。

※遠隔監視時の操作方法については、「7章 遠隔監視(7-1 ページ)」をご覧ください。

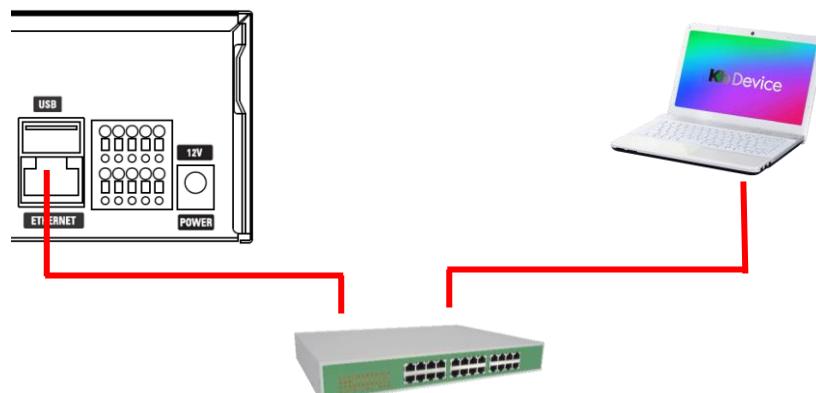
【 LAN 接続 】

クロスケーブルで本機の ETHERNET ポートと PC を直接接続します。



【 LAN 接続 - スイッチングハブを使用 】

ストレートケーブルで本機の ETHERNET ポート、PC それぞれをハブに接続します。



【 インターネット接続 】

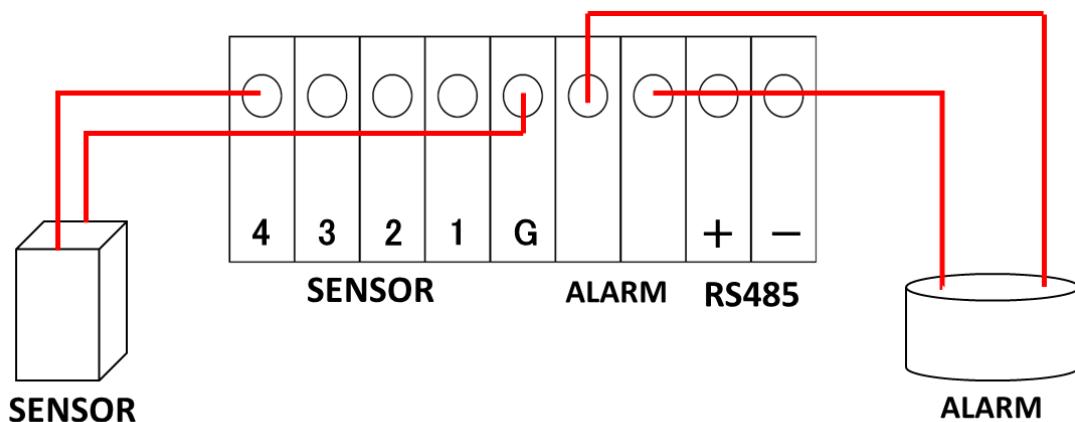
インターネット経由で、遠隔地の PC から本機にアクセスします。



1.5 センサー・アラーム接続

本機にセンサー・アラーム機器を接続する場合は、以下をご覧ください。

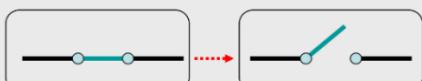
※アラーム出力の設定については、「3.4.1 アラーム出力(3-17 ページ)」をご覧ください。



N/O : Normally open type sensor. 通常はオープン状態で、クローズしたら反応します。



N/C : Normally closed type sensor. 通常はクローズ状態で、オープンしたら反応します。



※アラーム出力の使用可能仕様は、

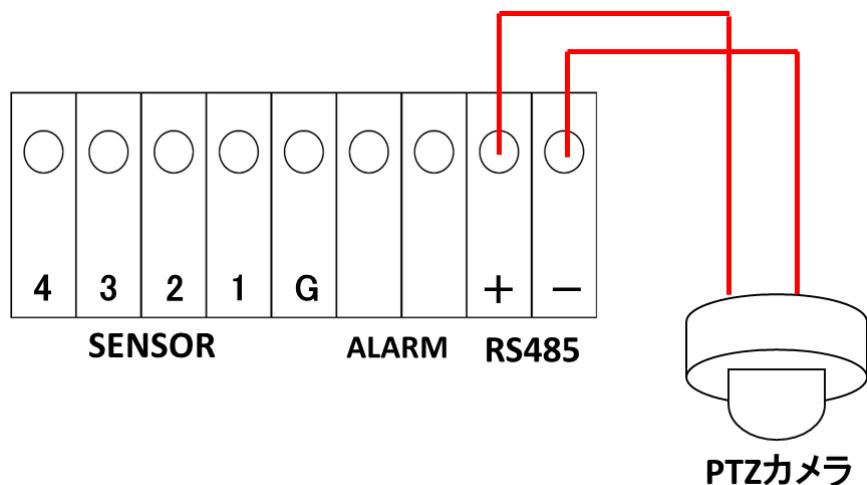
- 最大電流は、AC 0.5A / DC 1A
- 最大電圧は、AC 12.5V / DC 30V です。

1.6 コントローラー・PTZ カメラ接続

本機にコントローラー・PTZ カメラを接続する場合は、以下をご覧ください。

※コントローラー・PTZ カメラの設定については、「6 章 [PTZ コントロール](#)(6-1 ページ)」をご覧ください。

接続する際は、信号線の極性に注意してください。



1.7 本機の起動

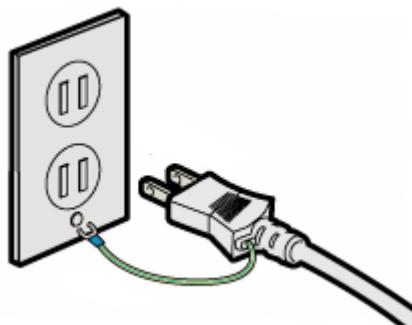
本機に AC アダプターを接続することで、自動的に起動シーケンスに移行します。

本機への電源接続箇所については、「1.3 外観(p.1-3)」をご覧ください。

« 注意 »

下記事項は必ずお守りください。

- 電源コードおよび AC アダプターは必ず同梱品のものをご使用ください。
- 電源を投入する前に必ずアース接地工事または、アース接続を行ってください。
落雷や静電気などにより本機が故障するリスクを低減できます。
- アース線は、同梱品の電源ケーブルについているアース線(緑色)をご利用ください。



1.7.1 初回起動時の各種設定について

本機の初回起動時には、表示言語やログインパスワードなどを設定する必要があります。

また、本機を工場出荷状態にした場合も同様の手順を行う必要があります。

工場出荷時については、「3.9.4 工場出荷時に戻す(3-50 ページ)」をご覧ください。

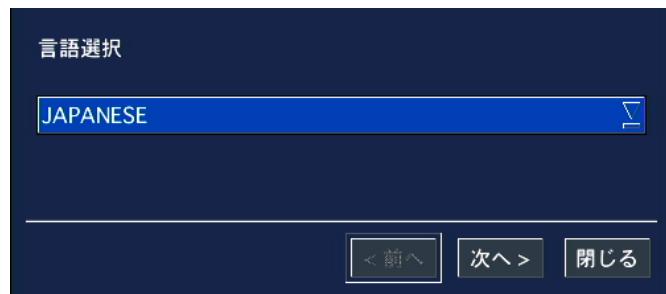
以下の手順に沿って各種設定をしてください。

1. 本機背面の映像入力端子にカメラを接続し、電源入力端子に AC アダプターを接続します。
2. 通電すると本機前面の POWER ランプが点灯し、本機が起動します。
起動すると以下の画面が表示されます。



3. 使用言語を設定します。

「JAPANESE」を選択し、「次へ >」をクリックします。



4. 現在日時を設定します。

日時を変更する場合は、「時計設定」のチェックボックスにチェックを入れてください。

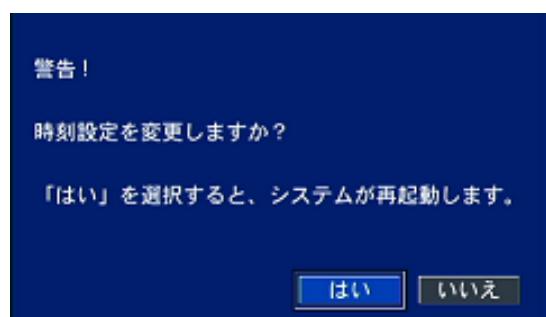
年/月/日/時/分/秒 が設定可能になります。

設定完了後、「完了」をクリックして、日時設定を終了します。



※日時設定を変更した場合、本機を再起動する必要があります。

「はい」をクリックすると、本機が再起動します。

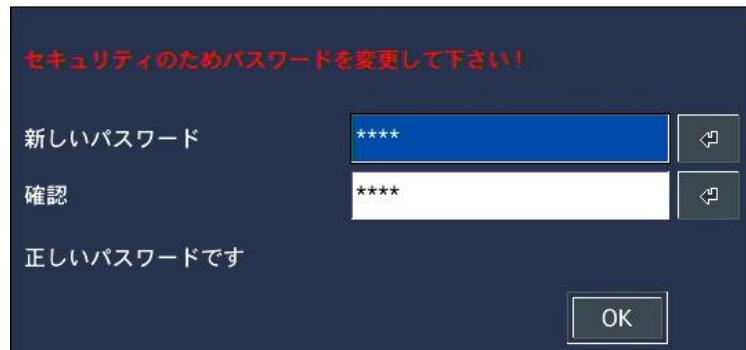


5. ログイン時のパスワードを設定します。

設定したパスワードは、メモをとるなどをし忘れたり紛失したりしないよう大切に保管してください。

また、セキュリティ維持のためパスワードは定期的に変更してください。

パスワード変更方法については、「3.7.3 使用者パスワード(3-40 ページ)」をご覧ください。



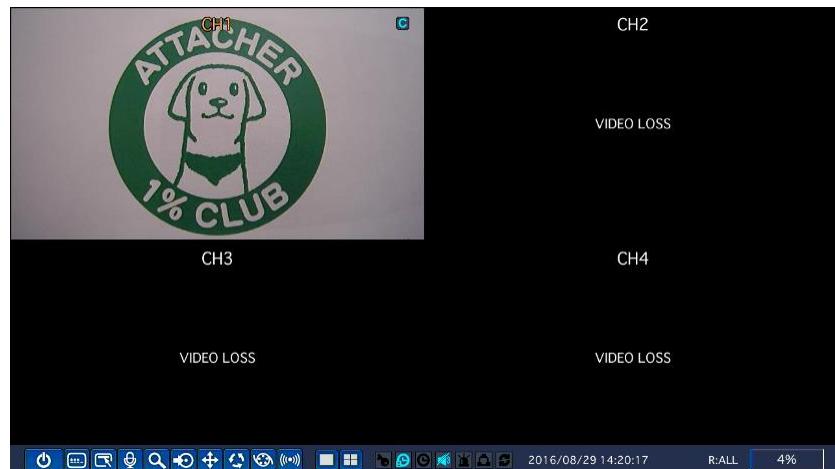
新しいパスワード：新しく設定するログインパスワードを入力します。

確認：上記と同じ値を入力します。(入力間違いにご注意ください。)

パスワード変更日	パスワード設定値
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

※パスワードを忘れてしまった場合は、弊社営業までお問い合わせください。

6. 設定完了後、起動状態となりライブ画面が表示されます。



※ ライブ画面上でのアイコンの見方や操作方法については、2章(2-1 ページ)以降をご覧ください。

1.7.2 2回目以降の起動について

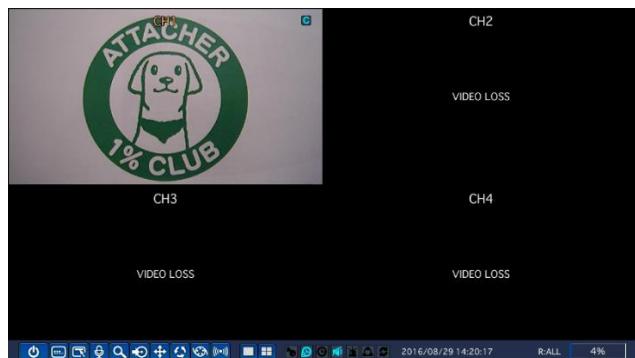
2回目以降の起動時には、使用言語などの設定画面は表示されません。

以下の手順に沿って起動を行ってください。

1. 本機背面の映像入力端子にカメラを接続し、電源入力端子に AC アダプターを接続します。
2. 通電すると本機前面の POWER ランプが点灯し、本機が起動します。
起動すると以下の画面が表示されます。



3. 起動完了後、ライブ画面が表示されます。



※ ライブ画面上でのアイコンの見方や操作方法については、2章(2-1 ページ)以降をご覧ください。

1.8 本機のシャットダウン

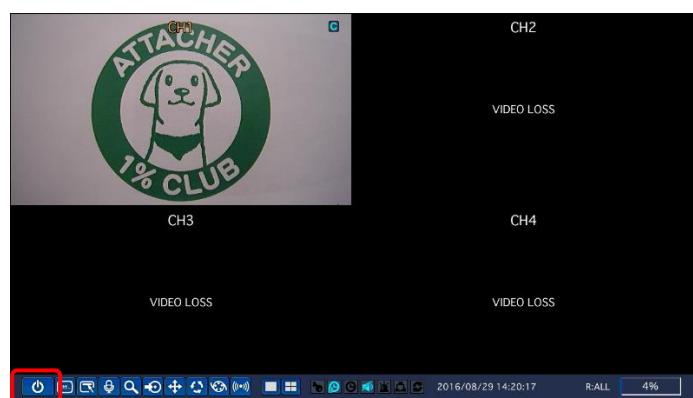
本機の起動を終了します。

<< 注意 >>

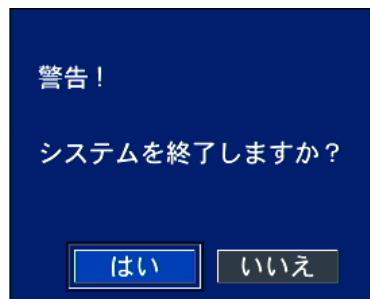
シャットダウンは必ず下記の手順にそって行ってください。

システム動作中に電源コードを抜くなどの正常ではない方法で電源を切ると、データ損失やディスクの寿命短縮につながる恐れがあります。

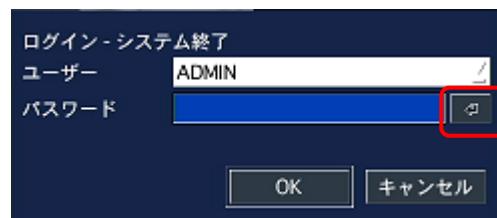
1. タスクバーからシャットダウンアイコン  をクリックします。



2. 確認画面が表示後、「はい」をクリックします。



3. パスワード入力欄右側のアイコンをクリックします。



4. パスワードを入力し、「ENTER」をクリックします。

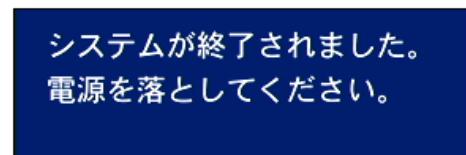


5. 「OK」をクリックします。



6. 以下のメッセージ表示後、本機から電源コードを抜いてください。

抜いた時点で本機のシャットダウンは完了となります。



⚠ 注意

計画停電などでシャットダウンを行う際は、必ず AC アダプターをコンセントから取り外してください。
また、復電させる際は、あらかじめ電源コードを本機に接続してから行ってください。

2章 ライブ画面での操作

本機を起動すると、ライブ画面(現在のカメラ映像を閲覧する画面)が表示されます。

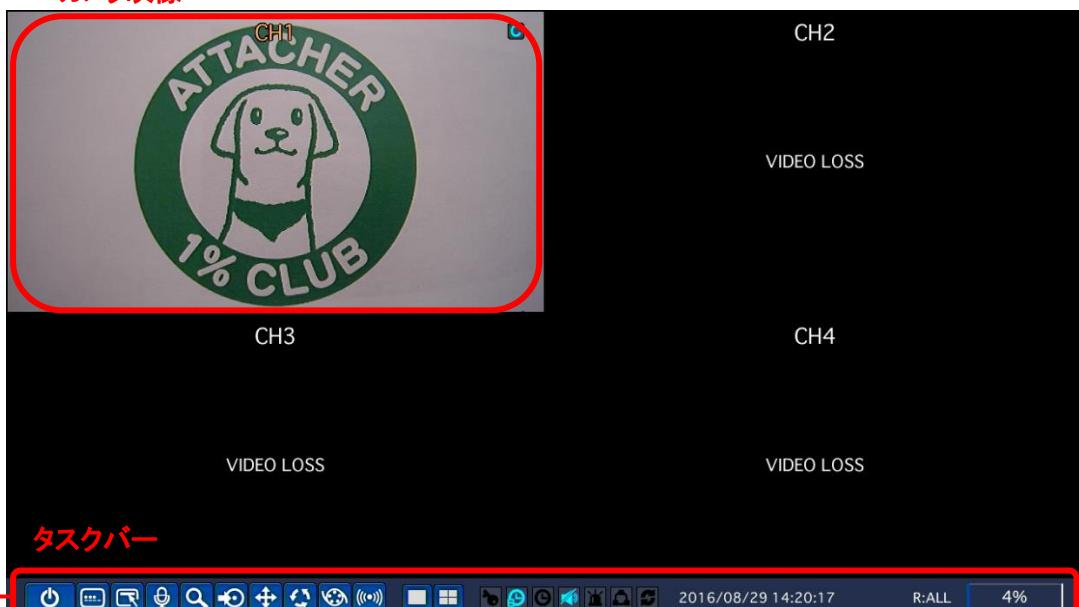
設定や検索などの項目は、ライブ画面から選択して操作を行います。

2.1 ライブ画面について

本機が起動すると最初に表示される基本画面となります。

接続しているカメラのライブ映像やタスクバー操作に必要なアイコン、動作状態などが表示されます。

カメラ映像



タスクバー

タスクバーの操作はすべてマウスで行います。

同梱のマウスを本体前面または後面の USB 端子に接続してください。

※タスクバーは、マウスカーソルを画面最下部に移動させることで表示できます。

【 分割画面表示 / 1画面表示 】

それぞれの CH の上にマウスカーソルを置いてダブルクリックすると、その CH の 1 画面表示になります。

再度、ダブルクリックすると分割画面表示に戻ります。

タスクバーの項目

アイコン	説明
	システムを終了し、本機をシャットダウンします。
	使用者の操作をロックします。 クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックを解除する場合は、再度、ロックアイコンをクリックし、パスワードを入力してください。
	設定メニューに入ります。 ※ 詳細は、「 各種設定(3-1ページ) 」をご覧ください。
	音声出力のチャンネルを選択します。 クリックするごとに CH1 音声出力 → CH2 音声出力 → CH3 音声出力 → CH4 音声出力 → 消音 → CH1 音声出力 → …の順番で切換わります。
	検索メニューに入ります。 ※ 詳細は、「 検索と再生(4-1ページ) 」をご覧ください。
	ライブ画像の静止画を USB メモリーにバックアップします。 ※ 詳細は、「 バックアップ(5-1 ページ) 」をご覧ください。
	PTZ カメラコントロールメニューに入ります。 ※ 詳細は、「 PTZコントロール(6-1ページ) 」をご覧ください。
	画面自動切換(シーケンス表示)を 開始/停止 します。 分割画面表示時には動作しません。 また、カメラからの映像出力がある CH のみ自動切換を行います。
	手動録画を 開始/停止 します。 手動録画中は、「 録画(3-8 ページ) 」で設定した録画条件は無視されます。
	アラーム出力機能の有効/無効を切換えます。 無効(OFF)の際は、アラーム出力条件を満たしてもアラーム出力をしません。
	ライブ映像を 1 画面で表示します。 クリックするごとに表示するチャンネルが切換わります。
	ライブ映像を 4 分割画面で表示します。

タスクバーの項目

アイコン	説明
	使用者の操作がロック状態の時にハイライトになります。
	アラーム出力機能が ON のときにハイライトになります。
	アラーム出力機能が OFF(グレーアウト状態)の時は、アラーム出力条件を満たしてもアラーム出力しません。
	アラーム出力中にハイライトになります。
	音声出力状態を表示します。 各 CH の音声出力アイコンに切り替わります。
	モーションまたは外部センサーの入力による録画中ハイライトになります。
	ネットワーククライアントが本機に接続している時にハイライトになります。
	画面自動切替が動作している時にハイライトになります。
2016/05/11 15:34:05	現在の日時を表示します。 ※詳細は、「 日時設定(3-30 ページ) 」をご覧ください。
R:ALL	現在操作中のリモコン ID を表示します。 (例)リモコン ID が 35 に設定している場合、「R:35」と表示されます。 また、リモコン ID が設定されていない場合は、「R:ALL」と表示されます。 ※詳細は、「 リモコン ID(3-22 ページ) 」をご覧ください。
90%	本機に接続中の HDD の使用容量を 0~99% で表示します。
	HDD が上書きを行っている間にハイライトになります。 ※詳細は、「 上書き(3-25 ページ) 」をご覧ください。

映像表示部の項目

アイコン	説明
チャンネル名	各チャンネル映像の上部の中央に表示されます。 ※詳細は、「 チャンネルネーム(3-6 ページ) 」をご覧ください。
VIDEO LOSS	映像入力端子に入力信号がないチャンネルの中央に表示します。
	常時録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
	モーション録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
	センサー録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
	手動録画中のチャンネル映像右上に表示されます。
	アラーム発生中のチャンネル映像右上に表示されます。
1080p30	カメラの録画設定値が各チャンネルの下中央に表示されます。

※映像表示部の各アイコンを非表示にすることができます。

詳しくは、[OSD 表示\(3-4 ページ\)](#)をご覧ください。

2.2 ポップアップメニュー

ライブ画面の上でマウスカーソルを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューから、映像検索やバックアップなどの操作を行うことができます。



ポップアップメニューの項目

項目	説明
設定	<p>設定メニューに入り、本機の様々な設定を行います。</p> <p>※ 詳細は、「各種設定(3-1ページ)」をご覧ください。</p>
音声	<p>音声出力のチャンネルを選択します。</p> <p>「消音」をクリックするとすべての CH の音声出力機能を OFF にします。</p>
検索	<p>検索メニューに入り、録画映像の検索・再生を行います。</p> <p>※ 詳細は、「検索と再生(4-1ページ)」をご覧ください。</p>
バックアップ	ライブ画像の静止画を USB メモリーにバックアップします。
カメラ PTZ	<p>PTZ カメラコントロールメニューに入ります。</p> <p>※ 詳細は、「PTZコントロール(6-1ページ)」をご覧ください。</p>
画面自動切換え ON (OFF)	<p>画面自動切換え(シーケンス表示)を 開始/停止 します。</p> <p>分割画面表示時には動作しません。</p>
手動録画 ON(OFF)	<p>手動録画を 開始/停止 します。</p> <p>※ 詳細は、「録画モード(3-10 ページ)」をご覧ください。</p>
アラーム出力 ON(OFF)	<p>アラーム出力機能の有効/無効を切換えます。</p> <p><u>無効(OFF)の際は、アラーム出力条件を満たしてもアラーム出力をしません。</u></p>
インスタント再生	<p>直前の映像を再生することができます。</p> <p>クリックすると 10 秒前 / 20 秒前 / 30 秒前 / 60 秒前 を選択することができます。</p>
タスクバー 常に表示/自動隠し	<p>タスクバーを常に表示するか、自動的に隠すかを切換えます。</p> <p><u>自動的に隠す状態の場合、画面の一番下にマウスのカーソルを移動させるとタスクバーが出現します。</u></p>
CH 情報	<p>選択チャンネルの録画設定情報を表示します。</p> <p>※ 詳細は、「録画(3-8ページ)」をご覧ください。</p>
システム情報	システムの情報を表示します。
システムロック	<p>使用者の操作をロックします。</p> <p>クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。</p> <p>ロックを解除する場合は、再度、ロックアイコンをクリックし、パスワードを入力してください。</p>
システム終了	<p>システムを終了し、本機をシャットダウンします。</p> <p>※ 詳細は、「本機のシャットダウン(1-12 ページ)」をご覧ください。</p>

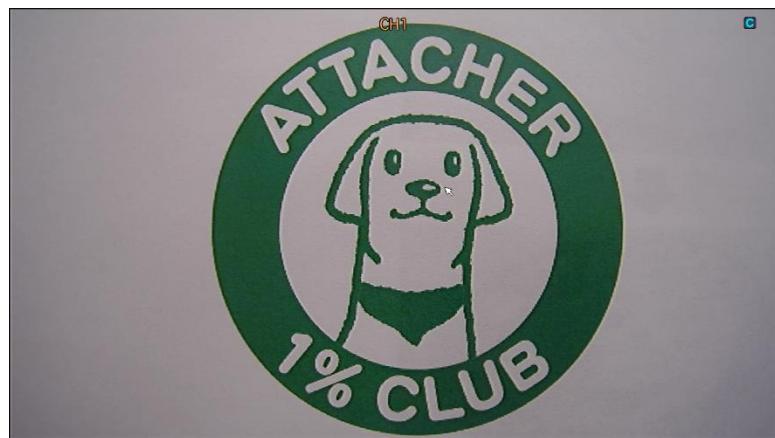
2.3 デジタルズーム

ライブ画面表示中に、デジタルズームすることで、映像を拡大して視聴することができます。

※ デジタルズームは、マウス操作時のみ可能です。

※ デジタルズームを行う場合は、任意の CH を 1 画面表示にしておく必要があります。

マウスのドラッグ & ドロップで選択した範囲がデジタルズームされます。



デジタルズーム中、画面をクリックすると、元の倍率に戻ります。

※ デジタルズーム機能は、記録映像の再生画面でも同機能が使用可能です。

3章 各種設定

本機をご使用いただく上でさまざまな設定を行います。

3.1 設定メニューの概要

【 設定画面の開き方 】

1. 以下のいずれかの方法で、設定画面を開くことができます。

- リモコンの「SETUP」を押します。
- メイン画面のタスクバーから、設定アイコンをクリックします。
- メイン画面上で右クリックし、ポップアップメニューから「設定」をクリックします。



2. 設定画面に入る前にパスワードを入力する必要があります。

パスワードを入力し、「OK」をクリックすると、設定画面が表示されます。



※セキュリティの安全性確保のため、パスワードは必ず定期的に変更してください。

設定メニュー内の「セキュリティ」から、各種設定画面に入る前のパスワード入力を省略することができます。

詳細は、「3.7.1 使用者権限(3-38 ページ)」をご覧ください。

【 設定メニューを操作するには 】

マウスの操作

左クリック	カーソルが位置している項目を選択します。
右クリック	(一部のメニューで)前画面に戻ります。

リモコンの操作

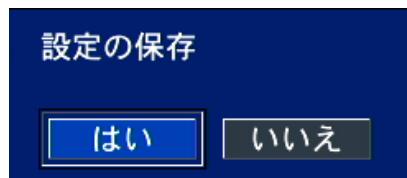
▼ボタンを押す	1つ次の設定項目に移動します。
▲ボタンを押す	1つ前の設定項目に移動します。
◀▶ボタンを押す	設定項目の設定値や選択肢を変更します。
「SEL」ボタンを押す	ボタンを選択します。
「ESC」ボタンを押す	前画面に戻ります。

各項目のアイコン

	「SEL」を押すかクリックで選択すると、 ドロップダウンで選択肢を表示します。
	コントロールボタン(◀▶)やマウスのドラッグ&ドロップで、 設定値を変更します。
	選択すると、文字入力表やサブメニューの画面が表示されます。

【 設定の保存 】

各種設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために、「OK」をクリックすると
設定内容保存の確認メッセージが表示されます。

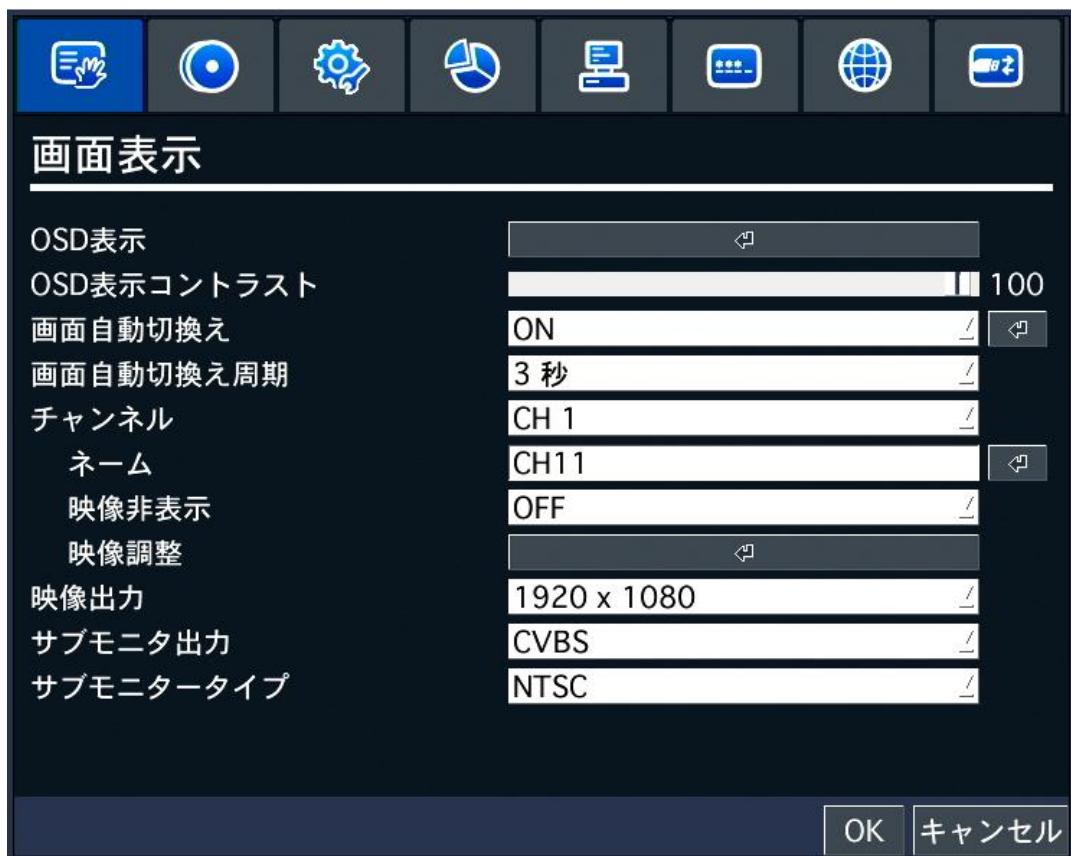


- 「はい」をクリックすると、変更した設定内容が保存されます。
- 「いいえ」をクリックすると変更した設定内容が無効化されます。

設定内容を有効にする場合は、必ず「はい」を選択してください。

3.2 画面表示

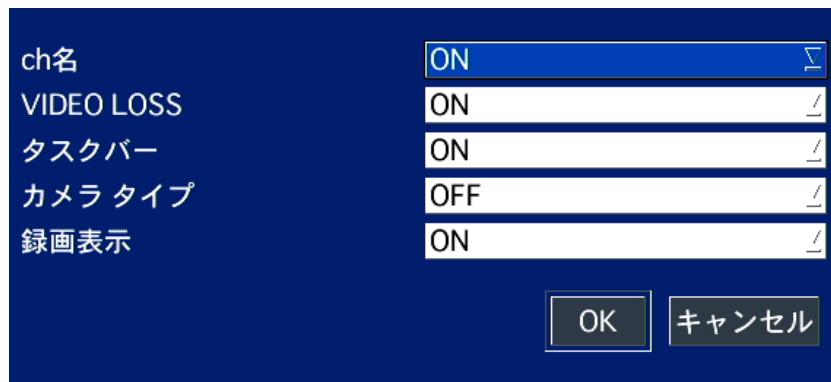
ライブ画面の各 CH の表示設定やモニター出力設定を行います。



3.2.1 オン・スクリーン・ディスプレイ(OSD)表示

ライブ画面にカメラの解像度やカメラタイトルなどを表示させることができます。

詳細アイコン  をクリックすると設定ウィンドウが表示されます。



OSD 表示の項目

項目	説明
ch名	カメラタイトル表示のON/OFFを設定します。 OFFにすると、カメラタイトルが非表示になります。
VIDEO LOSS	映像入力のないCHに「VIDEO LOSS」の表示のON/OFFを設定します。 OFFにすると、「VIDEO LOSS」の文字が非表示になります。
タスクバー	タスクバーの表示のON/OFFを設定します。 OFFにするとタスクバーが非表示になります。
カメラタイプ	カメラの録画設定のうち解像度とfpsの表示のON/OFFを設定します。 OFFにすると、設定値が非表示になります。
録画表示	映像表示エリア右上の録画モード表示のON/OFFを設定します。 OFFにすると、録画モードアイコンが非表示になります。

3.2.2 OSD 表示コントラスト

表示されたメニューの OSD 画面のコントラストを調整します。



項目右側のシークバーを動かしてコントラストを調整してください。

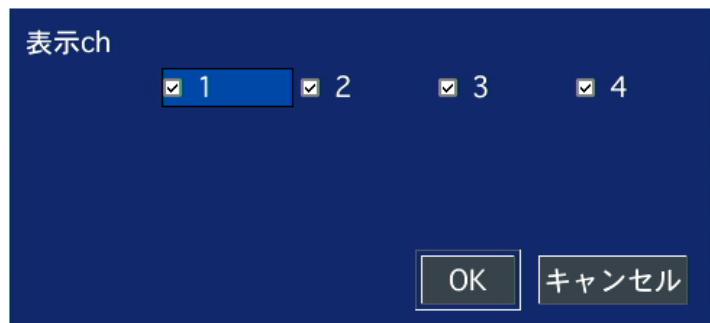
※ 設定値は 50~100%です。

3.2.3 画面自動切換え

画面自動切換え(シーケンス表示)を行うかどうかを設定します。

ON/OFF から選択してください。

「ON」を選択した場合、詳細アイコンをクリックすると設定ウィンドウが表示されます。



画面自動切換えの項目

項目	説明
表示 ch	切換えるチャンネルを選択します。 チェックを入れたチャンネルが自動切換え対象となります。

※ カメラからの映像出力がない場合、チェックを入れていても自動切換えはされません。

3.2.4 画面自動切換え周期

画面自動切換え(シーケンス表示)の切換え時間を設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、3~60 秒から選択してください。

3.2.5 チャンネル

チャンネル名の変更やカメラ映像の調整を行います。

チャンネル項目のプルダウンボタンを押して、設定するチャンネルを選択してください。

- **ネーム** チャンネル名の変更ができます。

詳細アイコン  をクリックするとキーボードが表示されます。

マウスまたはリモコンの方向キー操作でチャンネル名を編集してください。

編集完了後は、「ENTER」をクリックしてください。



※ ネームは、英数字記号のみ有効です。

- **映像非表示** 「ON」にすると、選択した CH のカメラ映像を非表示にすることができます。
- **輝度** 選択した CH の輝度を調整できます。
- **コントラスト** 選択した CH のコントラストを調整できます。
- **色合い** 選択した CH の色合いを調整できます。
- **彩度** 選択した CH の彩度を調整できます。
- **シャープネス** 選択した CH の描写線の細やかさを調整できます。

3.2.6 映像出力

ビデオ出力解像度を選択します。(HDMI / VGA 共通)

項目のプルダウンボタンを押して、出力解像度を選択してください。

選択可能な解像度は、1280*720 / 1920*1080 / 1280*1024 / 1024*768 です。

※モニター側の対応解像度以上の解像度を設定した場合、正常に映像が表示されない場合があります。

3.2.7 サブモニター出力

サブモニターへの出力を切換えます。

項目のプルダウンボタンを押して、出力を選択してください。

- CVBS : メインモニターと同じ画面を表示します。
- SPOT : デバイス項目で設定した映像を 1 画面表示します。

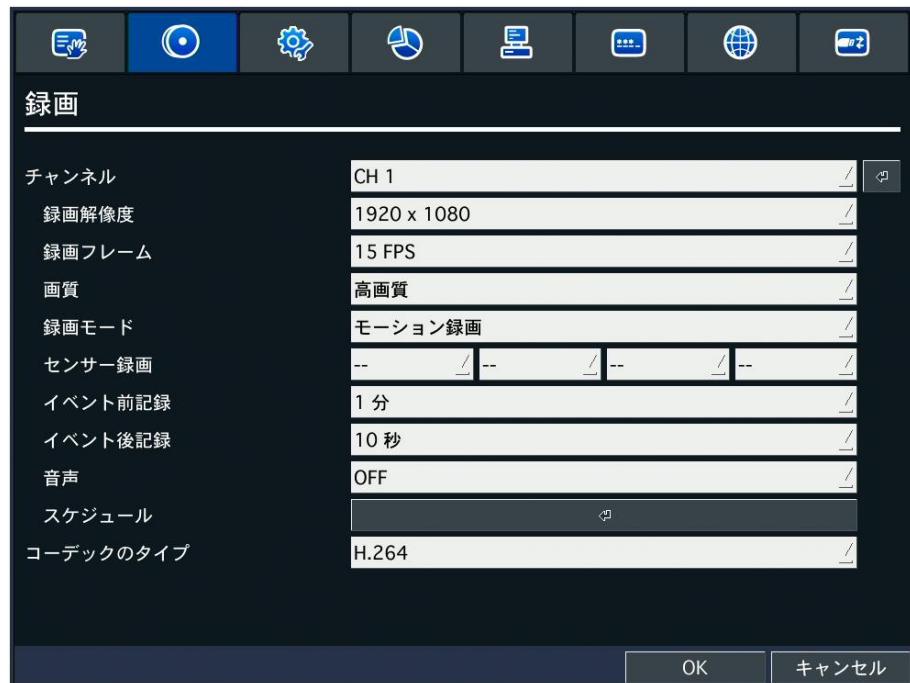
3.2.8 サブモニタータイプ

サブモニターの表示タイプを設定します。

接続先のサブモニターのタイプに合わせて、NTSC/PAL を選択してください。

3.3 録画

チャンネルごとに録画設定を行います。



「チャンネル」の項目にて、プルダウンボタンをクリックし、設定するカメラチャンネルを選択してください。

詳細アイコン  をクリックすることで、現在の各チャンネルの録画設定一覧を確認できます。

「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定を一度に変更できます。

	解像度	フレームレート	画質	録画モード	イベント前記録	イベント後記録	音声
ALL	1920x1080	15 FPS	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
1	1920x1080	15 FPS	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
2	1920x1080	15 FPS	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
3	1920x1080	15 FPS	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
4	1920x1080	15 FPS	高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF

OK キャンセル

設定変更後は、「OK」をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

3.3.1 録画解像度

カメラの録画解像度を設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、解像度を選択できます。

AHD カメラ接続時は、1280*720 / 640*360 / 1920*1080 / 1920*540

アナログカメラ接続時は、CIF (352*240) / D1 (704*480) / 960H (960*480)

の中から選択してください。

3.3.2 録画フレーム

録画のフレームレート(1秒間に何枚の画像を撮影するか)を設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、数値を選択できます。

1~30

の範囲で設定してください。

※AHD カメラ使用時、1 チャンネルあたり最大 15fps まで

アナログカメラ使用時、1 チャンネルあたり最大 30fps まで設定が行えます。

3.3.3 画質

録画の画質を設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、画質を選択できます。

ネットワーク画質 / 標準画質 / 中画質 / 高画質 / 最高画質

の中から選択してください。

3.3.4 録画モード

録画方法を設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、モードを選択できます。

録画しない / 常時録画 / モーション録画 / センサー録画 / スケジュール
の中から選択してください。

【 録画モードの種類 】

録画を開始する条件を 6 つのモードから選択できます。

- **録画しない**

録画を行いません。

- **常時録画**

本機の電源が ON になっている間は常に録画を行います。

- **モーション録画**

本機内蔵のモーションセンサーが反応すると録画を行います。

- **センサー録画**

本機の外部センサー入力端子に接続されたセンサー機器などが反応すると録画を行います。

センサー入力端子の位置については、外観(1-2 ページ)をご覧ください。

- **スケジュール**

録画設定メニューの「スケジュール」で設定されたスケジュール通りに録画を行います。

- **手動録画**

リモコンの「REC」を押すか、マウスでタスクバー や ポップアップメニューから「手動録画」をクリックすると、各チャンネルの録画モードを無視し、強制的にリアルタイムで録画を開始します。
手動録画モードを解除する場合は、「REC」をもう一度押し、パスワードを入力してください。

※手動録画の設定(各チャンネルの解像度・録画フレーム・画質など)は録画設定メニューの項目の設定と同じになります。

3.3.5 センサー録画

センサー録画時、どのセンサーの入力によって録画を行うかを設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、センサー番号を選択できます。

1(S1 端子) ~ 4(S4 端子)

の中から選択してください。

※各チャンネル、最大 4 入力まで選択できます。

3.3.6 イベント前記録

イベント発生時(モーション検知やセンサー入力検知時)、その時刻よりも何分前から映像を記録するかを設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、時刻を選択できます。

OFF / 15 秒 / 30 秒 / 1 分 / 3 分 / 20 分

の中から選択してください。

3.3.7 イベント後記録

イベント発生時(モーション検知やセンサー入力検知時)、その時刻から何分間の映像を記録するかを設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、時刻を選択できます。

10 秒 ~ 30 秒 / 60 秒

の中から選択してください。

3.3.8 音声

マイク接続時、ライブ映像の音声を記録するかを設定します。

項目のプルダウンボタンを押して、機能を選択できます。

ON / OFF

から選択してください。

3.3.9 スケジュール

スケジュールに沿って、どの録画モードで記録するかを設定します。

1週間単位のスケジュール設定によって、指定された曜日や時刻に録画モードが自動的に変更されます。

項目の詳細アイコンをクリックすると、スケジュール画面が表示され、1週間の録画スケジュールを設定できます。

【スケジュール設定手順】

以下の手順で録画スケジュールを設定できます。

1. 「スケジュール」項目の詳細アイコンをクリックします。

スケジュール設定画面が表示されます。



2. 「チャンネル」欄で設定を行うチャンネルを指定します。

チャンネル 1

1~4 から選択してください。

3. 以下の項目から録画モードを選択します。

なし 常時録画 モーション録画 センサー録画

4. スケジュール表のマス目を選択すると、選択中の録画モードで設定されます。
 マウス使用時は設定したい範囲をドラッグ & ドロップすることで範囲設定ができます。
 録画モードによって選択したマス目が下記の表の色で表示されます。

色	録画モード
緑	常時録画
赤	センサー録画
黄	モーション録画
白(無色)	録画しない



※マウス使用時は、以下のような一括設定ができます。

- **1日中同じ設定にしたい場合**

縦軸の曜日をクリックします。

例) 「月」をクリックすると、月曜日の全ての時間帯を選択した録画モードに設定します。



- 毎日の一定時間帯を同じ設定にしたい場合

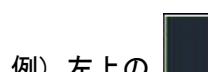
横軸の数字をクリックします。

例) 「4」をクリックすると、毎日の 04:00 ~ 05:00 の間の時間が選択した録画モードに設定されます。

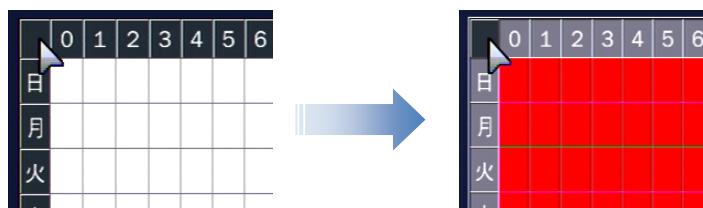


- 毎日すべての時間帯を同じ設定にしたい場合

縦軸と横軸が接する部分のマス目をクリックします。



例) 左上の をクリックすると、毎日の全ての時間帯が選択した録画モードに設定されます。



- をクリックすると、スケジュール上の録画モード設定がすべて消去され、

初期化されます。

- 他のチャンネルも同じ設定にする場合

「スケジュールを他の CH にコピー」の項目で、スケジュールを上書きしたいチャンネルの

チェックボックスにチェックを入れ、 を選択すると、スケジュール表の設定が選択したチャンネルに適用されます。

- 「OK」をクリックすると、設定したスケジュールを保存します。

3.3.10 コーデックのタイプ

カメラ映像を録画する際の圧縮率を選択します。

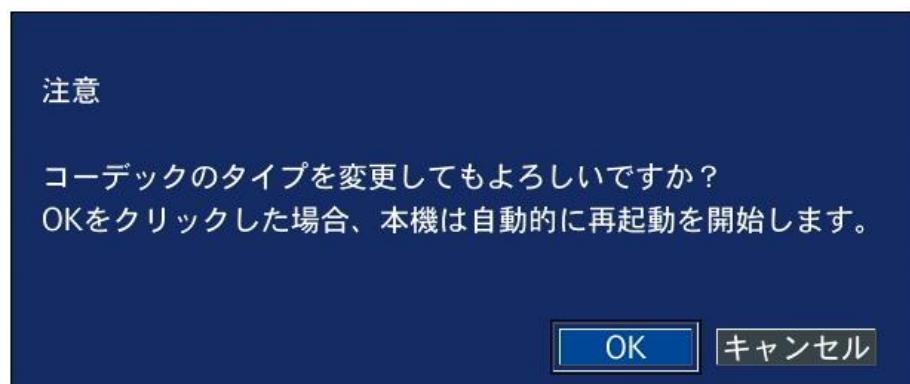
項目のプルダウンボタンを押して、録画時のコーデックを選択してください。

H.264 / H.265

から選択してください。

<< 注意 >>

コーデックタイプを変更した場合、本機の再起動が必要になります。

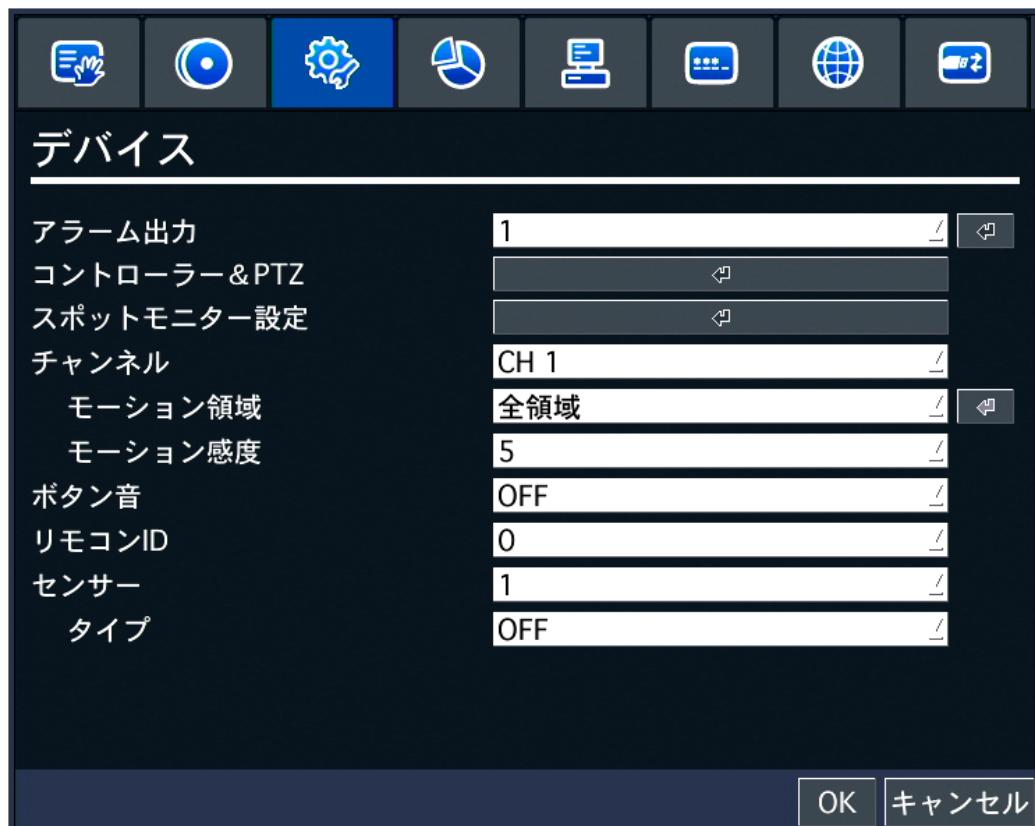


「再起動しますか？」のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてください。

自動的に再起動が始まります。

3.4 デバイス

本機へ接続した外部機器や、カメラ別に使用する動作検知エリア、リモコン ID などを設定します。



3.4.1 アラーム出力

本機に接続した外部機器へのアラーム出力設定を行います。

出力機器は本機背面の外部アラーム接続端子に接続してください。

詳細は、「センサー・アラーム接続(1-6 ページ)」を参照してください。

詳細アイコンをクリックすると、アラーム出力の条件を設定できます。

設定後は、「OK」をクリックしてください。



アラーム出力設定の項目

項目	説明
アラーム出力	変更できません。 本機からアラーム信号を出力し続ける時間を設定します。 項目のプルダウンボタンをクリックし、数値を設定できます。 5秒～60秒 / 無限の中から選択してください。
アラーム維持時間	※「無限」を選択した場合、イベント検知から復帰するまで アラーム信号を出力し続けます。
タイプ	接点出力の種類を設定します。 NORMAL OPEN / NORMAL CLOSEの中から選択してください。

※ 設定後に、必ずライブ画面でアラーム出力が ON になっていることをご確認ください。

タスクバーのアラーム出力アイコン  がハイライトになっていないと、アラーム信号が出力されません。

詳細は、「2.1 ライブ画面について(2-1 ページ)」をご覧ください。

3.4.2 コントローラー&PTZ

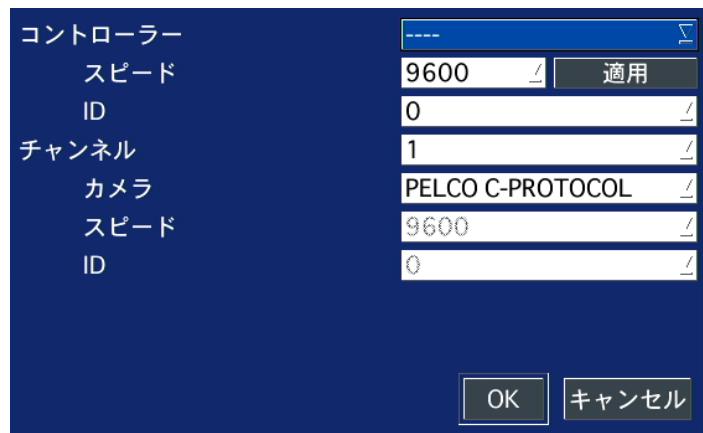
コントローラーや PTZ 制御を行うための設定を行います。

コントローラーや PTZ カメラは RS-485 ケーブルで本機後面の RS-485 ポートに接続します。

詳細は、「コントローラー・PTZ カメラ接続(1-7 ページ)」を参照してください。

詳細アイコンをクリックすると、制御の設定ができます。

各設定後は、「OK」をクリックしてください。



コントローラー&PTZ 設定の項目

項目	説明
コントローラー	接続しているコントローラーのタイプを設定します。
スピード	コントローラーとの通信速度を設定します。 2400 / 4800 / 9600 / 14400 / 19200 の中から選択してください。
ID	設定後、「適用」をクリックしてください。
チャンネル	接続しているコントローラーのIDを設定します。 0 ~ 63 の中から選択してください。
カメラ	下位項目を設定するチャンネルを設定します。 1 ~ 4 の中から選択してください。
スピード	接続しているPTZカメラのプロトコルタイプを選択します。 接続中のPTZカメラに対応したプロトコルを選択してください。
ID	PTZカメラとの通信速度(ボーレート)を設定します。 必ずPTZカメラに設定した値と同じ設定値を選択してください。
	接続しているPTZカメラのIDを設定します。 必ずPTZカメラに設定したIDと同じIDに設定してください。

※ 各項目にはコントローラー・PTZ カメラ側で設定した値を入力してください。

※ 詳しい操作方法はご使用のコントローラーや PTZ カメラの取扱説明書をご覧ください。

3.4.3 スポットモニター設定

BNC 端子をスポット出力端子として使用するための設定を行います。

「画面表示」項目の「SUB MONITER OUTPUT」を「SPOT」に設定した場合のみ、設定値が反映されます。

詳細アイコンをクリックすると、SPOT の設定ができます。

各設定後は、「OK」をクリックしてください。



SPOT 設定の項目

項目	説明
イベント時スポット出力	「ON」にすると、イベント発生時、指定したチャンネルのライブ映像を指定した時間だけスポットモニターに表示します。
イベント画面表示時間	イベント時、スポットモニターへの出力時間設定。 3秒 ~ 10秒 の中から選択してください。
画面自動切換え	「ON」にすると、スポットモニターに各CHのライブ映像を順番に切換えながら表示します。(シーケンス表示)
画面自動切換え周期	画面自動切換えの切換えるまでの時間間隔設定。 3秒 ~ 10秒 の中から選択してください。
スポット CH	画面自動切換えを有効にするCHにチェックを入れます。 チェックのないCHは、スポットモニターには表示されません。

3.4.4 チャンネル

モーション検知の範囲や感度の設定を行います。

「チャンネル」項目のプルダウンボタンをクリックし、設定するカメラチャンネルを選択してください。

- **モーション領域**

選択したチャンネルで動きを検知するエリアを設定します。

項目のプルダウンボタンをクリックし、検知領域を設定できます。

全領域 … ライブ映像にて表示される全ての領域に対して動きを検知します。

検出枠 … 詳細アイコンをクリックし、動きを検知する領域を自由に指定できます。

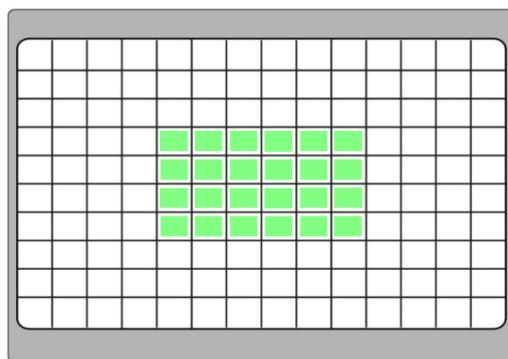
設定手順については、下記の**モーション検出枠設定手順**をご覧ください。

【 モーション検出枠設定手順 】

以下の手順で、モーション検知領域を設定できます。

1. デバイス設定画面のモーション領域項目で「検出枠」を選択し、をクリックします。

モーション検出枠の設定画面が表示されます。



2. リモコンのコントロールボタン(▲▼◀▶)でモーション検出する箇所にカーソルを合わせ

「SEL」を押すとモーション検出領域に設定されます。

マウス操作の場合は、カーソルを合わせた箇所でクリックするとモーション検出領域に設定されます。

※ 設定された領域は、緑色で表示されます。

3. 手順 2 を繰り返して、モーションを検出する領域を設定してください。

マウス操作の場合は、ドラッグ & ドロップすることで 1 度に広範囲を設定することができます。

※ 既に設定している領域を再度選択すると、設定が消去されます。

4 設定完了後、リモコンの「ESC」を押します。

マウス操作の場合は、マウスを右クリックしてデバイス設定画面に戻ります。

- **モーション感度**

選択したチャンネルの動作検知感度を設定します。

項目のプルダウンボタンをクリックし、検知感度を設定できます。

1(L) ~ 9(H) の中から選択してください。

3.4.5 ボタン音

リモコンの各ボタンを押した際に、確認音を鳴らす設定を行います。

項目のプルダウンボタンをクリックし、機能を選択できます。

OFF / ON から選択してください。

※ マウス操作の場合は、「ON」にしていても確認音は鳴りません。

3.4.6 リモコン ID

本機が複数台ある場合、それぞれのリモコンを区別する為に、ID を割り当てる設定を行います。項目のプルダウンボタンをクリックし、ID を選択できます。

0 ~ 99 の中から選択してください。

【 リモコン ID 操作設定手順 】

以下の手順で、リモコン操作を行えます。

※ 以下の手順は、リモコンにて操作を行ってください。

1. 「リモコン ID」欄でリモコン ID(0~99)を設定します。

「0」に設定すると、ライブ画面右下に **R:ALL** と表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。

「1 ~ 99」に設定すると、ライブ画面右下の **R:ALL** が非表示となり、ID が設定されていないリモコンでの操作ができなくなります。

2. リモコンの「ESC」を押し、ライブ画面まで戻ります。

3. リモコンの「ID」を押し、手順 1 で設定した ID と同じ数字をリモコンの数字キー上で押します。
リモコン ID が設定されます。

4. 本機とリモコンに設定した ID が一致すると、本機が操作可能となります。

3.4.7 センサー

本機に接続した外部機器の動作設定を行います。

項目のプルダウンボタンをクリックし、設定するセンサーを選択できます。

1 ~ 4 の中から選択してください。

- **タイプ**

「センサー」で選択したセンサーの動作設定を行います。

項目のプルダウンをクリックし、動作を選択できます。

OFF / NORMAL OPEN / NORMAL CLOSE の中から選択してください。

※ 本機へのセンサー接続については、「1.5 [センサー・アラーム接続\(1-6 ページ\)](#)」をご覧ください。

3.5 録画装置

本機内蔵の HDD に関する設定を行います。



3.5.1 上書き

HDD の容量がいっぱいになった際に、古い映像を削除し、上書きして録画を続けるかどうかの設定を行います。

項目のプルダウンボタンをクリックし、機能を選択できます。

ON / OFF から選択してください。

※「ON」にした場合は、必要な映像はあらかじめ外部メモリーにバックアップをしてください。

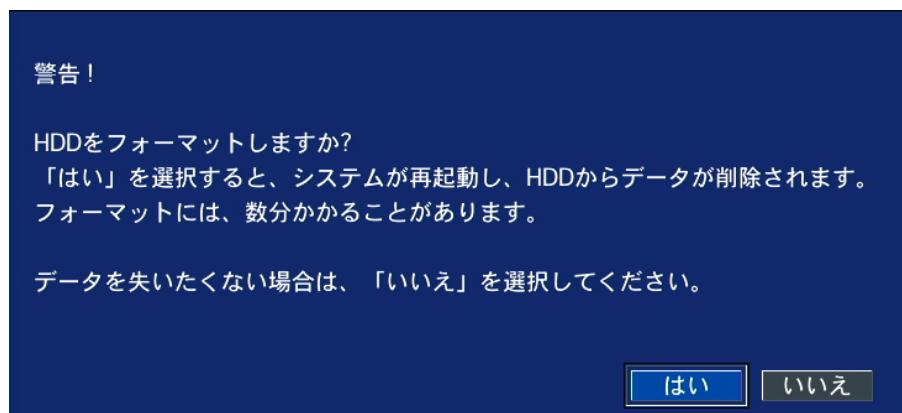
※「OFF」にした場合は、HDD 容量がいっぱいになると録画を停止します。

3.5.2 HDD フォーマット

本機内蔵の HDD の初期化を行います。

フォーマットを行うと、全ての記録が消去されます。実行する前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップをしてください。

詳細アイコンをクリックすると、フォーマット確認画面が表示されます。



フォーマットを続行する場合は、「はい」をクリックしてください。

フォーマット後、本機は再起動を行います。

3.5.3 HDD 情報

本機の使用中 HDD の情報確認できます。

詳細アイコンをクリックすると、HDD の使用状況画面が表示されます。

HDDの容量 : 435 GB (残り : 143 GB) HDD記録開始日時 : 2016/01/13 17:37:00 HDD最終記録日時 : 2016/05/18 11:04:00				
	モデル名	温度	通電時間	状態 (GOOD/NORMAL/BAD)
HDD 1				
HDD 2	WDC WD5000AAKS-00UU3…	42 °C (107 °F)	56 日 23 時間	NORMAL
HDD 3				
HDD 4				
HDD 5				
HDD 6				
HDD 7				
HDD 8				

OK 詳細

「OK」をクリックすると、録画装置画面に戻ります。

「詳細」をクリックすると、使用中の HDD のセクター情報画面が表示されます。

	代替処理セクター	現在保留中のセクター	代替処理不能セクター	Spin Retry Count
HDD 1				
HDD 2	0	1	0	0
HDD 3				
HDD 4				
HDD 5				
HDD 6				
HDD 7				
...				

OK ヘルプ

「OK」をクリックすると HDD 使用状況画面に戻ります。

「ヘルプ」をクリックすると、各セクター情報についての説明画面が表示されます。

[代替処理セクター]
代替処理領域に伝送された不良セクター。
このセクターの数が増えると、読み取り/書き込みの速度が落ちてきます。
[現在保留中のセクター]
読み取りエラーのため、代替処理を待っている状態のセクター。
[代替処理不能セクター]
読み取り/書き込みの時に、代替処理不能になったセクター。
このセクターの数が増えると、ディスク表面の傷や、サブシステムの機械的な問題が発生したことを意味します。
[スピンリトライ回数]
スピン開始をリトライした回数。
この回数が増えると、ディスクの機械的なサブシステムに問題が発生したことを意味します。

OK

「OK」をクリックすると、HDD セクター情報画面に戻ります。

3.5.4 記録保存日数制限

録画記録を保存する期間に制限を設定します。

HDD には設定した日数だけ記録を残し、それ以前のデータは古い順に削除されます。

項目のプルダウンボタンをクリックし、制限機能を選択できます。

ON / OFF から選択してください。

- **記録保存日数**

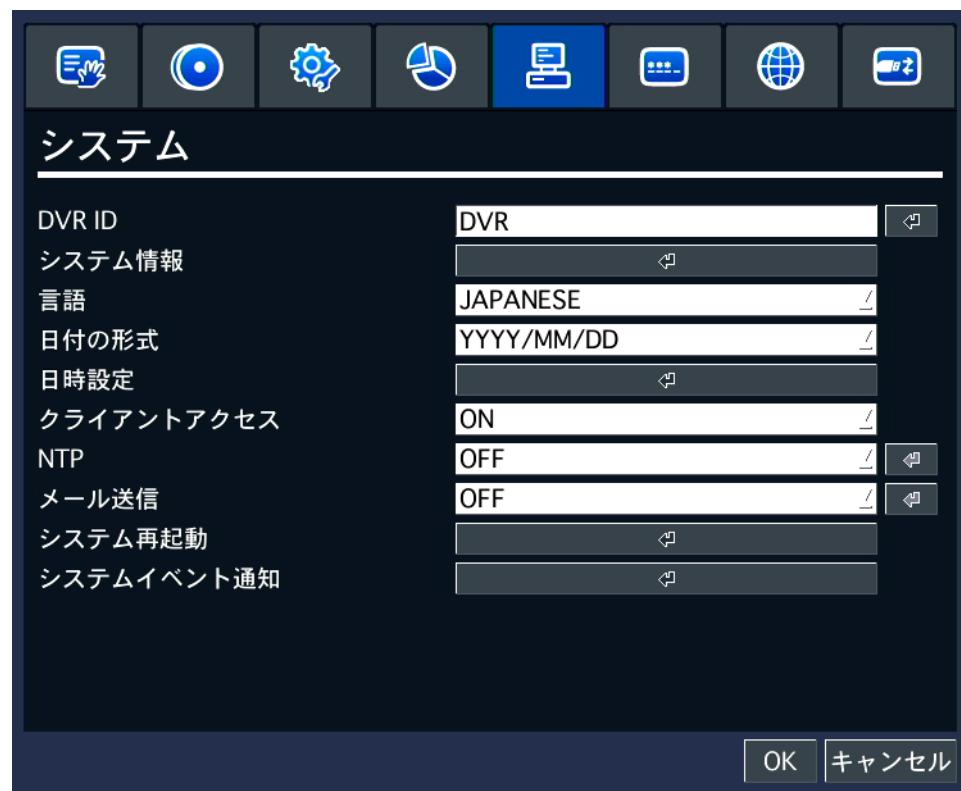
日数制限機能を「ON」にしている場合、録画記録を保存する日数を設定します。

項目のプルダウンボタンをクリックし、日数を選択できます。

1 ~ 90 日 の中から選択してください。

3.6 システム

本機のシステムを管理するための設定や、システム情報の確認が行えます。



3.6.1 DVR ID

本機の名称を設定します。

本機が複数台ある場合に、区別するために使用します。

詳細アイコンをクリックし、本機の名称を変更してください。



変更後は、「ENTER」をクリックしてください。

3.6.2 システム情報

本機のシステム情報を確認できます。

詳細アイコンをクリックすると、モデル名 / ソフトウェアバージョン / HDD 容量 / IP アドレス / MAC アドレス / DDNS ステータス が表示されます。

モデル名	AF-0405E
SWバージョン	Ver 5.1.2_20151013
HDDの容量	435 GB
IPアドレス	0.0.0.0
MACアドレス	00:02:69:0A:74:C5
DDNSステータス	DDNS OFF
OK	

「OK」をクリックすると、システム画面に戻ります。

3.6.3 言語

本機の表示言語を設定できます。

項目のプルダウンボタンをクリックし、言語を選択してください。

3.6.4 日付の形式

ライブ画面右下に表示する日付形式の変更を行います。

項目のプルダウンボタンをクリックし、表示形式を選択できます。

例) 2016 年 5 月 18 日の場合

YYYY-MM-DD : 2016-05-18

MM-DD-YYYY : 05-18-2016

DD-MM-YYYY : 18-05-2016

YYYY/MM/DD : 2016/05/18

MM/DD/YYYY : 05/18/2016

DD/MM/YYYY : 18/05/2016

3.6.5 日時設定

本機の日付と時刻の設定を行います。

詳細アイコンをクリックすると、日時設定画面が表示されます。



日時設定の項目

項目	説明
時間表示形式	時間の表示形式を設定します。 24 -HOUR FORMAT / 12 -HOUR FORMAT から選択してください。
時間帯	各国の時間帯に合わせて設定ができます。 通常は、「GMT +9:00 (Seoul/Tokyo)」を選択してください。
サマータイム	サマータイムを設定できます。 OFF / 北米 / 欧州 / その他 の中から選択してください。
※ 日本国内で使用する場合は、「OFF」を選択してください。	
日時設定	チェックボックスにチェックを入れると、手動で本機の日時を設定できます。 詳細は、日時設定手順(3-31ページ)をご覧ください。

【 日時設定手順 】

以下の手順で、本機の日時と時刻の設定を行います。

1. 「日時設定」のチェックボックスにチェックを入れると、システムの現在時刻が変更できるようになります。

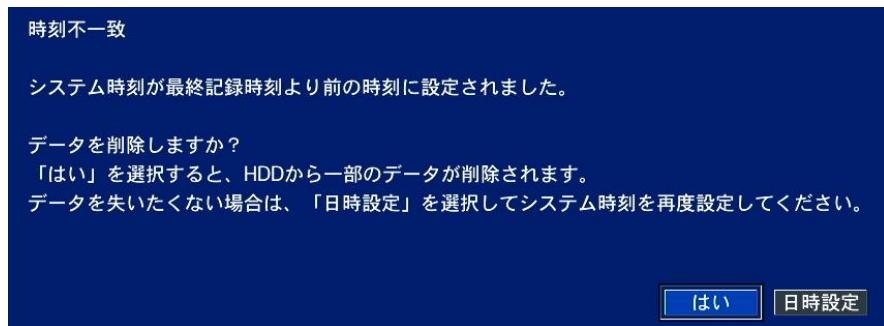


2. 年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒 を設定し、「OK」をクリックします。
3. 設定の保存画面で、「はい」を選択すると本機が再起動し、変更した日時が反映されます。

※ 時刻不一致が発生した場合

日時設定メニューから日時を更新し再起動したとき、新しい時刻が最終録画時刻より前の時刻になった場合、「時刻不一致」が発生します。
このとき、現在時刻と最終録画時刻の間にあるデータは消去することになります。

時刻不一致が発生した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。



新しい日時をそのまま適用してデータを削除するか、日時設定を変更前の状態に戻すかを選択します。
「OK」 … 設定変更後の日時設定を反映し、それ以降のデータは HDD から消去します。
「日時設定」 … 再度、日時を変更することができます。

3.6.6 クライアントアクセス

ネットワークを経由して、本機へ接続時に DVR Web Client 接続を許可するかを設定します。
項目のプルダウンボタンをクリックし、機能を選択できます。

OFF / ON から選択してください。

3.6.7 NTP

インターネットまたは LAN 上の NTP サーバーを使用して時刻合わせを行うかを設定します。
項目のプルダウンボタンをクリックし、機能を選択できます。

OFF / ON から選択してください。

「ON」を選択時、詳細アイコンをクリックすると、NTP サーバーアドレスなどを設定できます。

詳細は、「NTP サーバー設定(3-33 ページ)」をご覧ください。

« 注意 »

実際の時刻が本機の設定時刻よりも前の場合は、同期しません。

上記の場合は、1 度手動で実際の時に合わせてください。なお、ずれた時間帯の録画映像は削除されます。

3.6.8 メール送信

本機からメールを送信する設定を行います。

項目のプルダウンボタンをクリックし、機能を選択できます。

ON / OFF から選択してください。

「ON」を選択時、詳細アイコンをクリックすると、メール送信先などを設定できます。

詳細は、「メール送信設定(3-34 ページ)」をご覧ください。

3.6.9 システム再起動

本機の再起動を行います。

詳細アイコンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると、再起動を開始します。

「いいえ」をクリックすると、ライブ画面に戻ります。

3.6.10 システムイベント通知

各種イベント発生時の通知方法の設定を行います。

項目の詳細アイコン  をクリックし、通知方法を設定できます。

詳細は、「システムイベント通知設定(3-35 ページ)」をご覧ください。

【 NTP サーバー設定 】

ネットワーク上の NTP サーバーに接続し、本機の時刻を標準時刻に同期させることができます。

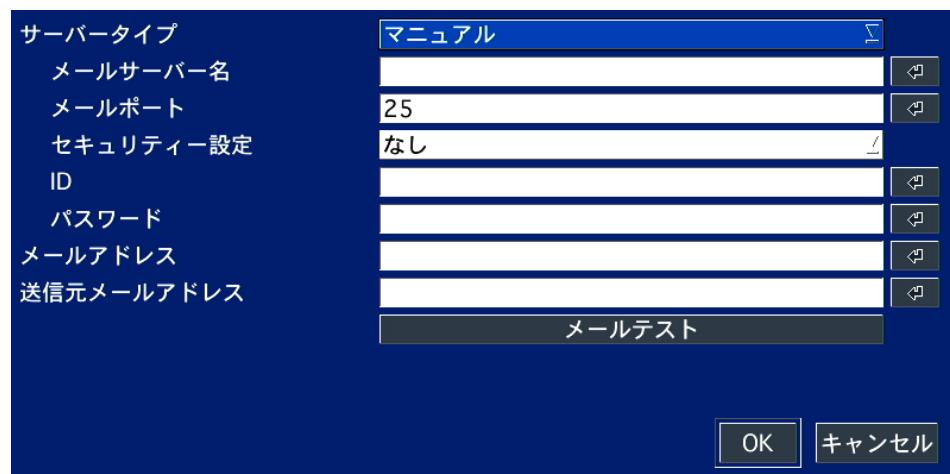
NTPサーバーアドレス1	<input type="text" value="kr.pool.ntp.org"/> 
NTPサーバーアドレス2	<input type="text" value="time.kriss.re.kr"/> 
時間帯	<input type="text" value="GMT +9:00 (Seoul/Tokyo)"/> 
接続モード	<input type="text" value="時刻指定"/> 
接続周期・時刻	<input type="text" value="03:00 AM"/> 

NTP の項目

項目	説明
NTP サーバーアドレス 1	時刻を同期するために接続するNTPサーバーのアドレスを入力します。
NTP サーバーアドレス 2	NTPサーバーアドレス1が接続できなかった場合に使用する、代替NTPサーバーのアドレスを入力する。
時間帯	使用地域のグリニッジ標準時を選択します。 日本国内で使用する場合は、「GMT +9:00」を選択してください。
接続モード	NTP同期を行う周期を設定します。 プルダウンボタンをクリックし、モードを選択してください。
接続周期 ・ 時刻	同期する時間あるいは時刻を設定します。 例) 「15」に設定すると <ul style="list-style-type: none">接続モードが「周期指定」の場合 : 15時間ごとに時刻同期します。接続モードが「時間指定」の場合 : 毎日15時(午後3時)に時刻同期します。

【メール送信設定】

本機からメールを送信するための設定を行います。



メール送信設定の項目

項目	説明
サーバータイプ	プルダウンボタンをクリックし、サーバーを選択します。 • マニュアル : サーバーアドレスを手動で入力します。 • GMAIL / HOTMAIL / AOL / YAHOO : それぞれのメールサーバーを使用する際に選択します。
メールサーバー名	送信元のメールサーバーを入力します。
メールポート	メール伝送時のポート番号を入力します。
セキュリティー設定	セキュリティーのため、暗号化された送信を対応するメールサーバーを使用する場合、プロトコルを選択します。 なし / SSL / TLS の中から選択してください。
ID	メールサーバーがID認証を必要とする場合、そのIDを入力します。
パスワード	メールサーバーがパスワードを必要とする場合、そのパスワードを入力します。
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。
送信元メールアドレス	送信元のメールアドレスを入力します。
メールテスト	クリックすると、設定したメールアドレスへテストメールを送信します。 指定したメールアドレスに正しく送信されているかを必ず確認してください。

【 システムイベント通知設定 】

アラーム出力やブザー、メール送信にて通知するイベントの設定を行います。

DISK EVENT SETUP		HDD 不良セクタ率 10%	
機器状態チェック	60°C (140°F)	HDD 使用率	90%
VIDEO CLIP SETUP		イベント前記録 2秒	
		イベント後記録 1秒	
イベント通知			
	アラーム出力	ブザー	メール
機器状態チェック	-	-	ON
再起動	-	-	ON
システム終了	-	-	ON
手動録画	-	-	ON
センサー入力	OFF	-	OFF
モーション検知	OFF	-	OFF
ビデオロス	OFF	OFF	OFF
HDD 温度	1	ON	OFF
HDD 不良セクタ率	-	-	ON
HDD 使用率	-	-	ON
HDD フル	-	-	ON
HDD エラー	OFF	OFF	ON
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>			

システムイベント通知設定の項目

項目

説明

本機が自身の動作状態を監視する機能です。

詳細アイコンをクリックすると、動作状態チェックの間隔を設定できます。

機器状態チェック

期間	毎月
第1	日
0 時	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

設定後、「OK」をクリックしてください。

HDDの不良セクタ(破損箇所)の割合の閾値を設定します。

HDD 不良セクタ率

プルダウンボタンをクリックし、数値を設定できます。

0 ~ 5% / 10 ~ 50% の中から選択してください。

HDD温度チェックの閾値を設定します。

HDD 温度

プルダウンボタンをクリックし、数値を設定できます。

40°C ~ 80°C の中から選択してください。

HDDの映像データでの使用率の閾値を設定します。

HDD 使用率

プルダウンボタンをクリックし、数値を設定できます。

75% ~ 90% の中から選択してください。

項目	説明
イベント前記録	<p>イベント発生前に録画データを残す秒数を設定します。</p> <p>プルダウンボタンをクリックし、数値を選択できます。</p> <p>1秒～5秒の中から選択してください。</p>
イベント後記録	<p>イベント発生後に録画データを残す秒数を設定します。</p> <p>プルダウンボタンをクリックし、数値を選択できます。</p> <p>1秒～5秒の中から選択してください。</p>
イベント通知	<p>項目ごとに、アラーム出力/ブザー/メールにて通知する(しない)を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> アラーム出力：イベント発生時、アラーム(接点)を動作させ外部機器に発報します。 <p>動作させる場合は、「1」を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブザー：イベント発生時、本体内部のブザーを鳴動させます。 <p>動作させる場合は、「ON」を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> メール：イベント発生時、設定したメールアドレスへメールを送信します。 <p>使用する場合は、「ON」を選択してください。</p>
機器状態チェック	機器状態チェックを行った後、結果をメールで送信します。
再起動	本機が再起動した際、メールを送信します。
システム終了	本機がシャットダウンした際、メールを送信します。
手動録画	手動録画を開始/終了した際、メールを送信します。
センサー入力	センサー入力を検知した際、イベント通知を行います。
モーション検知	動きを検知した際、イベント通知を行います。
ビデオロス	ビデオロスが発生した際、イベント通知を行います。
HDD 温度	HDD温度が閾値を超えた際、イベント通知を行います。
HDD 不良セクタ率	HDD不良セクタ率が閾値を超えた際、メールを送信します。
HDD 使用率	HDD使用率が閾値を超えた際、メールを送信します。
HDD フル	HDD容量がいっぱいになった際、メールを送信します。
HDD エラー	HDDが故障し録画ができない状態の際、イベント通知を行います。

3.7 セキュリティー

セキュリティーのためのパスワードやアクセス権限などの設定を行います。



3.7.1 使用者権限

各使用者が操作できるメニューの範囲を設定できます。

詳細アイコンをクリックすると、使用者一覧画面が表示されます。

	パスワード	設定	再生	PTZ	録画OFF	ネットワーク
パスワード確認		<input checked="" type="checkbox"/>				
ADMIN	1234	<input checked="" type="checkbox"/>				
USER1	1234	<input checked="" type="checkbox"/>				
USER2	1234	<input checked="" type="checkbox"/>				
USER3	1234	<input checked="" type="checkbox"/>				

※使用者一覧画面は、本機へ「ADMIN」でログインしているときのみ、表示することができます。

使用者権限の項目

項目	説明
パスワード	各使用者の現在のパスワードを表示します。 選択後、ダブルクリックするとパスワード変更画面が表示されます。 詳細は、「3.7.3 使用者パスワード(3-40ページ)」をご覧ください。
パスワード確認	設定/検索・再生/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスを操作する時 使用者のパスワードを確認するかを設定します。 ※ チェックを外した項目は、操作時にパスワード入力が 不要になります。
アクセス権限	設定/検索・再生/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスを操作する時 各使用者のアクセス権限を設定します。 チェックを外した項目は、そのユーザーでは操作することができません。 ※ 「ADMIN」欄のチェックを外すことはできません。

3.7.2 使用者名変更

「ADMIN」以外のユーザーの名称を設定します。

詳細アイコンをクリックすると、ユーザー名変更画面が表示されます。

【 使用者名変更手順 】

以下の手順で、各ユーザーの名称を変更できます。

1. 詳細アイコンをクリックすると設定画面が表示されます。



2. 「ユーザー」欄から変更するユーザーを選択します。

選択後、詳細アイコンをクリックします。

3. キーボード表示後、新しいユーザー名を入力し、「ENTER」をクリックします。



4. 変更後、「OK」をクリックし、変更完了です。

3.7.3 使用者パスワード

各ユーザーのパスワードを設定します。

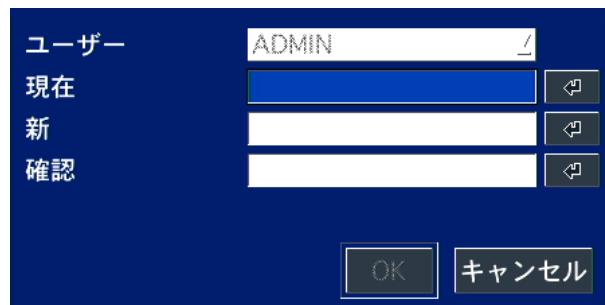
詳細アイコンをクリックすると、パスワード変更画面が表示されます。

【 使用者パスワード設定手順 】

以下の手順で、各ユーザーのパスワードが変更できます。

**設定したパスワードは、メモをとるなどをし忘れたり紛失したりしないよう大切に保管してください。
また、セキュリティー維持のためパスワードは定期的に変更してください。**

1. 変更するユーザーのパスワード項目を選択します。(マウス操作の場合は、ダブルクリックします。)
変更画面が表示されます。



2. 「現在」欄の詳細アイコンをクリックし、現在のパスワードを入力します。
3. 「新」欄の詳細アイコンをクリックし、新しく設定するパスワードを入力してください。
4. 「確認」欄の詳細アイコンをクリックし、手順 3 で設定したパスワードを再度入力します。
新しいパスワードに誤りがない場合は、「正しいパスワードです。」と表示されます。
5. 設定完了後は、「OK」をクリックしてください。

3.7.4 データ検索権限

各ユーザーが検索できるチャンネルを設定します。

詳細アイコンをクリックすると、データ検索権限画面が表示されます。

	1	2	3	4
ADMIN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
test	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

OK キャンセル

データ検索権限の項目

項目	説明
① ユーザー	検索権限が設定できるユーザーのリストを表示します。
② チャンネル	検索権限が設定できるチャンネルのリストを表示します。
③ チェックボックス	各ユーザーは、チェックボックスの入っているチャンネルの記録映像を見るることができます。 ※ 「ADMIN」欄のチェックボックスを外すことはできません。

各ユーザー設定後、「OK」をクリックしてください。

3.7.5 遠隔監視権限

各ユーザーが遠隔監視で閲覧できるチャンネルを設定します。

詳細アイコンをクリックすると、遠隔監視権限画面が表示されます。

	1	2	3	4
ADMIN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
test	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

OK キャンセル

遠隔監視権限の項目

項目	説明
① ユーザー	遠隔監視権限が設定できるユーザーのリストを表示します。
② チャンネル	遠隔監視権限が設定できるチャンネルのリストを表示します。
③ チェックボックス	各ユーザーは、遠隔監視時にチェックボックスの入っているチャンネルを見るることができます。 ※「ADMIN」欄のチェックボックスを外すことはできません。

各ユーザー設定後、「OK」をクリックしてください。

3.7.6 遠隔再生時間制限

本機に遠隔接続できる時間に制限を設定します。

項目のプルダウンボタンをクリックし、自動タイムアウト時間を設定できます。

使用しない / 5分 / 10分 / 15分 / 30分 / 60分 の中から選択してください。

3.7.7 USB 認証読込

本機は、Web ブラウザにて遠隔監視を行う際に、セキュリティー強化のため HTTPS をサポートしています。

本機能を使用するには、SSL サーバー証明書が必要です。

SSL サーバー証明書の取得および登録方法に関しては、証明書ベンダーにお問い合わせください。

証明書のデータが入った USB メモリーを本機に接続した上で、 をクリックしてください。

3.7.8 HTTPS 使用

HTTPS 機能を有効/無効を設定します。

Web ブラウザにて遠隔監視を行う場合は、「ON」を選択してください。

「OFF」にすると無効となります。

<< 注意 >>

HTTPS 機能を使用する場合は、あらかじめ USB 認証読込が完了している必要があります。

詳しくは、「3.7.7 USB 認証読込(3-43 ページ)」をご覧ください。

3.8 ネットワーク

本機をネットワークに接続するための設定を行います。

ポート番号	5445	◀
ネットワークオーディオポート	5446	
WEBポート	80	443
ネットワークタイプ	DHCP	
IPアドレス	0.0.0.0	
サブネットマスク	0.0.0.0	
ゲートウェイ	0.0.0.0	
DNS (第1)	0.0.0.0	
DNS (第2)	0.0.0.0	
DDNS	OFF	◀
ネットワークストリーム	◀	

OK キャンセル

3.8.1 ポート番号

ルータ使用時のネットワークポート番号を入力します。

3.8.2 ネットワークオーディオポート

クライアントソフトなど、遠隔地から接続するときに音声を伝送するためのポート設定を行います。

この項目では、「ポート番号」で設定した数値に +1 した数値が設定値として自動的に設定されます。

3.8.3 WEB ポート

WEB クライアントや遠隔設定画面を表示するための WEB ブラウザ接続時に使用するポート番号を入力します。

3.8.4 ネットワークタイプ

接続するネットワークタイプを選択します。

項目のプルダウンボタンをクリックし、タイプを選択できます。

DHCP / 固定 から選択してください。

DHCP : ルータの DHCP (IP アドレス自動割当) 機能を使用する場合に選択します。

DHCP を選択した場合、IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/DNS は自動的に数値が入力されます。

※「固定」で IP アドレスなどを既に設定している場合は、設定値が変動します。

変更する場合は、ご注意ください。

固定 : 本機の IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/DNS を手動で設定する場合に選択します。

- **IP アドレス** : 本機の IP アドレスを入力します。
- **サブネットマスク** : 使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
- **ゲートウェイ** : 使用するネットワークのゲートウェイ (ルータの IP アドレス) を入力します。
- **DNS(第 1)** : 優先 DNS サーバーのアドレスを入力します。
- **DNS(第 2)** : 代替 DNS サーバーのアドレスを入力します。

3.8.5 DDNS

ネットワークを通じて DVR にアクセスする際、IP アドレスではなくドメイン名で接続したい場合は、DDNS サーバーに登録し、DDNS サービスを利用する必要があります。項目のプルダウンボタンをクリックし、使用するサーバーを選択できます。

OFF / サーバー1 ~ 3 の中から選択してください。

サーバーを選択した状態で詳細アイコンをクリックすると、サーバー設定画面が表示されます。

詳細は、「DDNS サーバーの設定(3-47 ページ)」をご覧ください。

※DDNS サービスのご利用について(免責事項)

DDNS サービスのご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用下さい。

- ・DDNS サービスのご利用はお客様の責任の下でご利用下さい。
- ・DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第三者に対して損害を与えた場合について弊社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

3.8.6 ネットワークストリーム

ネットワークを通して外部の PC へ伝送するデータのフレームレートや画質をチャンネルごとに設定します。詳細アイコンをクリックすると、ネットワークストリーム設定画面が表示されます。

	NET RESOLUTION	フレームレート	画質
ALL	640x360	15 FPS	最高画質
1	640x360	15 FPS	最高画質
2	640x360	15 FPS	最高画質
3	640x360	15 FPS	最高画質
4	640x360	15 FPS	最高画質

OK **キャンセル**

【 DDNS サーバーの設定 】

DDNS サーバーに登録したドメイン名で外部 PC からアクセスすることができます。

- 「bestddns.com」(弊社推奨サーバー)を利用する場合

「DDNS」欄を「サーバー3」に設定し、詳細アイコンをクリックすると、DDNS 設定画面が表示されます。

DDNSホストネーム	<input type="text" value="hostname"/>   オート
ホストドメインネーム	hostname.bestddns.com
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

サーバー3 の項目

項目	説明
DDNS ホストネーム	DVR にリモート接続する際のホスト名(アドレス)を決定します。 任意に入力することができますが、すでに存在するホスト名は登録する ことができません。 「オート」をクリックすると自動的に MAC アドレスが入力されます。
ホストドメインネーム	DVR にリモート接続する際のアドレスが表示されます。

- その他の DDNS サーバーを利用する場合

「DDNS」欄を「サーバー1」または「サーバー2」を設定し、詳細アイコンをクリックすると、DDNS 設定画面が表示されます。

DDNSサーバー名	<input type="text" value="user_id.dyndns.org"/>  
DDNS ID	<input type="text" value="user_id"/>  
DDNSパスワード	<input type="text" value="*****"/>  
DDNS更新周期	60 分  
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

サーバー2 の項目

項目	説明
DDNS サーバー名	利用する DDNS サーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID	DDNS サーバーの認証に用いる ID を入力します。
DDNS パスワード	DDNS サーバーの認証に用いるパスワードを入力します。
DDNS 更新周期	DDNS サーバーとの更新周期を設定します。 5 分 ~ 60 分 の中から選択してください。

3.9 設定管理

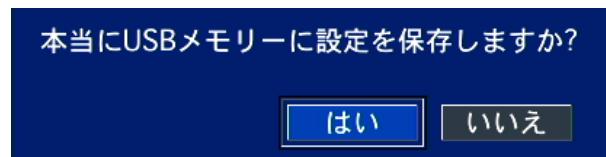
本機で設定した内容の消去や、工場出荷状態に戻す設定を行います。



3.9.1 USB へ設定保存

本機の現在の設定値を USB メモリーへ保存を行います。

USB メモリーを本機の USB 端子に接続し、詳細アイコンをクリックすると、確認画面が表示されます。



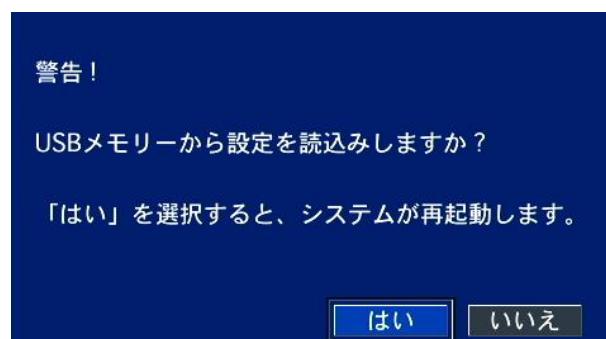
続行する場合は、「はい」をクリックしてください。

USB メモリー内に、「config」フォルダが作成され、本機の設定値が CFG 形式で保存されます。

3.9.2 USB から設定読込

USB メモリーに保存した設定値を本機に読み込みます。

USB メモリーを本機の USB 端子に接続し、詳細アイコンをクリックすると、確認画面が表示されます。



続行する場合は、「はい」をクリックしてください。

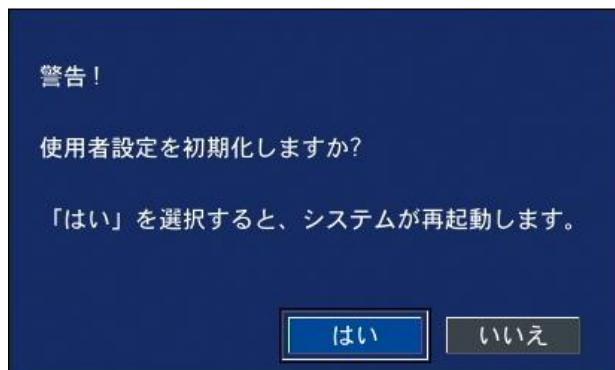
USB メモリー内の「config」フォルダに保存されている設定値を読み込み、本機の設定値を上書きします。

3.9.3 使用者設定を戻す

使用者設定を工場出荷時の状態に初期化を行います。

※ 非常時以外は、実行しないでください。

詳細アイコンをクリックすると、確認画面が表示されます。



続行する場合は、「はい」をクリックしてください。

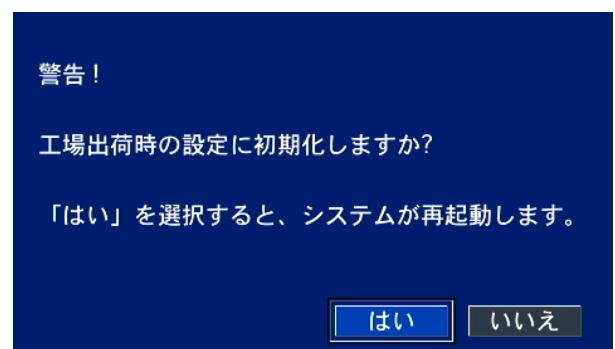
本機が再起動し、設定値が初期化されます。

3.9.4 工場出荷時に戻す

本機の全ての設定を工場出荷時の状態に初期化を行います。

※ 非常時以外では、実行しないでください。

詳細アイコンをクリックすると、確認画面が表示されます。



続行する場合は、「はい」をクリックしてください。

本機が再起動し、設定値が初期化されます。

初期化を行うと、「言語選択」→「日時設定」→「パスワード設定」の順に初回設定画面が表示されます。

※設定方法については、「1.7.1 初回起動時の各種設定について(1-8 ページ)」をご覧ください。

3.9.5 ソフトウェアアップグレード

USB メモリーを使用して、ファームウェアのアップグレードを行います。

【 アップグレード手順 】

以下の手順で、本機のファームアップグレードができます。

1. USB メモリーに「upgrade」という名前のファイルを作成し、そのフォルダの中に本機のソフトウェアファイル(.bin 形式)をコピーします。
2. USM メモリーを本機の USB 端子に接続し、「ソフトウェアアップグレード」欄の詳細アイコンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



3. 「スキャン」をクリックすると、本機に接続している USB メモリーや、その中の bin ファイルの情報を読み込みます。
読み込み成功した bin ファイルのファイル名が正しいことを確認してから「アップグレード」をクリックします。
4. 「アップグレード成功」というメッセージ表示後、本機から USB メモリーを取り外します。
5. アップグレード完了後は、本機を再起動する必要があります。
アップグレードした内容が適用されるのは、本機を一度再起動してからとなります。

4章 検索と再生

HDD に記録した映像を検索し、再生を行います。

4.1 検索画面に入るには

以下のいずれかの手順で検索画面を開くことができます。

- ライブ画面のタスクバーのサーチアイコン  をクリックします。
- ライブ画面上で右クリックし、表示されるポップアップメニューから「検索」をクリックします。

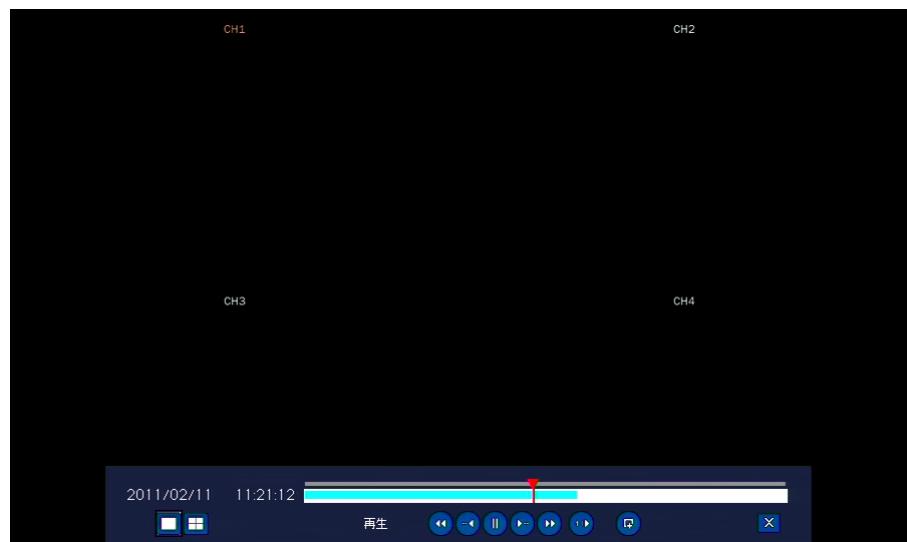


※ログイン画面が表示され、パスワードを入力すると検索画面が表示されます。

ログインについては、「3.1 設定メニューの概要(3-1 ページ)」をご覧ください。

4.2 再生時の操作

各検索モードで再生したいデータを選択し、再生を開始すると、再生画面が表示されます。



再生画面のコントロールパネルの項目



番号

説明

①	録画日時	録画された日付と時刻を表示します。						
②	タイムバー	再生中の日付の 24 時間をバーで表示します。 録画データがある時間帯は、水色のラインで表示されます。 赤いスライドノブは、現在再生中の時点を示します。 マウスでスライドノブをドラッグ & ドロップすると、再生時点が変更できます。						
③	画面分割	再生画面の表示方法を選択します。 ※ 本体またはリモコンの「SEL」に対応しています。						
④	再生状態	現在の再生モードを表示します。 正/逆方向、再生速度などの情報が表示されます。 映像を再生および一時停止します。						
⑤		 一時停止  再生 ※ 本体またはリモコンも同じアイコンのボタンに対応しています。  現在再生中の時刻より 1 分前/1 分後 の映像にジャンプして再生します。 ※ 本体またはリモコンも同じアイコンのボタンに対応しています。  早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が下記のように変わります。 <table border="1" data-bbox="430 1298 1330 1446"> <thead> <tr> <th></th> <th>再生速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 画面</td> <td>x2→x4→x8→x16→x32→x64→x2→x4→…</td> </tr> <tr> <td>4 画面</td> <td>x2→x4→x8→x16→x32→x2→x4→…</td> </tr> </tbody> </table> ※ 本体またはリモコンも同じアイコンのボタンに対応しています。  正方向にスロー再生します。クリックするごとに再生速度が 1/4→1/2→1/4…に 切替えます。  再生中の映像のバックアップをとります。 動画または静止画(スナップショット)を選択できます。 ※ 本体の「CAPTURE」またはリモコンの「BACKUP」に対応しています。  再生を中止して検索メニューに戻ります。 ※ 本体またはリモコンの「ESC」に対応しています。		再生速度	1 画面	x2→x4→x8→x16→x32→x64→x2→x4→…	4 画面	x2→x4→x8→x16→x32→x2→x4→…
	再生速度							
1 画面	x2→x4→x8→x16→x32→x64→x2→x4→…							
4 画面	x2→x4→x8→x16→x32→x2→x4→…							

※デジタルズーム : ライブ画面同様にデジタルズームを行うことができます。

詳細は、「[2.3 デジタルズーム\(2-6 ページ\)](#)」をご覧ください。

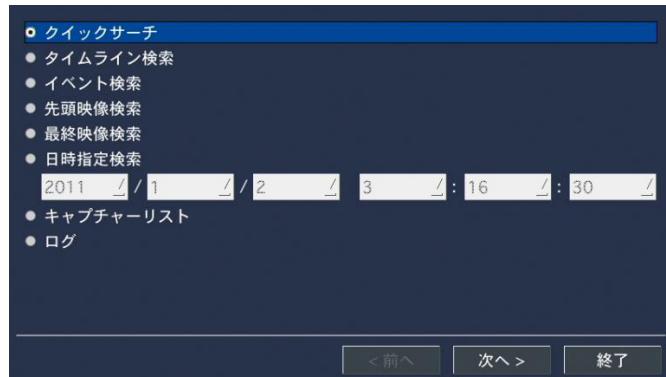
※音声を再生する場合 : 音声を再生したい CH をクリックしてアクティブ状態(カメラタイトルが黄色表示)にするか、その CH の 1 画面表示にしてください。

4.3 クイックサーチ

録画データを4段階に分けて検索し、必要な映像を容易に見つけることができます。

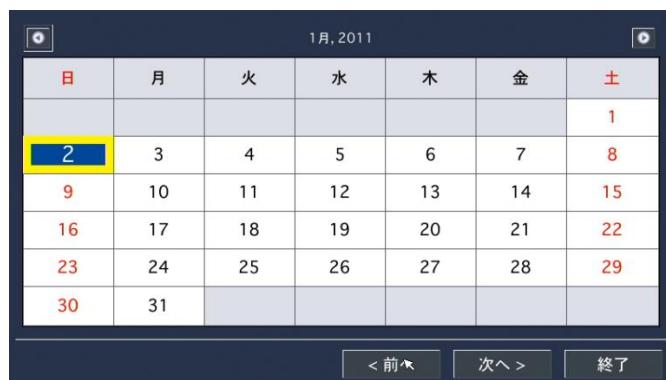
以下の手順でクイックサーチを行うことができます。

1. 検索メニューで「クイックサーチ」を選択し、「次へ」をクリックします。



2. カレンダー上では、録画データのある日付は青色で、選択中の日付は黄色で表示されます。

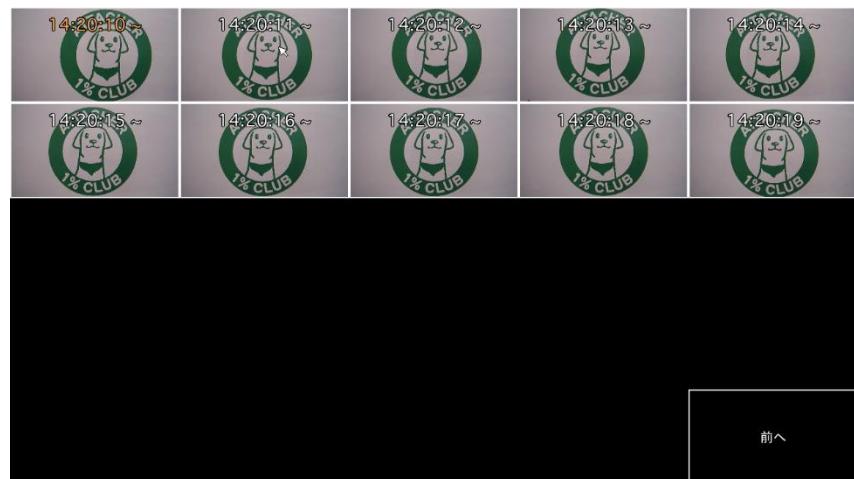
再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。



3. 検索するチャンネルを選択し、「再生」をクリックします。



4. 再生を開始する時間帯(サムネイル)を選択しダブルクリックします。
ダブルクリックするごとに、サムネイルの時間間隔が短縮していき、任意の開始時間を選択しやすくなります。
サムネイルの時間間隔は、クリックするごとに 1 時間 → 2 分 30 秒 → 10 秒 → 1 秒 となります。



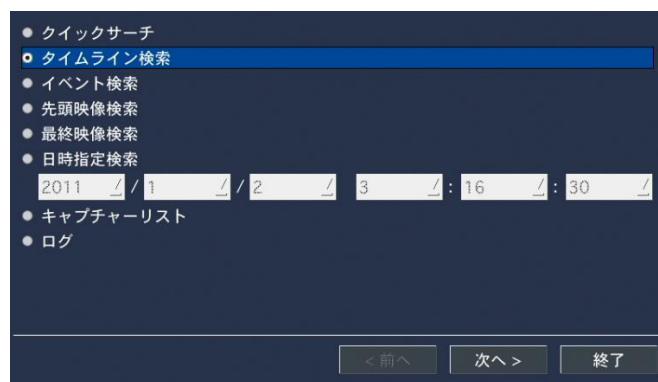
1 秒間隔で表示されている画面で、サムネイルをダブルクリックすると、映像が再生されます。
※画面右下で「前へ」と表示されているパネルをダブルクリックすると、1 つ前の時間間隔に戻ります。

4.4 タイムライン検索

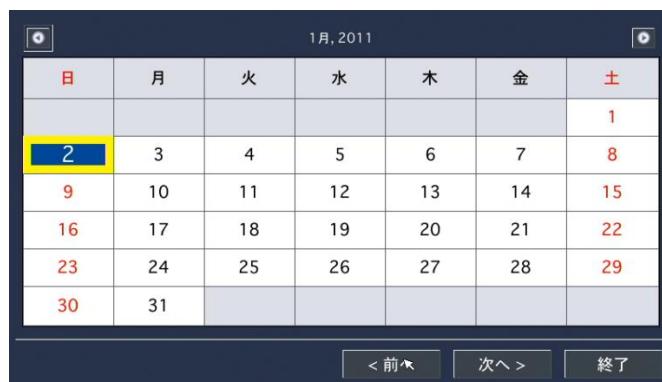
録画データをタイムラインで検索することができます。

以下の手順でタイムライン検索が行えます。

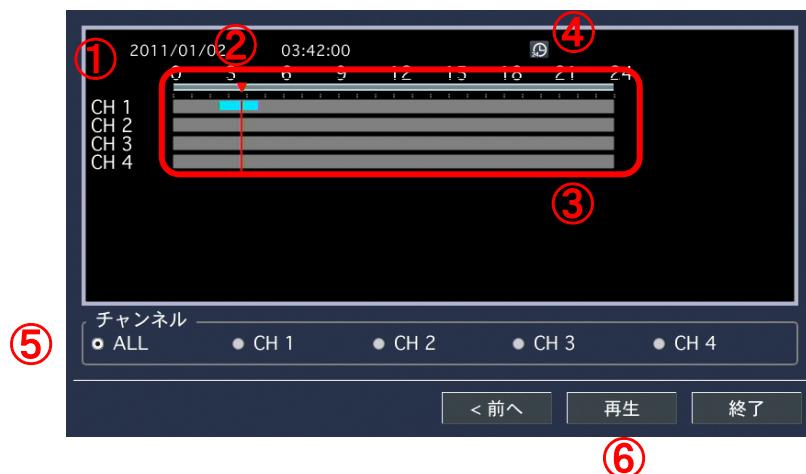
1. 検索メニューで「タイムライン検索」を選択し、「次へ」を選択するとカレンダーが表示されます。



2. カレンダー上では、録画データのある日付は青色で、選択中の日付は黄色の枠で表示されます。
再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」を選択します。



3. タイムライン検索画面で再生したい時刻やチャンネルを設定し、「再生」をクリックすると、再生を開始します。



タイムライン検索画面の項目

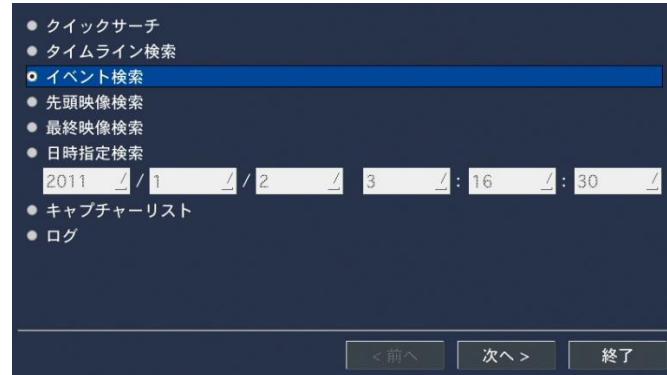
番号	説明
① 録画日時	録画された日付と時刻を表示します。
② タイムスケール	スケールの上の赤いバーをドラッグ & ドロップすることで、再生を始めたい時点を選択します。 本体またはリモコンの場合は「◀▶」でバーを移動させます。
③ タイムライン	各チャンネルの録画データをタイムラインで表示します。 録画データのある時間帯は水色で表示されます。 録画データに音声が含まれている時間帯は藍色で表示されます。
④	タイムスケールの目盛りの単位を変更します。 選択ごとにタイムスケールの表示単位が 24 時間 ⇄ 60 分に 切換ります。
⑤	タイムスケールの表示単位が 60 分の時、選択ごとに現在表示中の 時間より 1 時間前/1 時間後の時間帯を表示します。 タイムスケールの表示単位が 24 時間の時は、表示されません。
⑥	再生したいチャンネルを選択します。 「ALL」にチェックを入れて「再生」をクリックすると、全てのチャンネルが 分割画面で再生されます。
⑥	チャンネルを選択後、再生をクリックすると、映像が再生されます。 「終了」をクリックすると、検索を中止し、ライブ画面に戻ります。

4.5 イベント検索

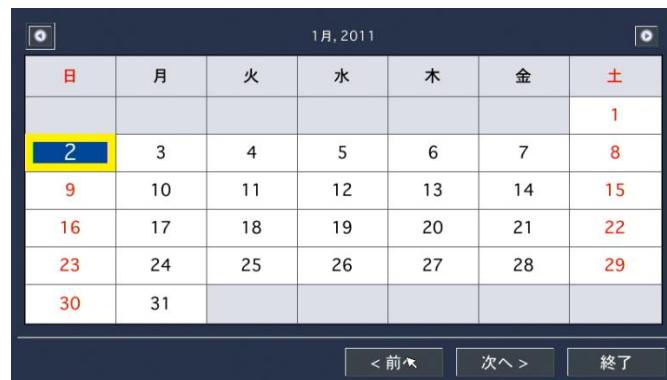
イベント(録画モード)の種類で録画データを検索することができます。

以下の手順でイベント検索が行えます。

1. 検索メニューで「イベント検索」を選択し、「次へ」を選択するとカレンダーが表示されます。



2. カレンダー上で、録画データのある日付は青色で、選択中の日付は黄色の枠で表示されます。再生したいデータがある日付を選択し「次へ」を選択します。



3. イベント検索画面でチャンネルやイベントを指定すると表示されるログから、再生したい録画データを選び、「再生」を選択すると再生が始まります。

① チャンネル CH1ICH2ICH3ICH4

② イベント検索 モーション録画|センサー録画|手動録画|常時録画

③ 1 / 1

チャンネル	ログ	日付
CH1	常時録画	2011/01/02 02:31:19
CH1	常時録画	2011/01/02 02:33:22
CH1	常時録画	2011/01/02 03:00:01
CH1	常時録画	2011/01/02 04:00:01
CH1	常時録画	2011/01/02 05:00:01

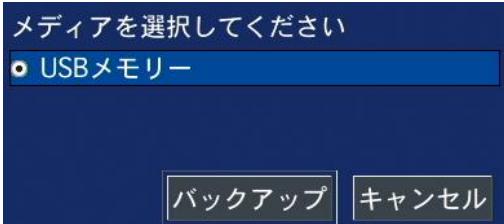
5個のログが見つかりました

④ バックアップ

⑤ <前へ 再生 終了

イベント検索画面の項目

番号	説明
① 検索条件	<p>検索するチャンネルとイベントタイプ(録画モード)を表示します。</p> <p>① を選択すると検索条件画面が表示されるので、検索したいチャンネルやイベントタイプにチェックを入れることで検索条件の指定ができます。</p>
② ログ	<p>指定後は、「OK」をクリックします。</p> <p>検索したいチャンネルやイベントタイプは、複数選択することができます。</p>
③ ページ	<p>指定した条件で検索されたログをリストで表示します。</p> <p>「チャンネル」、「ログ」、「日付」をそれぞれクリックすると、検索結果リストを降順または昇順に並び替えることができます。</p> <p>表示されたログリストのページを数字で表示します。</p> <p>ページが複数の場合、< > をクリックすると前/次のページを表示することができます。</p>

番号	説明
	<p>検索されたログを、txt 形式のファイルで USB メモリーに保存します。</p> <p>USB 端子に USB メモリーを接続し、このボタンをクリックすると、保存画面が表示されます。</p>
④ バックアップ	 <p>メディアを選択してください</p> <p>USBメモリー</p> <p>バックアップ キャンセル</p>
再生	<p>イベントログの 1 項目を選択して「再生」をクリックすると、その時刻の映像が再生されます。</p>

4.6 その他の検索方法

【先頭映像検索】



検索メニューで、「先頭映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDD に保存されているデータのうち最も古い録画データを再生します。

【最終映像検索】



検索メニューで、「最終映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDD に保存されているデータのうち最も新しい 1 分間の録画データを再生します。

【日時指定検索】



検索メニューで、「日時指定検索」を選択し、検索したい録画データを年/月/日/時/分/秒で指定します。指定後、「再生」をクリックすると、指定された日時からの録画データを再生します。

4.7 キャプチャーリストの検索

ライブや記録再生画面から静止画やバックアップを取得した際の、日時を検索します。

キャプチャーリストでは、取得した静止画やバックアップと同一のデータを確認することができます。

【 キャプチャーリストの検索手順 】

以下の手順で、キャプチャーリストから検索できます。

1. 検索メニューで、「キャプチャーリスト」を選択し、「次へ」をクリックします。

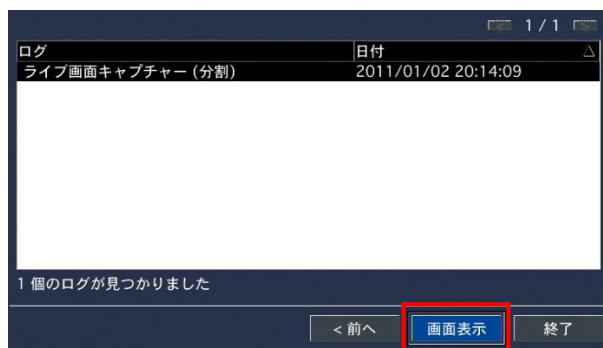


2. カレンダー上では、キャプチャーデータのある日付は青色で、選択中の日付は黄色で表示されます。検索したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。



3. 選択した日付のログリストが表示されます。

リストから画像を見たいログを選択し、「画面表示」をクリックします。



4. キャプチャー画面の確認やバックアップが行えます。



キャプチャー画像画面の項目

番号	説明
① キャプチャー画像	キャプチャーしたデータの静止画を表示します。 バックアップデータの場合、バックアップ開始時の静止画を表示します。
② ページ	表示されたキャプチャーデータの番号を数字で表示します。
③ キャプチャー情報	キャプチャーチャンネル、バックアップ動画の長さ、録画データの日時 保存メディアなどの情報を確認できます。
④ バックアップ	表示されているキャプチャーデータをさらにバックアップすることができます。USB 端子に USB メモリーを接続し、これを選択するとキャプチャーデータが USB メモリーに保存されます。 このとき動画のキャプチャーデータは動画で、静止画のキャプチャーデータは静止画で保存されます。

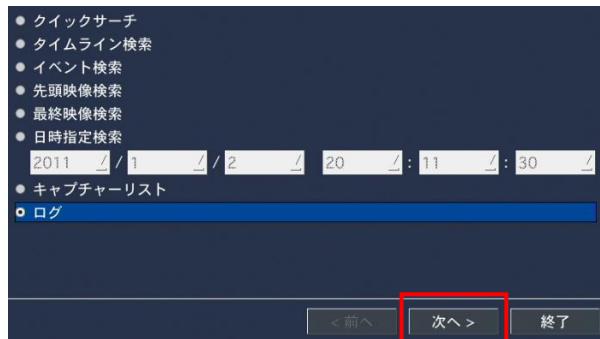
4.8 ログの検索

本機のシステム動作・操作記録が閲覧できます。

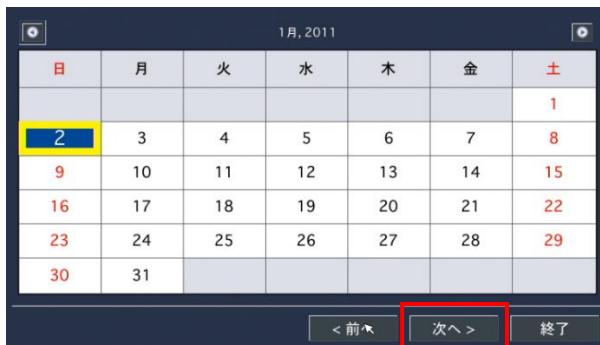
【 ログの検索手順 】

以下の手順で、本機の動作・操作ログを検索できます。

1. 検索メニューで、「ログ」を選択し、「次へ」をクリックします。



2. カレンダー上では、ログデータのある日付は青色で、選択中の日付は黄色で表示されます。
検索したいログデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。



3. 選択した日のシステムログがリストで表示されます。
USB 端子に USB メモリーを接続し、「バックアップ」をクリックすると、リストを txt 形式のファイルで USB メモリーに保存することができます。

ログ	日付
System Start : [27] HDD Format	2011/01/02 02:22:21
Video Loss : CH1	2011/01/02 02:22:21
Video Loss : CH2	2011/01/02 02:22:21
Video Loss : CH3	2011/01/02 02:22:21
Video Loss : CH4	2011/01/02 02:22:21
Setup : Enter	2011/01/02 02:22:50
Setup : Exit	2011/01/02 02:23:24
Setup : Enter	2011/01/02 02:23:36
Video In : CH1	2011/01/02 02:31:19
Setup : Exit	2011/01/02 02:31:33

18 個のログが見つかりました

バックアップ

<前へ 次へ> 終了

5章 バックアップ

ライブ画面のスナップショットの保存や、検索した動画のバックアップを行います。

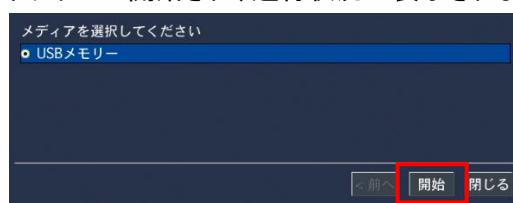
バックアップした動画は、同梱のバックアッププレイヤーで再生ができます。

5.1 静止画(スナップショット)の保存

ライブ画面の静止画(スナップショット)を USB メモリーに保存します。

以下の手順で、スナップショットを保存できます。

1. 本機に USB メモリーを接続します。
2. ライブ画面にて、以下のいずれかの方法で静止画保存画面を表示します。
 - リモコンの「BACK UP」を押します。
 - ライブ画面下のタスクバーより、バックアップアイコン  をクリックします。
 - 画面上で右クリックし、ポップアップメニューから「バックアップ」をクリックします。
3. 「開始」をクリックすると、バックアップが開始され、進行状況が表示されます。



4. 「完了」と表示されたら、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業は終了です。



5. バックアップした静止画は、USB メモリ一直下に保存した日付のフォルダが作成され、その中に保存されます。



5.2 再生映像のバックアップ

記録映像再生中に、静止画または動画でのバックアップを行います。

【 静止画のバックアップ手順 】

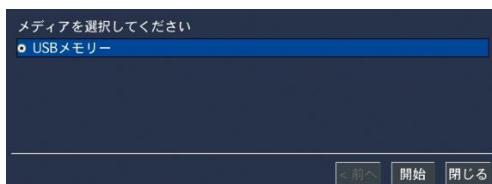
以下の手順で、記録映像再生時に静止画をバックアップします。

記録映像の再生方法については、「4章 検索と再生(4-1 ページ)」をご覧ください。

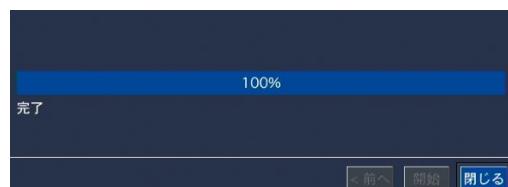
1. 本機にUSBメモリーを接続します。
2. 記録映像再生画面にて、以下のいずれかの方法で保存形式選択画面を表示します。
 - リモコンの「BACK UP」を押します。
 - 再生画面のコントロールパネルより、バックアップアイコン  をクリックします。
- ※保存形式選択画面が表示された時点で、再生映像は一時停止します。
3. 保存する形式の選択肢から「静止画」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



4. 「次へ」をクリックすると、バックアップが開始され、進行状況が表示されます。



5. 「完了」と表示されたら、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業は終了です。



6. バックアップした静止画は、USBメモリ直下に保存した日付ファイルが作成され、その中に保存されます。



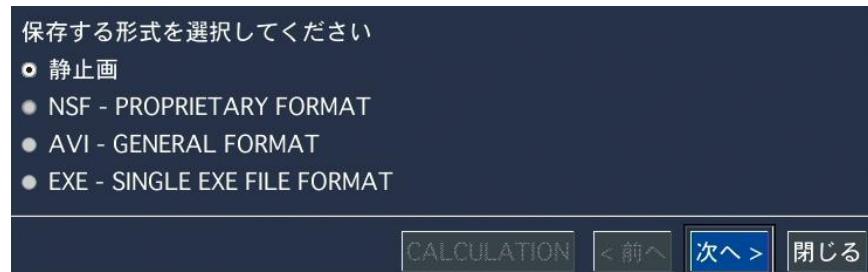
【 動画のバックアップ 】

以下の手順で、記録映像再生時に動画をバックアップします。

記録映像の再生方法については、「4 章 [検索と再生\(4-1 ページ\)](#)」をご覧ください。

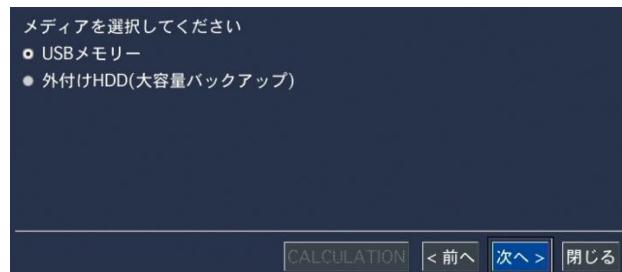
1. 本機に USB メモリーを接続します。
2. 記録映像再生画面にて、以下のいずれかの方法で保存形式選択画面を表示します。
 - リモコンの「BACK UP」を押します。
 - 再生画面のコントロールパネルより、バックアップアイコン  をクリックします。

※保存形式選択画面が表示された時点で、再生映像は一時停止します。
3. 保存する形式の選択肢の中で、静止画 / NSF / AVI / EXE のいずれかにチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



- 静止画 … 現在の録画映像をスナップショットとして保存します。
- NSF … DVR 独自のフォーマットです。※推奨のフォーマットです。
バックアップ時にダウンロードされる専用プレイヤーにて映像を再生できます。
4 つの CH を同時に再生することができます。
- AVI … 汎用フォーマットです。Windows Media Player などで映像の再生ができます。
- EXE … 独自のフォーマットです。
バックアップ後、アプリケーションとして再生できます。

4. 保存する記録媒体を選択し、「次へ」をクリックします。

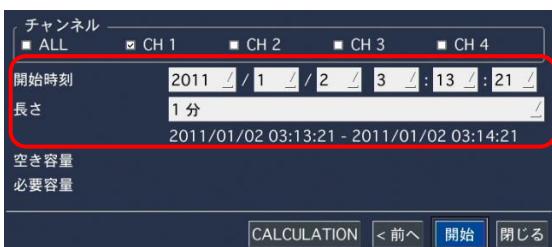


- ※NSF 形式の場合、外付け HDD に大容量バックアップを行うことができます。
※AVI ・ EXE 形式の場合、USB メモリー以外の選択肢はありません。

5. 「チャンネル」欄で、バックアップを行うカメラチャンネルにチェックを入れます。
「ALL」にチェックを入れると、すべてのチャンネルをバックアップします。



6. 「開始時刻」欄で、バックアップを開始する日時を設定します。
「長さ」欄で、開始時刻から何分間の映像をバックアップするかを設定します。



※ファイル形式や保存メディア先によって「長さ」欄で選択できる数値が異なります。
※「CALCULATION」をクリックすると、バックアップする映像データのサイズ(必要容量)と
記録用媒体の空き容量(空き容量)が表示されます。
※空き容量が足りない場合、必要容量の数値が赤色で表示されます。

7. 「開始」をクリックすると、バックアップを開始し、進行状況が表示されます。
「完了」というメッセージの表示後、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業は終了です。



【 キャプチャーリストからのバックアップ 】
ライブ画面や再生画面からバックアップした静止画や動画の履歴は、「検索」メニューの
「キャプチャーリスト」に保存されます。
もう一度バックアップしたいときは、「キャプチャーリスト」から検索するとスムーズです。
詳細は、「4.7 キャプチャーリストの検索(4-11 ページ)」をご覧ください。

※大容量バックアップの場合は、キャプチャーリストには履歴が残りません。

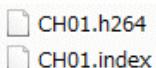
5.3 バックアップした動画の再生

動画データを USB メモリーにバックアップすると、以下のようなフォルダが生成されます。

【 NSF ファイル形式 】

例として、バックアップした映像の開始日時が 2016 年 1 月 23 日 12 時 34 分 56 秒の場合、

- フォルダ「 20160123 」の中に、フォルダ「 123456 」(大容量バックアップ時は「 1234 」) があり、その中に CH ごとの h264 ファイルが生成されます。



- フォルダ「 DvrPlayer 」の中に、専用プレイヤー「 HDPlayer 」が生成されます。



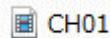
« 注意 »

NSF 形式は弊社独自の動画ファイルであるため、汎用の動画再生ソフトウェアでは再生できません。専用プレイヤー「HDPlayer」で再生してください。

【 AVI ファイル形式 】

例として、バックアップした映像の開始日時が 2016 年 1 月 23 日 12 時 34 分 56 秒の場合、

- フォルダ「 20160123 」の中に、フォルダ「 123456 」があり、その中に CH ごとの AVI ファイルが生成されます。



« 注意 »

H.265 にて録画を行ったバックアップデータを再生するには、VLC media player をお使いください。Windows Media Player では再生できない場合があります。

【 EXE ファイル形式 】

例として、バックアップした映像の開始日時が 2016 年 1 月 23 日 12 時 34 分 56 秒の場合、

- フォルダ「 20160123_123456 」の中に、アプリケーション「 20160123_123456.exe 」が生成されます。

※ダブルクリックすると、「HDPlayer」が起動し、映像が再生されます。

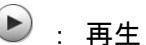
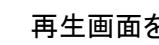
【 HDPlayer の構成 】

NSF 形式のファイルは、専用プレイヤー「HDPlayer」で再生できます。



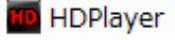
HDPlayer の画面項目

番号	説明
①	画面表示部 バックアップ映像が表示されます。 この部分をマウスで操作すると、画像のキャプチャーやデジタルズームなどができます。 詳細は【 HD Player での再生画面のキャプチャ 】および【 HD Player で再生画面のデジタルズーム 】を参照してください。
②	フルスクリーン表示をします。 フルスクリーン状態を解除するには、PC の「ESC」キーを押してください。
③	ウインドウを最小化します。
	ウインドウを最大化します。
	HD Player を終了します。
④	動画の再生時点をスライドノブで表示します。
⑤	スライドノブをドラッグ&ドロップすることで、再生時点を移動することができます。

④	録画時刻	現在再生中の映像の録画された日付や時刻が表示されます。
⑤	録画 チャンネル	現在再生中の映像のチャンネル番号が表示されます。
		再生/一時停止。
		 : 一時停止  : 再生
⑥		早戻し/早送り。  クリックするごとに再生速度が2倍速→4倍速→8倍速→2倍速…に変化します。
		 現在再生中の時点より3秒前/先の映像にジャンプして再生します。
⑦	 9  16	再生画面を分割画面で表示します。
		音声記録のある動画ファイルを再生します。
		再生したい動画のあるフォルダを選択します。
⑧		設定画面を表示します。
		キャプチャー画像の保存フォルダ指定や、バージョン情報の確認などができます。
		現在再生中の画像をプリンタで印刷します。

【 NSF 形式ファイルの再生手順 】

以下の手順で、HDPlayer を起動し、映像を再生できます。

1. 「HDPlayer.exe」をダブルクリックし、HDPlayer を起動します。 

2. 上記の HDPlayer 画面⑧の  をクリックし、再生する NSF 形式ファイルを選択します。



3. 「OK」をクリックすると、映像が再生されます。



【 HD Player で再生画面のキャプチャー 】

HD Player で再生中の動画の画像を、静止画で保存することができます。

画面表示部を右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

ポップアップメニューの「Capture」を選択すると、表示中の画像が指定したフォルダに JPEG で保存されます。

キャプチャー画像の保存先は、ポップアップメニューの「About」を選択すると表示される Setup メニューで指定します。

【 HD Player で再生画面のデジタルズーム 】

HD Player で再生中の動画の画像を、デジタルズームアップすることができます。

画面表示部にカーソル置いて、マウスのホイールを上へスクロールすると画像がズームイン、下へスクロールすると画像がズームアウトされます。

このとき、画面表示部の左下に全体画面が表示されます。

全体画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示中の領域を示します。

画面をドラッグ&ドロップすることで、ズーム表示領域の位置を移動させることができます。



6章 PTZ コントロール

PTZ 対応カメラを接続して、本機でカメラの PTZ コントロールを行います。

6.1 PTZ コントロールを行う前に

【 PTZ カメラの接続と設定 】

RS-485 対応の PTZ カメラを本機後面の RS-485 ポートに接続します。

本機への接続箇所については、「1.6 コントローラー・PTZ カメラ接続(1-7 ページ)」をご覧ください。

本機の設定画面を開き、「デバイス」内の「PTZ」項目で PTZ の設定を行います。

詳しくは、「3.4.2 コントローラー & PTZ(3-18 ページ)」をご覧ください。

【 PTZ コントロール画面に入るには 】

以下のいずれかの方法で PTZ コントロール画面を開きます。

- リモコンの「PTZ」ボタンを押します。
- ライブ画面のタスクバーより PTZ アイコン  をクリックします。
- ライブ画面上で右クリックし、表示されパスワードを入力すると PTZ コントロール画面が表示されます。

パスワード入力画面が表示され、パスワードを入力すると PTZ コントロール画面が表示されます。



6.2 PTZ コントロールパネル

PTZ コントローラーパネルの項目

ボタン	説明						
初期化	選択したカメラの PTZ 設定を初期化します。						
パン/チルト	<p>パン/チルト を選択し、 右図のコントロールボタンをクリックすることで 移動したい方向へ移動します。</p>						
ズーム/ フォーカス	<p>ズーム/フォーカス を選択し、  でズームアップ / ズームアウトを、 でフォーカス NEAR / FAR を調整します。</p>						
OSD 表示	<p>カメラの OSD を画面に表示し、本機でカメラのメニューを設定することができます。 カメラ OSD モードの操作には、下記のボタンを使用します。</p> <table border="1" data-bbox="536 961 1256 1170"> <tr> <td></td><td>メニューの移動/設定値の変更</td></tr> <tr> <td></td><td>下位メニューに入る/項目を選択する</td></tr> <tr> <td></td><td>前画面に戻る/メニューを終了する</td></tr> </table>		メニューの移動/設定値の変更		下位メニューに入る/項目を選択する		前画面に戻る/メニューを終了する
	メニューの移動/設定値の変更						
	下位メニューに入る/項目を選択する						
	前画面に戻る/メニューを終了する						
オートスキャン	<p>操作の前に、カメラ OSD からオートスキャン動作を設定してください。</p> <p>オートスキャン を選択し、数字ボタンでカメラ OSD から設定したオートスキャン番号を入力し、開始 を選択すると、オートスキャン動作が始まります。</p> <p>停止 を選択するとオートスキャンを中止します。</p>						
プリセット	<p>パン/チルト動作で、表示したい場所にカメラを位置させ、プリセット</p> <p>を選択し、数字ボタンを選択して 設定の保存 を選択すると、その時点のカメラ位置が保存されます。</p> <p>カメラ位置は 0~99 番まで保存できます。</p> <p>数字ボタンを選択して 移動 をクリックすると、その番号に保存されたカメラ位置へカメラが移動します。</p>						
ツアー	<p>操作の前に、カメラ OSD からツアーグループを設定してください。</p> <p>ツアー を選択し、数字ボタンでカメラ OSD から設定したツアーグループの番号を入力し 開始 を選択すると、ツアーアクション動作が始まります。</p> <p>停止 を選択するとツアーアクション動作が中止されます。</p>						
数字ボタン	<p>オートスキャン、プリセット、ツアーメニューで使用します。</p> <p>3 番以上の数字は、... を選択して表示される入力表から入力できます。</p>						

6.3 AHD カメラのオン・スクリーン・ディスプレイ(OSD)設定

PTZ 操作画面にて、AHD カメラの OSD 設定を表示させることができます。

OSD 設定より、AHD カメラ本体の設定を変更することができます。

※ UTC 対応の AHD カメラのみ有効となります。

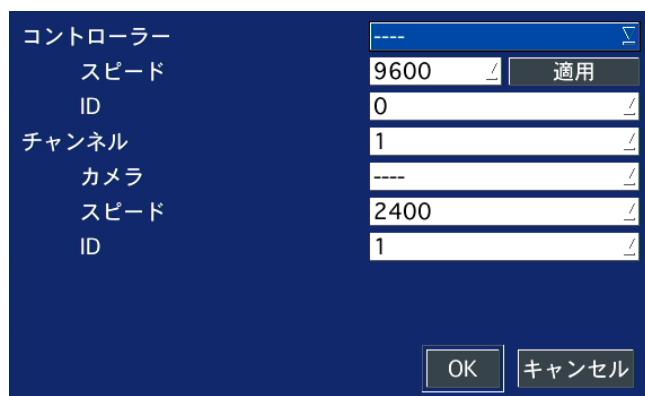
また、ワンケーブルカメラなど、カメラとレコーダーが直接接続されていない場合は、本機能を使用することはできません。

6.3.1 プロトコル設定手順

本機能を使用する場合、あらかじめ AHD カメラのプロトコルを設定する必要があります。

以下の手段で、カメラのプロトコルを設定します。

- ① ライブ画面のステータスバー > 設定 > デバイス > コントローラー&PTZ の順に進み、設定画面を開きます。



- ② 「チャンネル」欄を接続中のカメラチャンネルに変更します。



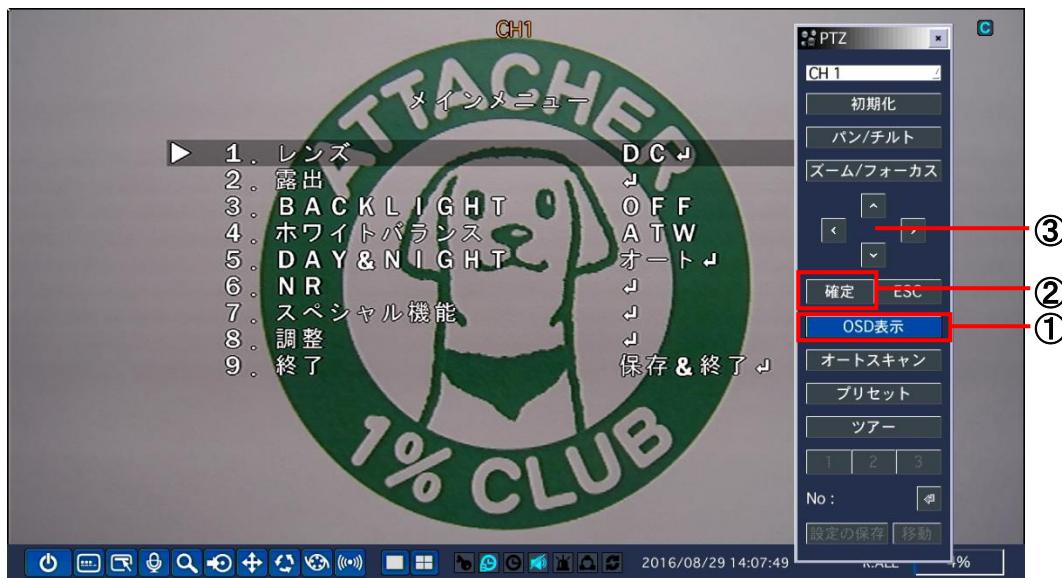
- ③ 「カメラ」欄を「PELCO C-PROTOCOL」に変更します。



- ④ 変更内容を保存して、完了です。

6.3.2 OSD 操作方法

本機から AHD カメラの OSD 操作を行う場合、ボタン対応は以下のようになっています。



- ① OSD メニューを表示させる 場合は、
PTZ コントローラーパネルの「OSD 表示」をクリックします。
- ② OSD の設定値を決定する 場合は、
PTZ コントローラーパネルの「確定」をクリックします。
- ③ OSD 上でカーソルの移動 する場合は、



7章 遠隔監視

付属のクライアントソフトを使用することで、本機のライブ映像や録画映像を PC から閲覧できます。

注意： 帯域幅が大きい場合は、1 台の本機に同時に接続できる PC の台数は 4 台までです。

帯域幅が小さい場合は、1 台の本機に接続する PC の台数は 1 台にすることを推奨します。

注意： ルータを通じてインターネットに接続している場合、ルータからのポートの開放(Port Forwarding)が必要です。

本機のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、UMS クライアントからのバックアップ機能を使用したい場合は、基本ポート+1 のポートをオープンしてください。

尚、UMS クライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、基本ポート+10 のポートと、Web ポートをオープンにしてください。

設定例)

本機のネットワークメニューに入力したポート番号が 5445 の場合、ルータから 5445/5446/5455 の 3 つのポート、および Web ポートの 80 をオープンして使用します。

【 クライアント PC の推奨スペック 】

動作確認済み OS : Windows 8 / 8.1 / 10

CPU : Intel Core i5 2GHz 以上

メモリー : 4GB 以上

VGA メモリー : 512MB 以上

解像度 : 1920 x 1080

ストレージ空き容量 : 1GB 以上

ネットワーク : 100BASE-T 以上

グラフィックカード : DirectX 10 以上

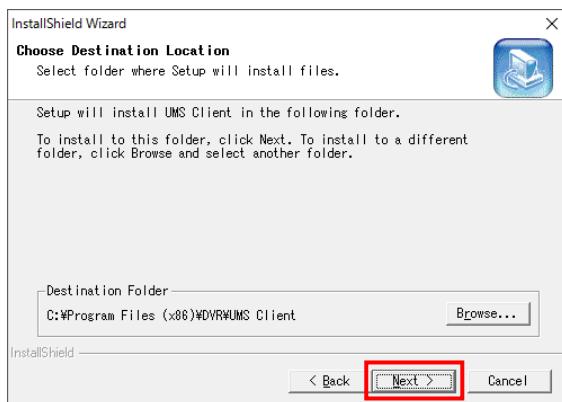
7.1 クライアントソフトのインストール

同梱の CD-ROM には、本機 1 台の遠隔監視を行うソフト「UMS Client」および、数台の遠隔監視を行うソフト「UMSM Client」がパッケージされています。

【 インストール手順 】

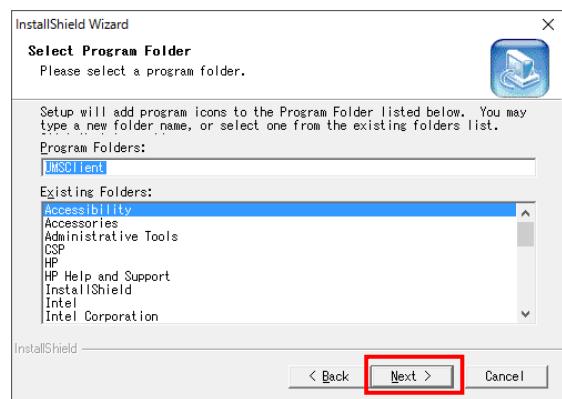
以下の手順で、クライアントソフトをインストールできます。

1. 付属の CD-ROM を OC にセットして、「UMSClient_3.*.*_yymmdd.exe」をダブルクリックすると、インストーラが起動します。
2. 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダを確認して「Next」をクリックします。



インストール先のフォルダを変更する場合は、「Browse」をクリックしてフォルダを選択してください。

3. 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダを確認し、「Next」をクリックします。プログラムフォルダを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。



4. インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。



5. インストール完了後、保存先に「UMS Client」のショートカットアイコン

アイコンをダブルクリックすると、クライアントソフトが起動します。



7.2 言語設定の変更

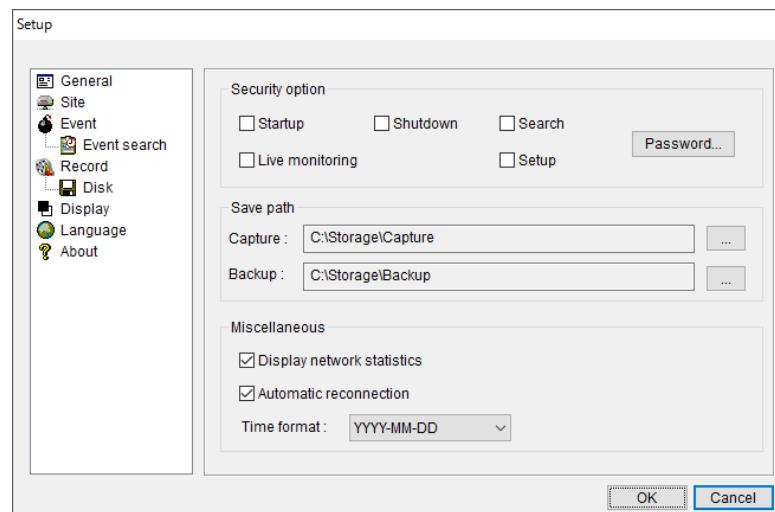
UMS クライアントの初回起動時、言語設定は英語表記になっています。

以下の手順で、言語設定の変更ができます。



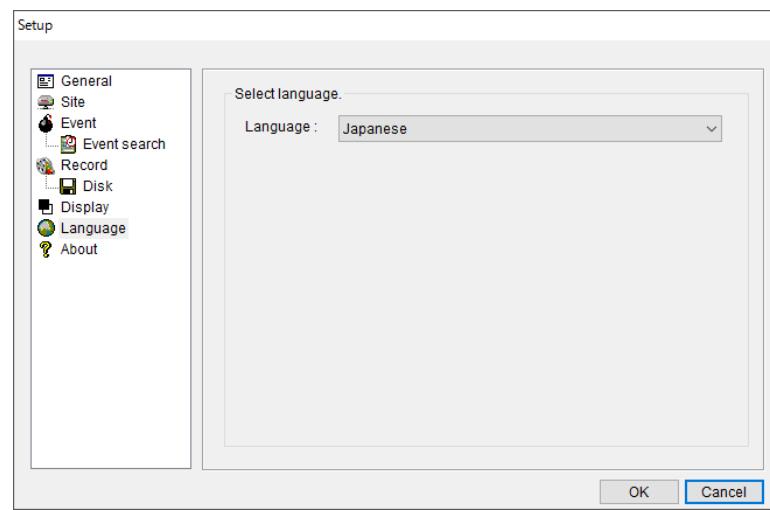
1. UMS クライアントの画面右下より、「セットアップ」アイコン をクリックします。

設定画面が表示されます。



2. 画面左側の「Language」をクリックし、言語を「Japanese」に設定します。

設定後は、「OK」をクリックします。



3. 設定を反映するためには、ソフトを再起動する必要があります。

次回起動から、言語が日本語に適用されます。

7.3 接続方法

UMS クライアントに本機(EHVR-804C)の接続先情報を登録します。

あらかじめ本機のネットワーク設定を行う必要があります。

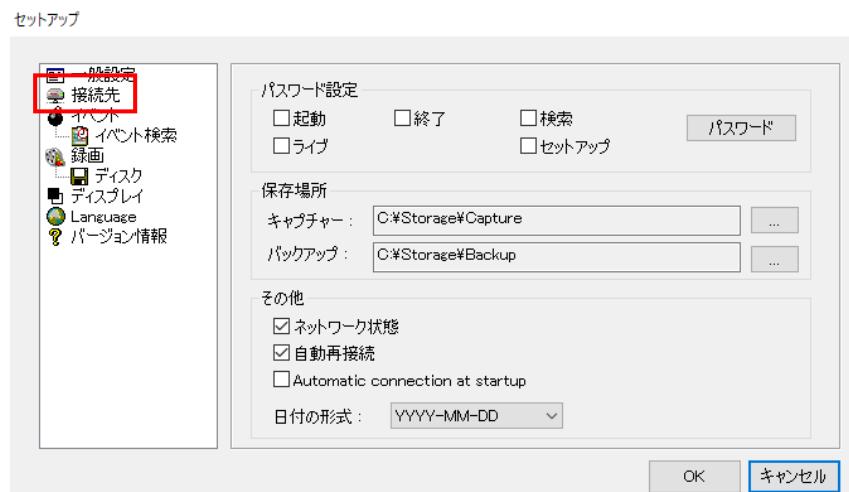
詳しくは、「3.8 ネットワーク(3-44 ページ)」をご覧ください。

以下の手順で、本機の情報登録ができます。

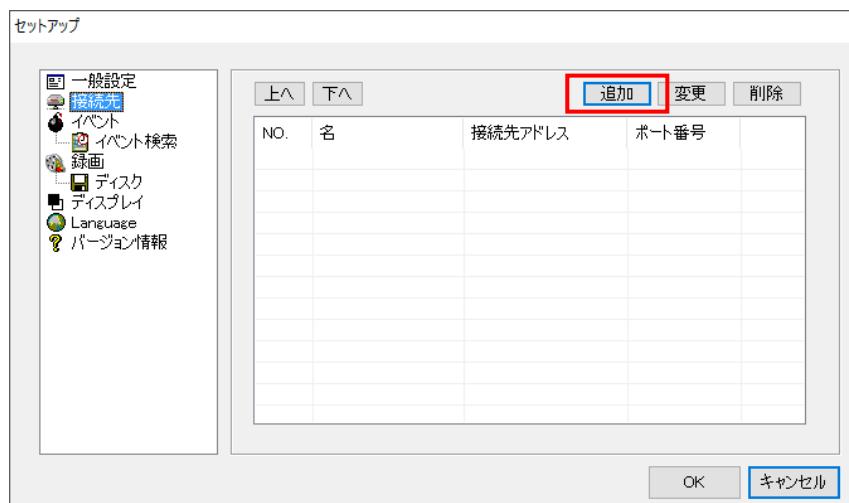
1. UMS クライアントの画面右下より、「セットアップ」アイコン  をクリックします。

設定画面が表示されます。

2. 画面左側の「接続先」をクリックします。



3. 「追加」をクリックします。



4. 本機(EHVR-804C)のネットワーク設定を入力します。

設定値の入力後、「OK」をクリックします。



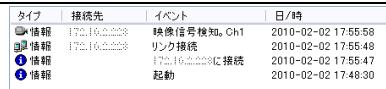
- モデル : 「DVR/NVR」を選択します。
- 接続先名 : 任意の名前を入力します。
- 接続先アドレス : 本機の IP アドレスを入力します。
※DDNS 設定を行っている場合は、DVR に設定したホストドメインネームを入力します。
詳しくは、「3.8.5 DDNS(3-46 ページ)」をご覧ください。
- ポート番号 : 本機に設定したポート番号を入力します。
※初期値は、「5445」です。
- ID : 本機に設定したユーザー名を入力します。
- パスワード : 本機に設定したユーザーに対応するパスワードを入力します。
- チャンネル : 「4CH」を選択します。
- StreamType : 設定不要です。
- Enable P2P : 設定不要です。

5. UMS クライアントの起動画面より、 をクリックして、作成した接続先を選択すると
ライブ画面が表示されます。

7.4 ライブ画面での操作

ライブ画面の項目

表示	名前	説明
	画面表示部	映像を表示します。 デジタルズーム時は左下に全体画面が表示されます。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	現在の日時を表示します。
 Connect	接続/切断	通信を接続/切断します。
 Search	検索	ライブモードと検索モードとを切り替えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、分割画面で表示するかを切り替えます。
	PTZ コントロール パネル	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央の「PT」をクリックするとPTZコントロールモードに切り換わります。
	キャプチャー	ライブ画面のスナップショットを保存します。 クリックするとウインドウが表示され、ファイル形式を選択します。 初期設定では保存先が「C:\Storage\Capture」となっています。
	再生/停止	ライブ映像を再生/一時停止させます。
	録画 ON	ライブ映像をPCのHDDに保存します。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	アラーム	本機側にアラームを発生させます。
	セットアップ	セットアップ画面を表示します。
HDD 	HDD 容量	本機のHDDの使用容量を表示します。
FPS: 14 BitRate: 241.8 Kbps	ネットワーク 状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。

表示	名前	説明
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックすると音声出力を入/切にします。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

【 UMS クライアントのデジタルズーム機能 】

本機と同様に、UMS クライアントでもライブ画面のデジタルズームが可能です。

UMS クライアントの画面表示部にカーソルをおくと、画面表示部の左下に全体画面が表示されます。

マウスのホイールのスクロール操作により、画面表示部に表示される画像がズームアップ/アウトします。

全体画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示されている領域を示します。

画面をドラッグ&ドロップすることで、ズーム表示の位置を移動させることができます。



※再生画面も同様にズーム動作を行えます。

【 双方向オーディオ 】

UMS クライアント側と本機側の双方向オーディオ通信ができます。

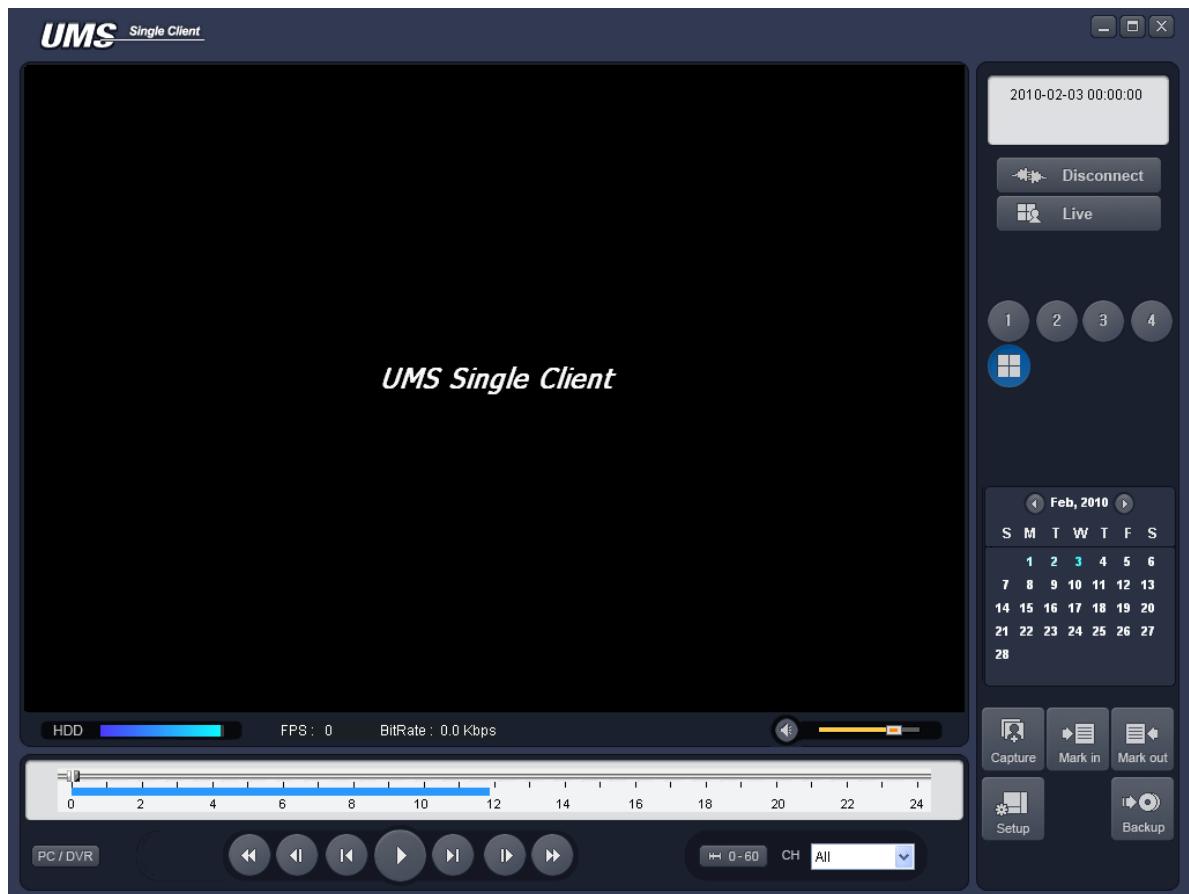
PC(UMS クライアント)側 : マイクやスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。

本機側 : マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

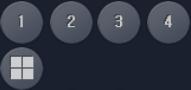
7.5 検索画面での操作

本機に記録した録画映像を PC 上で再生することができます。

ライブ画面上で、 **Search** をクリックすると、「録画検索」画面に切替ります。



検索画面の項目

表示	名前	説明
2010-02-02 17:48:42	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
 Connect	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
 Live	検索	検索モードとライブモードとを切り替えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを 1 画面で表示するか、分割画面で表示するかを切り替えます。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色で表示されます。
	キャプチャー	ライブ画面のスナップショットを保存します。 クリックするとウインドウが表示され、ファイル形式を選択します。 初期設定では保存先が「C:\Storage\Capture」となっています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	バックアップ	録画映像を AVI 形式でバックアップします。
	タイムラインバー	スライドノブをドラッグ & ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。 データのある区間は水色で表示されます。
	PC/DVR	再生する映像の読み込み元を、PC または本機 (DVR) を切り替えます。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1 フレーム送り/戻し	一時停止時にクリックすると、1フレーム送り/戻しを行います。
	1 分送り/戻し	クリックすると 1 分先/前の映像にスキップします。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
	表示単位切換え	タイムラインの 24 時間/60 分表示を切り替えます。

7.6 動画のバックアップ

本機または PC に保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。

PC / DVR で再生する映像の読み込み元を PC または本機(DVR)を切換えます。



PC のデータを再生 : UMS クライアントでライブ画面の監視中に、**Backup** をクリックして PC の HDD に保存しておいたデータを再生できます。

本機のデータを再生 : 本機の録画設定により、本機の HDD に保存されている録画データをネットワークを通じて再生できます。

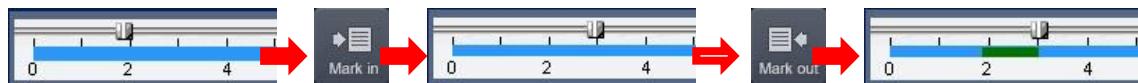
タイムラインのスライドノブをドラッグ & ドロップしてバックアップしたいデータの先頭時刻に位置させ、



Mark in をクリックすると、選択時点がバックアップの開始点として指定されます。



スライドノブを再度ドラッグ & ドロップして開始点より後の時刻に位置させ、**Mark out** をクリックすると、選択時点がバックアップの終了点として指定され、開始点と終了点の間の区間が緑色に変わります。

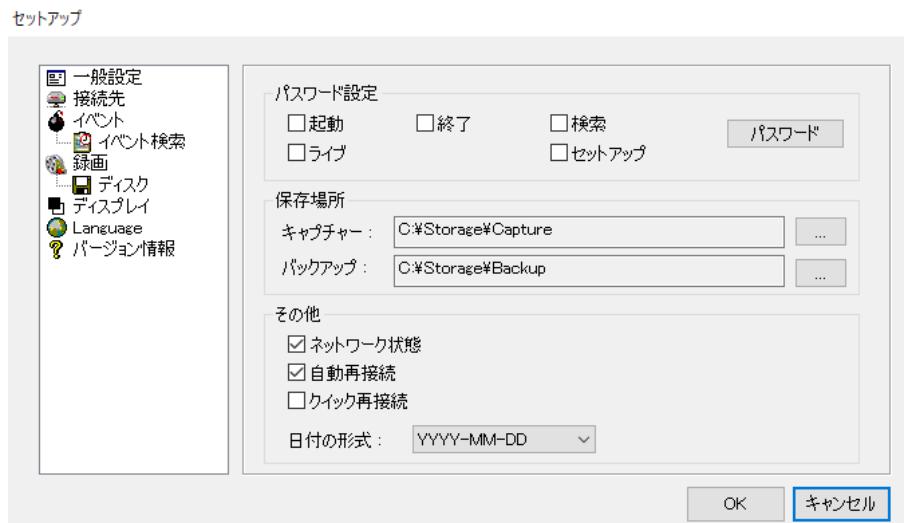


バックアップする区間が緑色で指定された状態で、**Backup** をクリックすると、バックアップのダイアログ画面が表示されます。

7.7 セットアップ画面

セットアップアイコン  をクリックし、UMS クライアントの設定を変更・確認ができます。

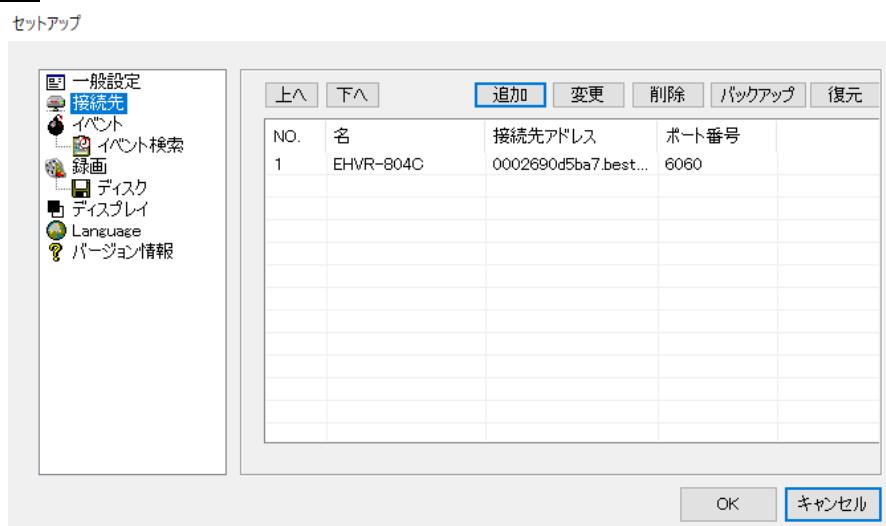
7.7.1 一般設定



一般設定の項目

項目	説明
パスワード設定	各操作項目にチェックを入れると、操作を行うときにパスワードの入力が不要になります。 「パスワード」をクリックすると、パスワードの変更ができます。
保存場所	キャプチャーした静止画か、バックアップした動画のファイルを保存するフォルダを指定します。
ネットワーク状態	ライブモードで、FPS やビットレートなどのネットワークのステータスを表示します。
自動再接続	何らかの原因でネットワークが切断した時、自動的に再接続を行います。
クリック再接続	チェックを入れると、クライアントソフトを起動した際に、最後にアクセスしていたレコーダーに自動的にアクセスします。
日付の形式	日付の表示形式を選択します。

7.7.2 接続先

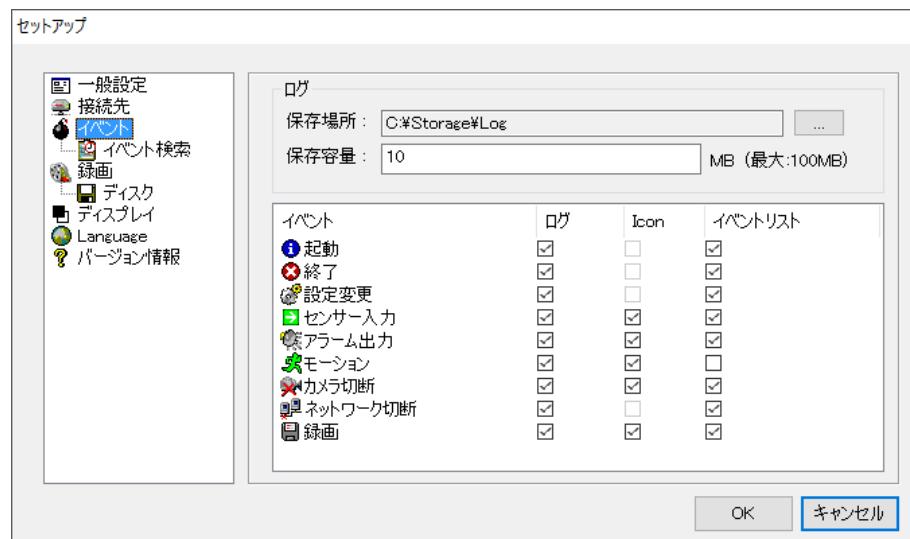


接続する本機の Site 名、IP アドレス、ポート番号、パスワードを登録し、UMS クライアントから接続することができます。

登録先の登録数には制限はなく、すでに登録されている接続先の情報を更新・削除することもできます。

- **追加**
新しい接続先情報を登録します。
登録手順については、「7.3 接続方法 (7-5 ページ)」をご覧ください。
- **変更**
登録済みの接続先情報を変更します。
- **削除**
選択した登録情報を削除します。
- **バックアップ**
登録済みの接続先情報をエクスポートします。
ボタンをクリックし、データの保存先とデータ名を指定してください。
エクスポートしたデータは、「任意の名称.Dat」となります。
- **復元**
バックアップにてエクスポートした登録情報を読み込みます。
新規 PC への登録情報の反映が容易になります。

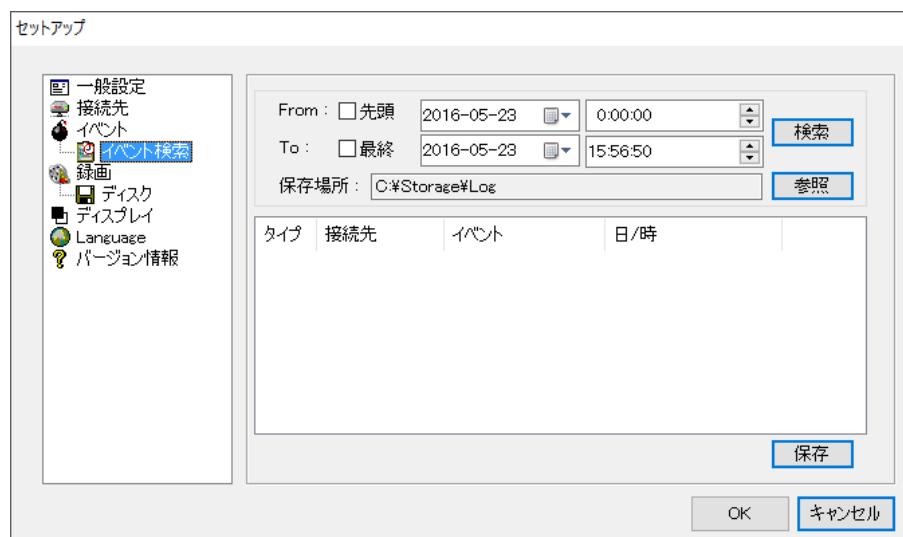
7.7.3 イベント



イベントの項目

項目	説明
ログ	UMS クライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。
イベント設定	各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ログ : イベント発生時にログを記録します。 Icon : イベント発生時にアイコンを表示します。 イベントリスト : イベント発生時にライブ画面下にログウィンドウに表示します。

7.7.4 イベント検索

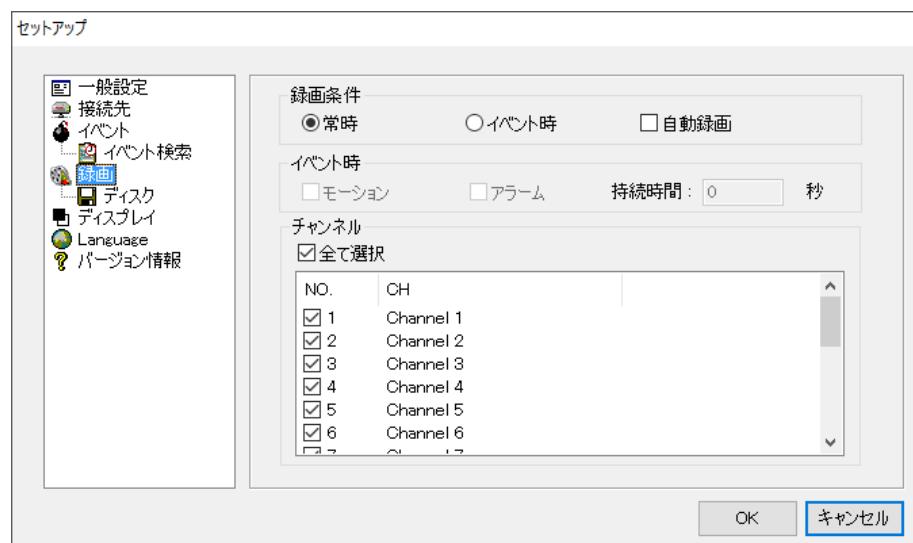


イベント発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」をクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。

保存記録の最初から検索したい場合は、「先頭」にチェックを入れます。

保存記録の最後まで検索したい場合は、「最終」にチェックを入れます。

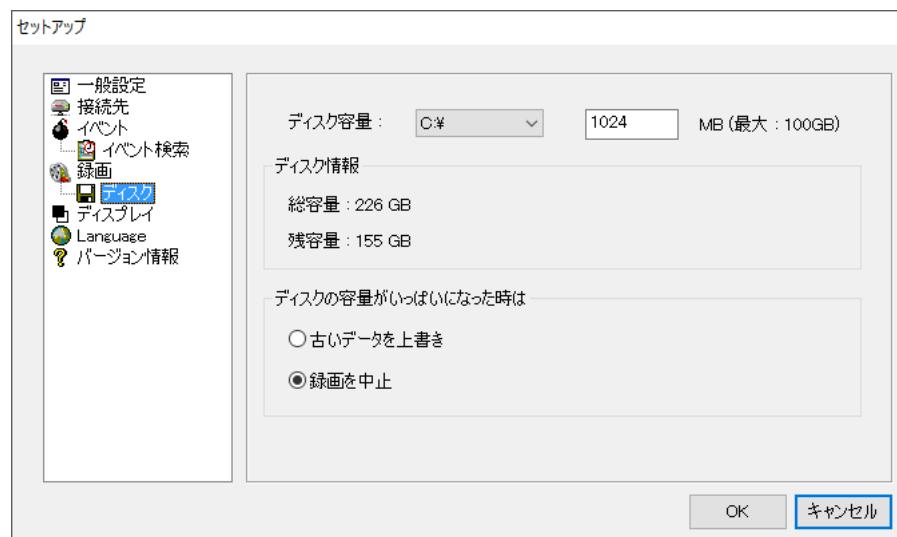
7.7.5 録画



録画の項目

項目	説明
録画条件	<p>ライブ画面で録画を行う条件を設定します。 モードによって録画を行うタイミングがことなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 常時 : 常に録画を行います。 イベント時 : イベント発生時に録画を行います。 自動録画 : 選択した録画条件で起動後、自動的に録画を行います。 <p>※本機の録画設定が「スケジュール」の場合は、 設定できません。</p>
イベント時	<p>録画条件で「イベント時」を選択時に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> モーション : 動きを検知すると録画を行います。 アラーム : アラーム入力時に録画を行います。 持続時間 : イベント発生時に何分間録画を行うかを設定します。 <p>※録画条件は、本機で設定した録画モードと同じにします。</p>

7.7.6 ディスク



ディスクの項目

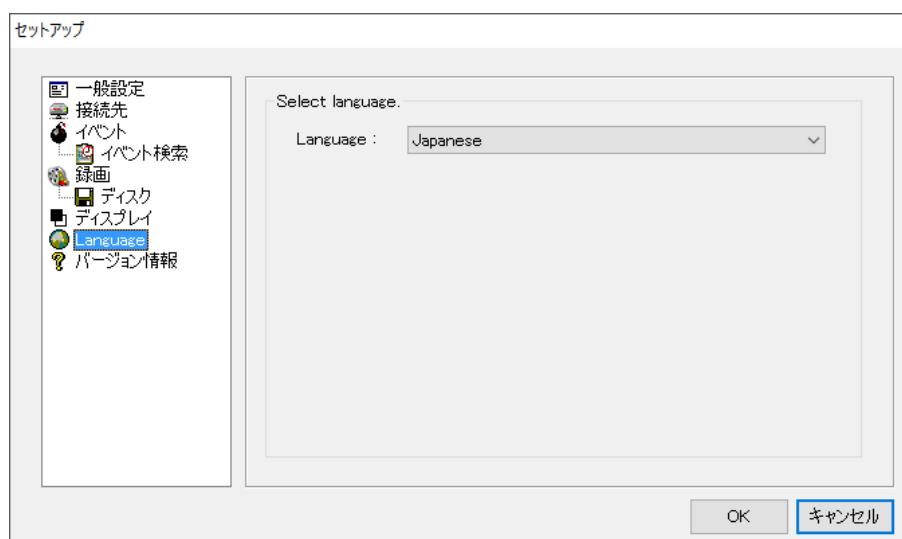
項目	説明
ディスク容量	保存先のハードディスクと使用するハードディスク容量を設定します。
ディスク情報	選択したハードディスクのそう容量と残容量を表示します。
ディスクの容量がいっぱいになった時は	<ul style="list-style-type: none">古いデータを上書き : 一番古いデータから上書き録画します。録画を中止 : 録画を停止します。

7.7.7 ディスプレイ



- OSD – レゾリューション
ライブ画面上で各 CH の解像度表記の ON/OFF を切替えます。
チェックを入れると各 CH 上に解像度を表示します。
- Display – 第 2 モニター映像補正
複数のモニターを使用する PC で、第 2 モニターの UMS 映像に乱れが発生する場合に、
チェックを入れると、モニターへの出力補正を行います。

7.7.8 Language



UMS クライアントの表示言語を設定します。
変更手順については、「7.2 言語設定の変更(7-4 ページ)」をご覧ください。

7.7.9 バージョン情報



UMS クライアントソフトのバージョンを確認できます。

7.8 ポップアップメニュー

UMS クライアント画面の上にカーソルをおいて右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

【 接続・切断 】

接続先に接続するか、接続を切断します。

【 High Quality 】

選択したチャンネルの解像度と画質を最高設定へ変更します。

【 Normal Quality 】

選択したチャンネルの解像度と画質を標準設定へ変更します。

【 iフレームのみ伝送 】

選択したチャンネルの表示を i フレームのみ表示へ変更します。

【 マイク ON 】

PC に接続されているマイクを利用し、本機が設置されている現場に音声を送ることができます。

【 フルスクリーン 】

UMS クライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。

フルスクリーン表示を解除する時は PC の「ESC」キーを押します。

【AspectRatio】

1 画面表示にした際のアスペクト比を変更します。

【 プリント 】

選択したチャンネルの映像をプリントします。

【 セットアップ 】

UMS クライアントの設定を行います。

詳細は、「7.7 [セットアップ画面](#)(7-12 ページ)」をご覧ください。

【 遠隔設定 】

接続中の DVR 本体の設定を遠隔で変更できます。

詳細は「3 章 各種設定(3-1)」をご覧ください。

【 ロック 】

クリックすると、パスワード入力のダイアログが表示されます。

パスワードを入力すると、画面表示部の右クリック以外は操作できなくなります。

ロックの解除は同じ手順で行います。

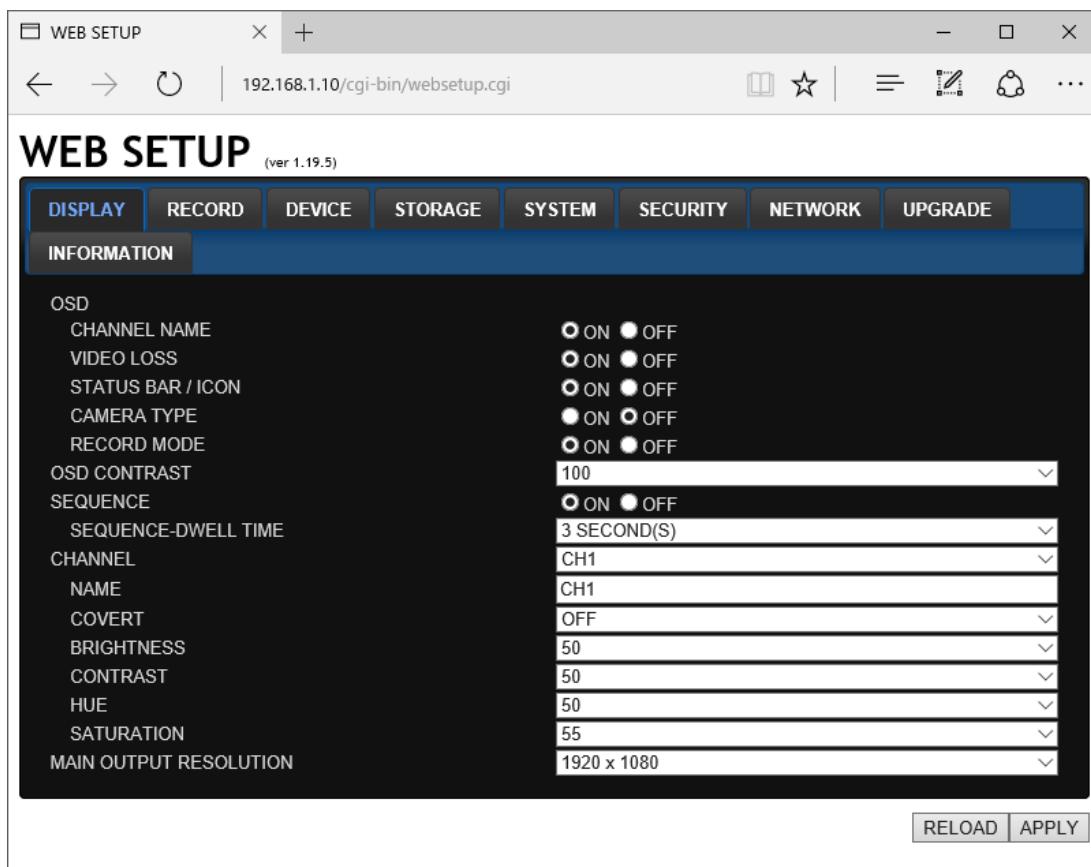
【 終了 】

UMS クライアントを終了します。

7.9 遠隔設定

接続中の本機の設定を遠隔で設定できます。

ポップアップメニューから「遠隔設定」をクリックすると、「SET UP」画面が表示されます。



設定を変更し、「APPLY」をクリックすると、変更した設定内容が本機に反映されます。

各設定項目の詳細設定については、「3章 [各種設定](#) (3-1 ページ)」をご覧ください。

※表記はすべてアルファベットです。

7.10 Web クライアント

本機がネットワークに接続されると、Internet Explorer で映像を監視・再生することができます。

【 Internet Explorer からの接続 】

PC の Web ブラウザ(Internet Explorer)を起動します。

ブラウザのアドレスバーに本機のIPアドレスまたはホストドメインネーム(DDNSを設定した場合)を入力し、Enter キーを押します。(http://IP アドレス(またはホストドメインネーム)/)

入力例 :  <http://00026908c2d1.bestddns.com/>

Web ブラウザに Web クライアントが表示されます。

※詳細は、「3.8.5 [DDNS](#)(3-46 ページ)」を参照してください。

【 WEB クライアントの操作 】

WEB クライアントは UMS クライアントと同様の仕様となっています。

詳細は、「7.4 [ライブ画面での操作](#)(7-7 ページ)」をご覧ください。

8章 スマートフォンからの接続

専用アプリ「iUMS」をダウンロードすることで、スマートフォンからレコーダーのライブ映像監視等を行うことができます。

※専用アプリ「iUMS」のご利用について（免責事項）

iUMS のご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用ください。

- ・iUMS のご利用はお客様の責任の下でご利用ください。
- ・iUMS のダウンロードおよびご利用には通信費が発生する場合がございます。
- ・発生した通信費に関して、弊社は一切の責任を負いません。

8.1 iUMS のダウンロード

以下の手順でアプリをダウンロードしてください。



1. メニュー画面から App Store を起動します。



※Android 端末の場合は、Google Play ストア を起動します。



2. 検索欄に「iUMS」と入力し、検索します。



3. 「iUMS」をインストールします。

8.2 iUMS の操作

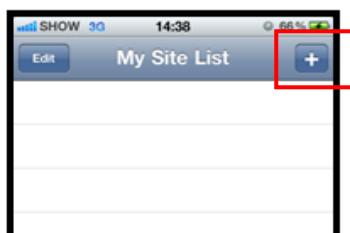
【 初回接続設定 】

iPhone の場合

1. メニュー画面で「iUMS」を起動します。



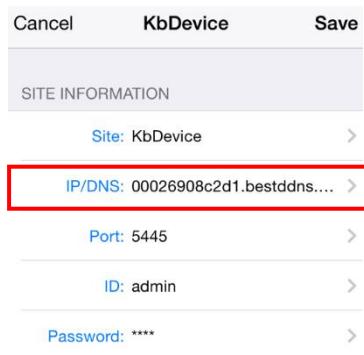
2. 画面右上の「+」を選択します。



3. 「Site」をタッチし、接続先名称を任意に入力します。



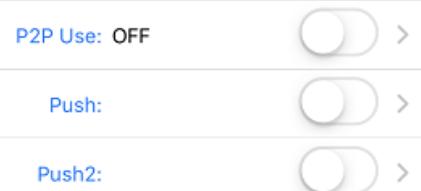
4. 「IP/DNS」をタッチし、接続先 DVR の IP アドレスまたはドメイン名を入力します。



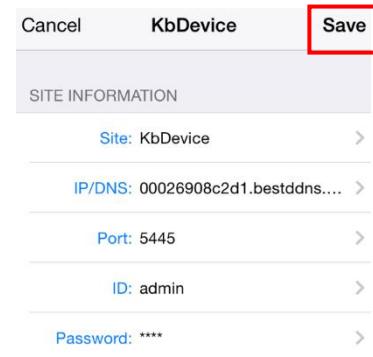
5. 同様に「Port」、「ID」、「Password」を入力します。



※P2P Use、Push、Push2 は、設定を変更しないでください。



6. 画面右上の「Save」をタップし、設定内容を保存します。



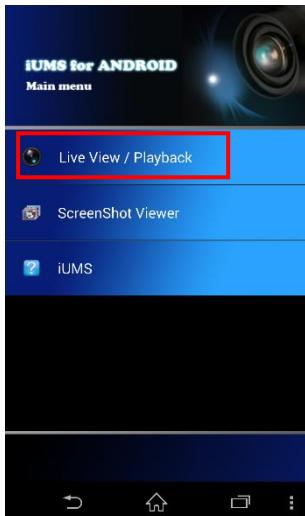
【 初回接続設定 】

Android の場合

1. メニュー画面で「iUMS」を起動します。

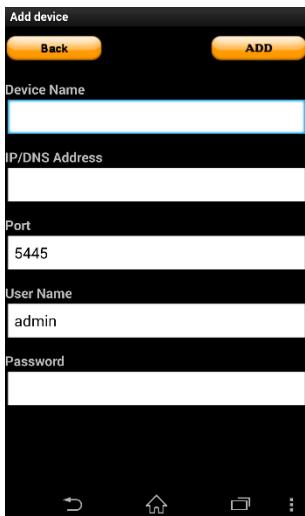


2. 「Live View / Playback」をタップします。

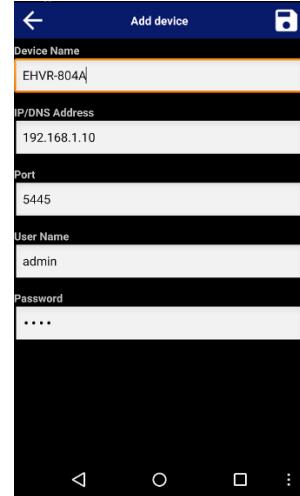


3. 初回起動時は、登録を促す画面が表示されます。

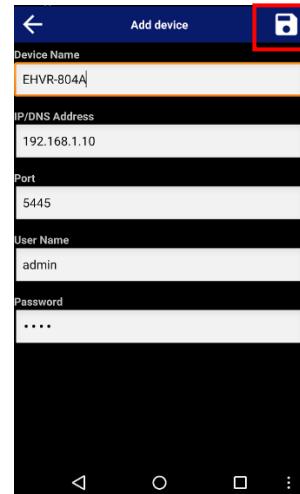
2回目以降の登録は、サブメニューよりAddボタンをタップして、登録します。



4. 接続先 DVR の接続情報を入力します。



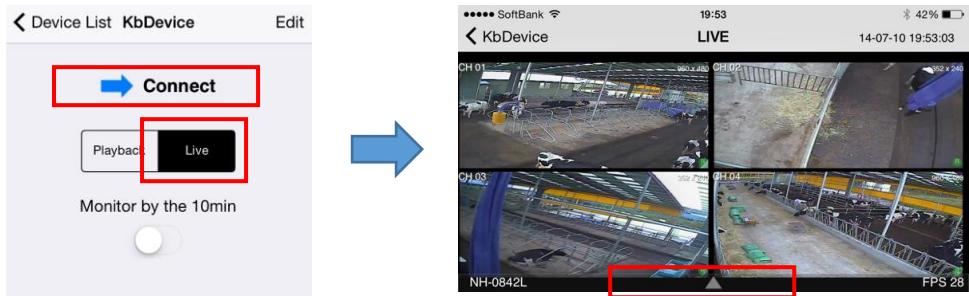
5. 画面右上の保存アイコンをタップし、設定を保存します。



【 ライブ画面 】

iPhone の場合

1. iUMS を起動し、登録した接続先の「Live」を一度タッチし、「Connect」をタッチすると DVR のライブ画面を表示します。



2. 接続先リストからレコーダーを選択するとレコーダーへ接続し、ライブ画面が表示されます。ライブ画面をタッチすると、メニューが表示されます。



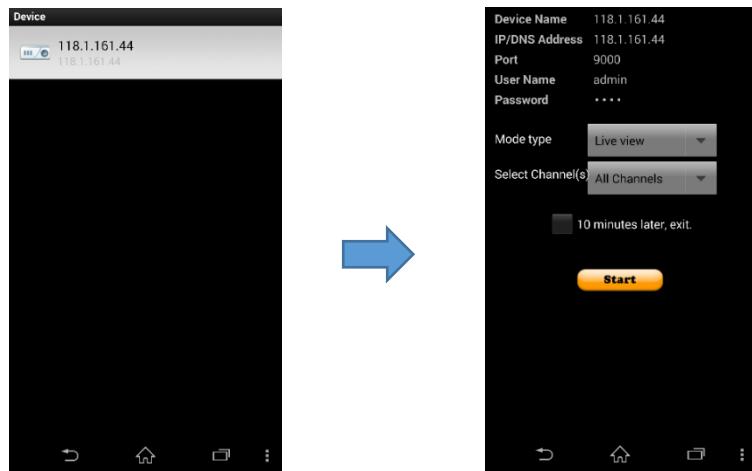
映像の上で 2 回すばやくタッチすることで、1 画面表示/4 分割表示を切換えることができます。

【 ライブ画面 】

Andorid の場合

- 接続先情報を登録後、リストが表示されます。

リストより接続する DVR 情報をタップすると、接続方法の選択画面が表示されます。



- 「Mode type」欄が、「Live view」になっていることを確認し、「Start」をタップします。

※「10 minute later,exit」にチェックを入れた場合、接続から 10 分後に自動的に切断します。

ライブ映像を 4 分割で表示します。



選択したチャンネルをダブルタップすると、1 画面表示になります。

ライブ画面表示時に、画面下の▲をタップすると PTZ 操作パネルが表示されます。



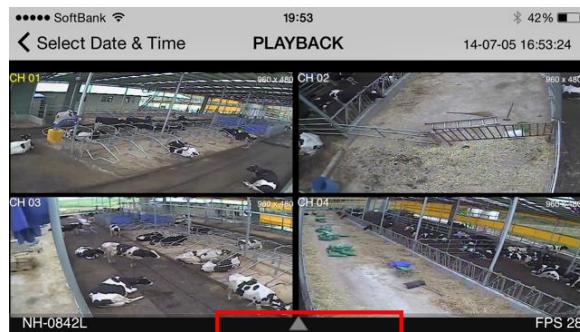
【検索・再生画面】

iPhone の場合

- iUMS を起動し、登録した接続先の「PlayBack」を一度タッチし、「Connect」をタッチすると DVR の検索画面を表示します。

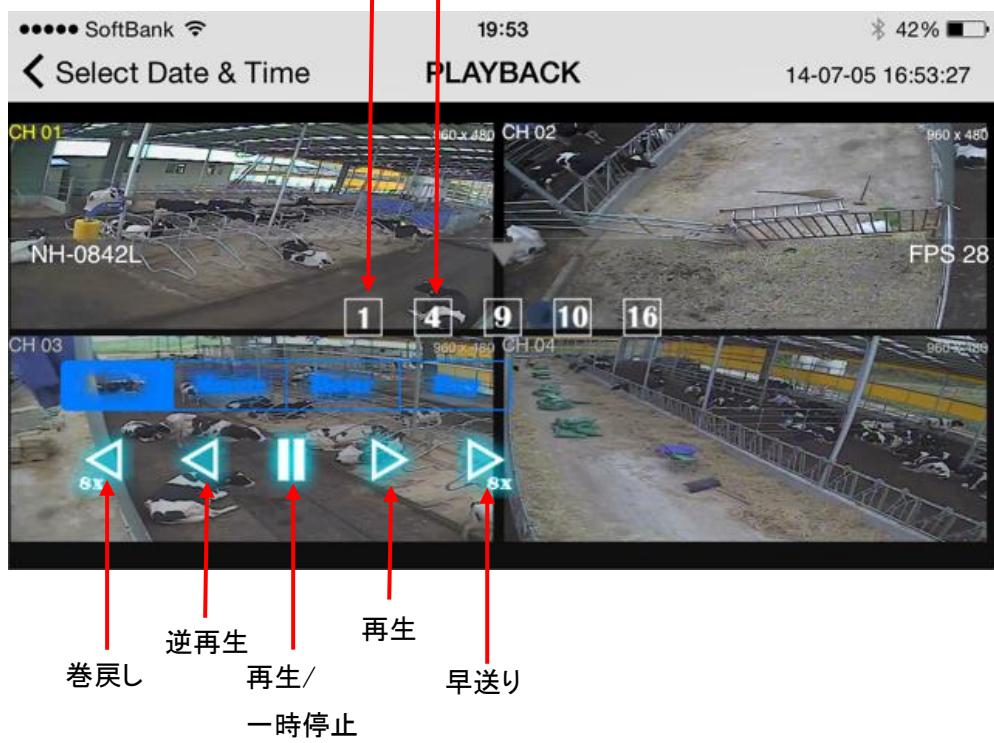


- 再生したい映像の日時を選択し、「Play」をタップすると映像を再生します。



タッチすると操作パネルをひらきます

1画面表示 4分割表示



【検索・再生画面】

Android の場合

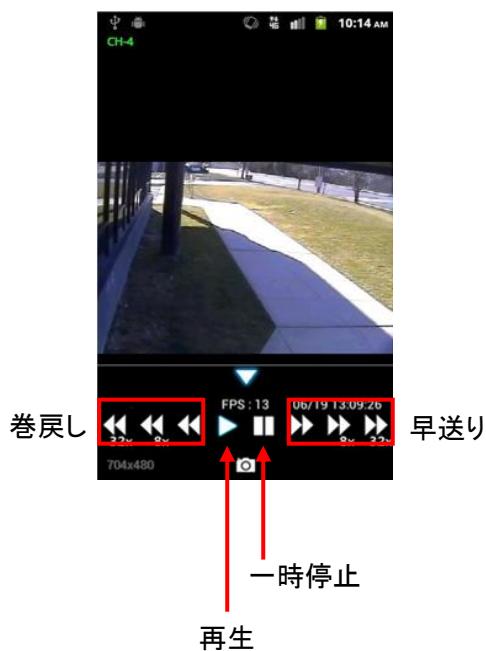
1. リストから録画再生を行う DVR 情報を選択します。
2. 「Mode Type」欄をタップし、「Playback」を選択します。
3. 「Start」をタップし、検索する日付と映像開始時刻を設定します。
設定後、「OK」をタップすると映像が開始されます。



※「10 minutes later,exit」にチェックを入れた場合、接続から 10 分後に自動的に切断します。

映像表示後は、4分割で表示されます。

選択したチャンネルをダブルタップすると、1画面表示になります。



9章 テラスルシューイング

症状	確認	対処
電源が入らない	電源コードが本体側およびコンセント側に接続されていますか？	電源コードを正しく接続してください。
映像が何も表示されない	本体とモニターが正しく接続できていますか？	本体背面のVGA端子あるいはBNC端子にモニターを接続してください。 → 外観(1-3ページ)
	モニターの電源が入っていますか？	モニターの電源をONにしてください。
	※BNC端子をメインモニターにしている場合、「映像出力設定」を変更されていませんか？	本機のVGA端子から、VGA入力対応のモニターへ接続してください。 BNC端子からメインモニター出力をするときは、「VGA解像度」を「1280×1024」または「1280×720」から「1024×768」に変更してください。 → MAIN OUTPUT RESOLUTION(3-8ページ)
カメラの映像が表示されない	画面に「VIDEO LOSS」と表示されていますか？	カメラの電源が入っていることを確認し、ケーブルで本機と正しく接続してください。
	「映像非表示」がONになっていませんか？	設定項目「画面表示」の「映像非表示」をOFFにしてください。 → チャンネル(3-7ページ)
設定画面に入れない	ログイン中のユーザーに設定の権限がありますか？	設定の権限のあるユーザーもしくは管理者でログインしてください。 → 使用者権限(3-38ページ)
ライブ音声が出ない	音声入力端子にケーブルが接続されていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	音声出力端子にケーブルが接続されていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	音声出力のCH選択は正しいですか？	ライブ画面のタスクバーまたはポップアップメニューから、音声出力CHを選択してください。 → ライブ画面について(2-1ページ) → ポップアップメニュー(2-4ページ)

症状	確認	対処
マウス操作ができない	マウスがUSB端子に接続できていますか？	マウスを本体前面または本体背面のUSBポートに接続してください。 → 外観(1-3ページ)
	無線方式のマウスについては、設定と距離をご確認ください。	マウスの取扱説明書を確認し、通信の設定を完了してください。また確実に電波の届く範囲で使用してください。
リモコン動作ができない	リモコンIDは正しいですか？	本機に設定したリモコンIDを入力してください。 → リモコンID(3-22ページ)
録画ができない	録画設定は正しく設定されていますか？	設定項目「録画」の「録画モード」を「録画しない」以外のものに設定してください。 → 録画(3-9ページ)
	録画スケジュールの時間内ですか？	「録画モード」が「スケジュール録画」になっている場合、録画したい時間のスケジュールを設定してください。 → 録画(3-9ページ)
	上書きはONになっていますか？	設定項目「録画装置」の「上書き」をONにしてください。 → 録画装置(3-23ページ)
カメラのPTZコントロールができない	カメラがPTZに対応していますか？	カメラの取扱説明書等で仕様を確認してください。
	プロトコル、通信速度などの設定は正しいですか？	設定項目「デバイス」の「PTZ」で設定を正しくおこなってください。 必ずカメラの設定値と本機の設定値を合わせてください。 → コントローラー&PTZ(3-18ページ)
検索再生ができない	ログイン中のユーザーに検索再生の権限がありますか？	検索再生の権限のあるユーザーでログインしてください。
再生画面で音声が出ない	音声を出力するCHがアクティブになっていますか？	音声を出力するCHをクリックするか、またはそのCHを1画面表示にしてください。

症状	確認	対処
アラーム信号が出力されない	ライブ画面のタスクバーのアラーム出力アイコン  がハイライトになっていますか？	タスクバーのアイコン  をクリックして、アラーム出力を有効にしてください。 → ライブ画面について(2-1ページ)
ライブ画面中の操作が効かない	ロック中になってしまいませんか？	タスクバーまたはポップアップメニューでロックを解除してください。 → ライブ画面について(2-1ページ) → ポップアップメニュー(2-2ページ)
バックアップしたファイルが再生できない	※「AVI」形式でバックアップした場合ビデオコーデック「UMSDecoderFilter」をインストールしていますか？	ビデオコーデック「UMSDecoderFilter」をインストール後、Windows Media Player等で再生してください。 → バックアップした動画の再生(5-5ページ)
	※「NSF」形式でバックアップした場合「HD Player」を使用していますか？	専用のプレイヤー「HD Player」で再生してください。 → バックアップした動画の再生(5-5ページ)
UMS/Webクライアントからアクセスできない。	IPアドレスは正しいですか？	本機のIPアドレスをご確認の上、正しく入力してください。 本機のローカルIPアドレスは設定項目「システム」の「システム情報」で確認できます。 → システム情報(3-29ページ)
	「クライアントアクセス」は「ON」になっていますか？	「システム」内の「クライアントアクセス」を「ON」にしてください。 → クライアントアクセス(3-32ページ)

10章 記録日数表

表の数値はカメラ 1 台あたりの記録日数です。

表の記録日数はあくまで参考値であり、記録日数を保証するものではありません。

〈〈 算出条件 〉〉

HDD 2TB / AHD カメラ 1 台 / 圧縮方式 H.265 / 音声記録なし

※()の数値は、H.264 での録画日数となります。

音声を記録する場合は、1 日あたり **675MB** の容量を必要とします。

単位：日

解像度	画質	録画日数				
		フレームレート [fps]				
		1	5	10	15	
2560×1440	最高	172 (103)	136 (81)	107 (64)		
	高	194 (116)	153 (91)	121 (72)		
	標準	259 (155)	204 (122)	161 (97)		
	低	310 (186)	245 (147)	194 (116)		
	ネットワーク	622 (373)	490 (294)	388 (233)		
1920×1080	最高	259 (155)	204 (122)	161 (97)	133 (80)	
	高	310 (186)	245 (147)	194 (116)	160 (96)	
	標準	388 (233)	306 (184)	242 (145)	192 (120)	
	低	518 (310)	409 (245)	323 (194)	268 (160)	
	ネットワーク	776 (466)	613 (368)	486 (291)	402 (241)	

解像度	画質	記録日数				
		フレームレート [fps]				
		1	5	10	15	
1920x540	最高	310 (186)	245 (147)	194 (116)	160 (96)	
	高	388 (233)	305 (184)	242 (145)	201 (120)	
	標準	518 (310)	409 (245)	323 (194)	268 (160)	
	低	776 (466)	613 (368)	486 (291)	402 (241)	
	ネットワーク	1560 (936)	1231 (738)	969 (583)	807 (483)	
1280x720	最高	310 (186)	245 (147)	194 (116)	160 (96)	
	高	388 (233)	305 (184)	242 (145)	201 (120)	
	標準	518 (310)	409 (245)	323 (194)	268 (160)	
	低	776 (466)	613 (368)	486 (291)	402 (241)	
	ネットワーク	1560 (936)	1231 (738)	969 (583)	807 (483)	
640x360	最高	518 (310)	409 (245)	323 (194)	268 (160)	
	高	622 (373)	490 (294)	388 (233)	321 (192)	
	標準	776 (466)	613 (368)	486 (291)	402 (241)	
	低	1036 (622)	819 (492)	647 (389)	537 (321)	
	ネットワーク	1560 (936)	1231 (738)	969 (583)	807 (483)	

解像度	画質	記録日数					
		フレームレート [fps]					
		1	5	10	15	20	30
960H(960x480)	最高	477 (286)	377 (226)	298 (179)	247 (148)	211 (126)	159 (95)
	高	518 (310)	409 (245)	323 (194)	268 (160)	228 (137)	172 (103)
	標準	622 (373)	490 (294)	388 (233)	321 (192)	273 (164)	207 (124)
	低	776 (466)	613 (368)	486 (291)	402 (241)	342 (205)	259 (155)
	ネットワーク	1036 (622)	819 (492)	647 (389)	537 (321)	457 (274)	344 (207)
D1(704x480)	最高	518 (310)	409 (245)	323 (194)	268 (160)	228 (137)	172 (107)
	高	622 (373)	490 (294)	388 (233)	321 (192)	273 (164)	207 (124)
	標準	776 (466)	613 (368)	486 (291)	402 (241)	342 (205)	259 (155)
	低	1036 (622)	819 (492)	647 (389)	537 (321)	457 (274)	344 (207)
	ネットワーク	1560 (936)	1231 (738)	969 (583)	807 (483)	685 (411)	518 (310)
CIF(352x240)	最高	1036 (622)	819 (492)	647 (389)	537 (321)	457 (274)	344 (207)
	高	1560 (936)	1231 (738)	969 (583)	807 (483)	685 (411)	518 (310)
	標準	2073 (1250)	1638 (986)	1300 (780)	1077 (645)	915 (549)	691 (414)
	低	3150 (1883)	2445 (1476)	1950 (1170)	1622 (969)	1376 (823)	1036 (622)
	ネットワーク	6301 (3810)	4964 (2978)	3900 (2340)	3276 (1950)	2776 (1654)	2073 (1250)

11章 初期設定値一覧

工場出荷時の初期設定値は以下のようになっています。

※表は AHD カメラ接続時のものです。

分類	項目	設定値
タスクバー	ハイライトの項目	アラーム出力、音声(消音)
ログイン	ユーザー	ADMIN
	パスワード	-(起動時に設定)
画面表示	OSD表示	ON
	OSD表示コントラスト	100
	画面自動切換え	ON
	画面自動切換え周期	3秒
	ネーム	CH1/CH2/CH3/CH4
	映像非表示	OFF(全CH同様)
	映像調整	輝度 60(全CH同様)
		コントラスト 50(全CH同様)
		色合い 90(全CH同様)
		彩度 40(全CH同様)
		シャープネス 100(全CH同様)
	映像出力	1280 * 720
	サブモニタ出力	CVBS
	サブモニタータイプ	NTSC
録画(全CH同様)	録画解像度	1920 * 1080
	録画フレーム	15FPS
	画質	高画質
	録画モード	常時録画
	センサー録画	--
	イベント前記録	1分
	イベント後記録	10秒
	音声	OFF
	スケジュール	すべてクリア
	コーデックのタイプ	H.264

分類	項目		設定値
デバイス	アラーム出力1		アラーム持続時間 : 5秒 タイプ : NORMAL OPEN
	コントローラー&PTZ	コントローラー	---- / スピード : 9600 / ID : 0
デバイス	スポットモニタ一設定	チャンネル	カメラ : PELCO C-PROTOCOL / スピード : - / ID : -
		イベント時 スポット出力	OFF
		イベント画面 表示時間	-
		画面自動 切り替え	OFF
		画面自動 切り替え周期	-
		スポットCH	全CH未選択
		モーション領域	全領域(全CH同様)
		モーション感度	5(全CH同様)
		ボタン音	OFF
		リモコンID	0
録画装置	センサー>タイプ		OFF(1~4同様)
	上書き		ON
システム	記録保存日数制限		OFF
	DVR ID		DVR
	言語		JAPANESE
	日付の形式		YYYY/MM/DD
	日時設定	時間表示 形式	24-HOUR FORMAT
		時間帯	GMT +9:00 (Seoul/Tokyo)
		サマータイム	OFF
	クライアントアクセス		ON
	NTP		OFF
	メール送信		OFF

分類	項目	設定値
システム > システムイベント 通知	機器状態チェック	毎日 / 0時
	HDD不良セクタ率	10%
	HDD温度	60°C(140F)
	HDD使用率	90%
	イベント前記録	2秒
	イベント後記録	1秒
	機器状態チェック	メールON
	再起動	メールON
	シャットダウン	メールON
	手動録画	メールON
	センサー入力	アラーム出力OFF / メールOFF
	モーション検知	アラーム出力OFF / メールOFF
	ビデオロス	アラーム出力OFF / ブザーOFF/ メールOFF
	HDD温度	アラーム出力1 / ブザーON / メールOFF
	HDD不良セクタ率	メールON
	HDD使用率	メールON
	HDD空き容量なし	メールON
	HDDエラー	アラーム出力OFF / ブザーOFF / メールON
セキュリティー	使用者権限	パスワード : -(初回起動時に設定した値) すべての項目にチェック入
	データ検索権限	すべての項目にチェック入
	遠隔監視権限	すべての項目にチェック入
	遠隔再生時間制限	使用しない
	HTTPS使用	OFF
ネットワーク	ポート番号	5445
	ネットワークオーディオポート	5446
	WEBポート	80/443
	ネットワークタイプ	DHCP
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	ゲートウェイ	0.0.0.0
	DNS(第1)	0.0.0.0
	DNS(第2)	0.0.0.0
	DDNS	OFF

分類	項目	設定値
ネットワーク	ネットワークストリーム	解像度 : 640*360(全CH同様) フレーム : 15FPS(全CH同様) 画質 : 最高画質(全CH同様)

12章 製品仕様

品番		EHVR-804C
本体仕様	カメラ入力数	BNC × 4
	カメラ入力信号	AHD2.0 / CVBS(自動認識)
	入力インターフェース	マウス、本機前面パネル、リモコン
ハードウェア仕様	電源電圧	DC12V(AC アダプター)
	消費電力	最大 20W
	外形寸法	340(幅) × 63(高さ) × 262(奥行) mm
	質量	2.5kg
	動作温度(湿度)	5°C~40°C (20%~80% ※ただし結露なきこと)
ライブ機能	メインモニター出力	HDMI、VGA、BNC(スポットと排他利用)
	スポットモニター出力	BNC × 1(イベント時のみ・メインモニターと排他利用)
	シーケンス表示	○
	PTZ コントロール	○(RS-485)
	デジタルズーム	○(ライブ、再生)
	静止画スナップショット	○(BMP)
記録	圧縮形式	H.264 / H.265
	記録モード	常時、モーション、センサー、スケジュール、手動
	解像度	AHD … 2560x1440 ※、1920x1080、1920x540、1280x720、 640x360 アナログ … 960x480、704x480、352x240 ※…400 万画素(15FPS)のカメラのみ対応します。
	記録フレーム数	AHD … 最大 15FPS(4CH 合計 60FPS) アナログ … 最大 30FPS(4CH 合計 120FPS)
音声機能	音声入力	RCA × 4(LINE レベル)
	音声出力	RCA × 1(LINE レベル)
	音声双方向通信	○
再生	検索モード	クリックサーチ、タイムライン、イベント キャプチャーリスト、ログ、日時指定、先頭映像再生、 最終映像再生
	再生速度	最大 64 倍速(1 画面表示) / 最大 32 倍速(4 分割表示)

バックアップ	ファイル形式	AVI / 独自形式
	保存メディア	USB メモリー、クライアント PC の HDD
イベント / アラーム	接点入力	4(NC / NO 選択可・無電圧接点)
	接点出力	1(NC / NO 選択可・無電圧接点)
	モーション検知	○(領域選択可)
	イベント	接点入力、モーション、ビデオロス、HDD エラー
イベント / アラーム	アクション	接点出力、ブザー、メール送信
ネットワーク	LAN 端子 (RJ-45)	1(10/100BASE-T)
	クライアントソフト	ライブ、検索・再生、バックアップ、PTZ コントロール設定
	WEB ブラウザ	ライブ、検索・再生、バックアップ、PTZ コントロール設定
	スマートフォン	iPhone または Android ※1 ライブ、検索・再生、PTZ コントロール
	ネットワークストリーム	640 x 360 1CH ごとに最大 15FPS(4CH 合計 60FPS)
その他	RAID	×
	多言語	○
	ファームウェア更新	USB メモリー
	ネットワーク時刻同期	○
原産国	韓国	
セット内容	本体、AC アダプター、電源ケーブル、マウス、リモコン、リモコン用電池、端子ブロック、取扱説明書、簡易取扱説明書、CD-ROM(付属ソフトウェア)	

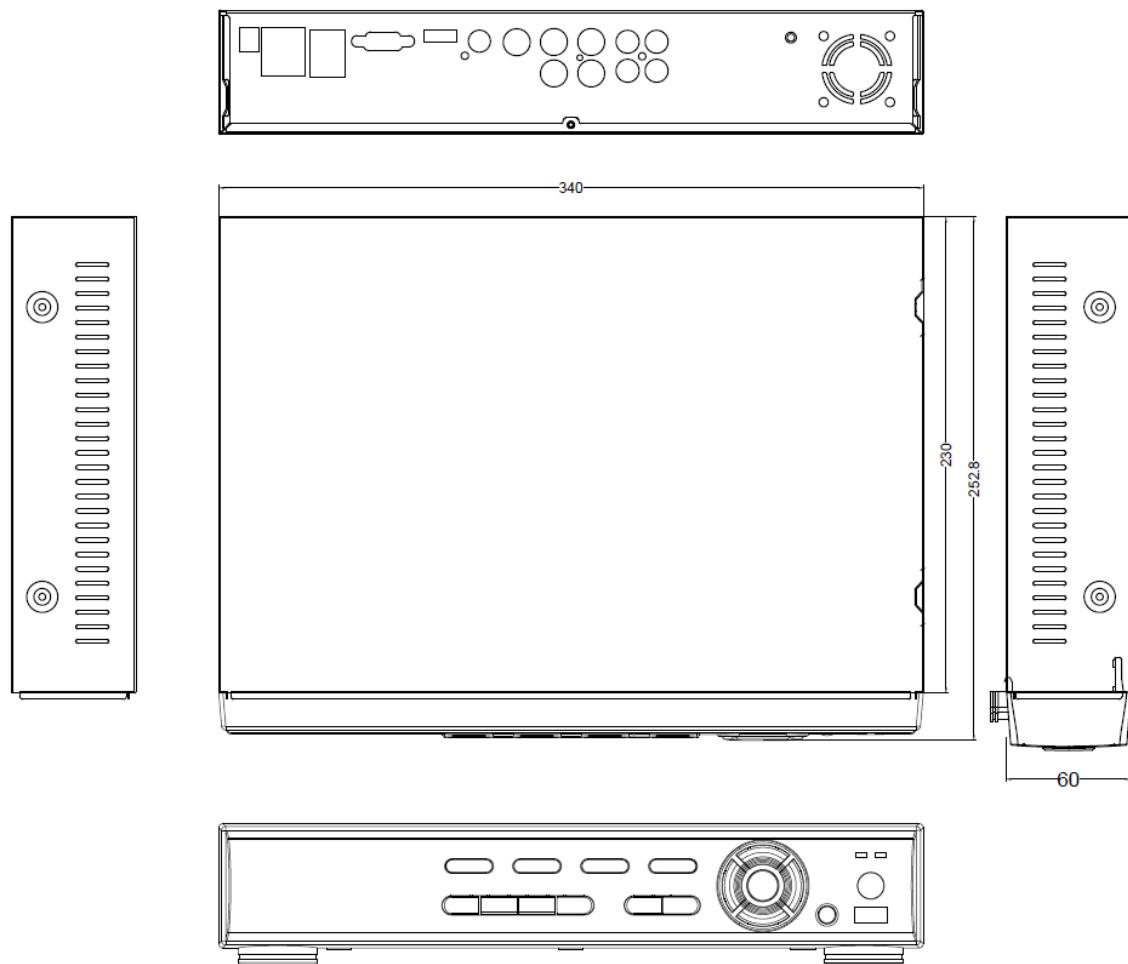
※1 動作確認済み OS は、iOS9 以降、Android4.0 以降となります。

(iOS は Apple,Inc の登録商標です。Android は Google,Inc の登録商標です。)

推奨クライアント PC仕様	動作確認済み OS	Windows 8 / 8.1 / 10
	CPU	Intel Core i5 2GHz 以上
	メモリー	4GB 以上
	解像度	1920 x 1080
	ストレージ空き容量	1GB 以上
	ネットワーク	100BASE-T 以上
	グラフィックカード	DirectX 10 以上

仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

13章 外径寸法図



単位 : [mm]

保証書

品番		販売店名
シリアルナンバー(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後 1 年間	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※お願い: お買い上げ時に必ずご記入ください。本書は大切に保存してください。再発行は致しません。

〈保証規定〉

1. 本保証は、持ち込みされた機器の修理サービスを提供するものであり、修理に係る費用(オンコール費、出張修理費、施工費)、修理期間の代替器対応をご提供するサービスではありません。但し、同時にメンテナンス契約を締結する際は、その限りではありません。
2. 不具合機器の取り外し、取付け、再設定等は別途費用が発生します。
3. 次の事由による損害の場合は、保証の対象にはなりません。
A 整社窓口以外に修理を依頼された場合
B 修理に際し、保証書の提示がない場合
C 次に掲げる事由によって生じた本商品の故障または損傷
 - ・不適切な使用(落下、衝撃、冠水、電池液漏れ等)、または維持、管理の不備によって生じた故障または損傷
 - ・使用上の誤り(取扱説明書記載以外の使用)、または純正部品以外の管理の不備によって生じた故障または損傷
 - ・記録媒体の故障または損傷による保存データの損失などの損害。また、修理後に保存データが消去した場合などの損害
 - ・地震・噴火・津波・地盤変動・地盤沈下・風害・水害・その他の天災ならびにガス害・塩害・公害および異常電圧
 - ・火災・落雷・破裂・爆発または外部からの物体の落下・飛来・衝突もしくは倒壊等の偶然かつ外來の事由
4. 取付場所の移動、落下等によって生じた本商品の故障または損傷
5. 保証期間について
A 機器販売のみの場合…機器発送日を保証開始日とします。
B 工事を含む場合…工事完了日を保証開始日とします。

〈保証条件〉

1. 次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。
A 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障
B 災害など不可抗力による損傷
C 本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合
2. 消耗品(赤外線リモコン用電池、時計保持用ボタン電池)は、保証外です。
内蔵 HDD・CF カード・SSD およびファンの故障については、保証対象となります。

※映像データの保証はできません

3. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物(PC、ソフトウェアを含みます)に生じた故障もしくは損傷等の損害は保証の対象にはなりません。
4. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物が使用できなかつことによって生じた損害は保証の対象にはなりません。
5. 故障および損害の認定等について、弊社と使用者の間で見解の相違が生じた場合には、中立的な第三者の意見を求めることがあります。
6. 遠隔地への出張修理を依頼される場合は、その出張に要する実費を申し受けます。
7. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

〈補修用性能部品の保有期間〉

弊社では防犯カメラの補修用性能部品を、製造打切り後 7 年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。ただし、保有期間内であっても無くなる場合、また期間が終わっても保有している場合がありますので詳しくは修理窓口にお問い合わせください。

〈修理不能の場合〉

修理不能の場合は、代替器または後継機器によるユニット交換となる場合があります。

〈メンテナンスについて〉

防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。
詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認ください。



本社 〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2

TEL 075-354-3372 FAX 075-354-3382

※製品の定格及びデザインは改良の為予告無く変更することがあります。